北広島市教育基本計画(2011-2020)

# 推進計画《 平成 28 ～ 30 年度 》

## （案）

平成 28 年 3 月

北広島市教育委員会

# 北広島市教育基本計画(2011-2020)

## 推進計画《平成２８～３０年度》　目次


**Ⅰ　教育推進計画について**

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | 教育推進計画の目的と位置づけ | …… | 1 |
| ２ | 施策の体系 | …… | 1 |
| ３ | 計画の期間 | …… | 1 |

**Ⅱ　政策及び施策の推進について**

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | 先人たちが伝える精神と教育基本計画に定めた視点の反映 | …… | 4 |
| ２ | 計画の進行管理（点検評価及び見直し） | …… | 4 |
| ３ | 次期教育推進計画 | …… | 4 |

**Ⅲ　８つの政策と２４の施策を進める個別事業**　…… 6

| | | |
|---|---|---|
| 政策１ | 「生きる力」を育む学校教育の推進 | …1～ 17 |
| 政策２ | 信頼され、魅力ある学校づくりの推進 | …1～ 15 |
| 政策３ | やさしく支えあう教育連携の推進 | …1～ 6 |
| 政策４ | 学びあい、教えあう社会教育の推進 | …1～ 6 |
| 政策５ | 郷土愛を育む教育活動の推進 | …1～ 4 |
| 政策６ | 生涯にわたる読書活動の推進 | …1～ 3 |
| 政策７ | 芸術文化活動の振興 | …1～ 4 |
| 政策８ | 健康づくりとスポーツ活動の推進 | …1～ 8 |
| 政策１～８を支える経常経費 | | …1～ 6 |

**Ⅳ　施策の成果・目標指標**　…　指標 1～6

# Ⅰ　教育推進計画について

## １　教育推進計画の目的と位置づけ

この「北広島市教育基本計画(２０１１-２０２０)推進計画」（以下、「教育推進計画」という。）は、「北広島市総合計画(第５次)」の基本目標「人と文化を育むまち」に基づいて策定された「北広島市教育基本計画(２０１１-２０２０)」（以下、「教育基本計画」という。）に掲げる施策を着実に推進するため、個別・具体の事業を推進するとともに、進行状況を管理することを目的として策定するものです。

また、この計画は市の教育計画体系の中で教育基本計画と各領域の諸計画・構想・プラン・方針などとの間に位置します。（図１）

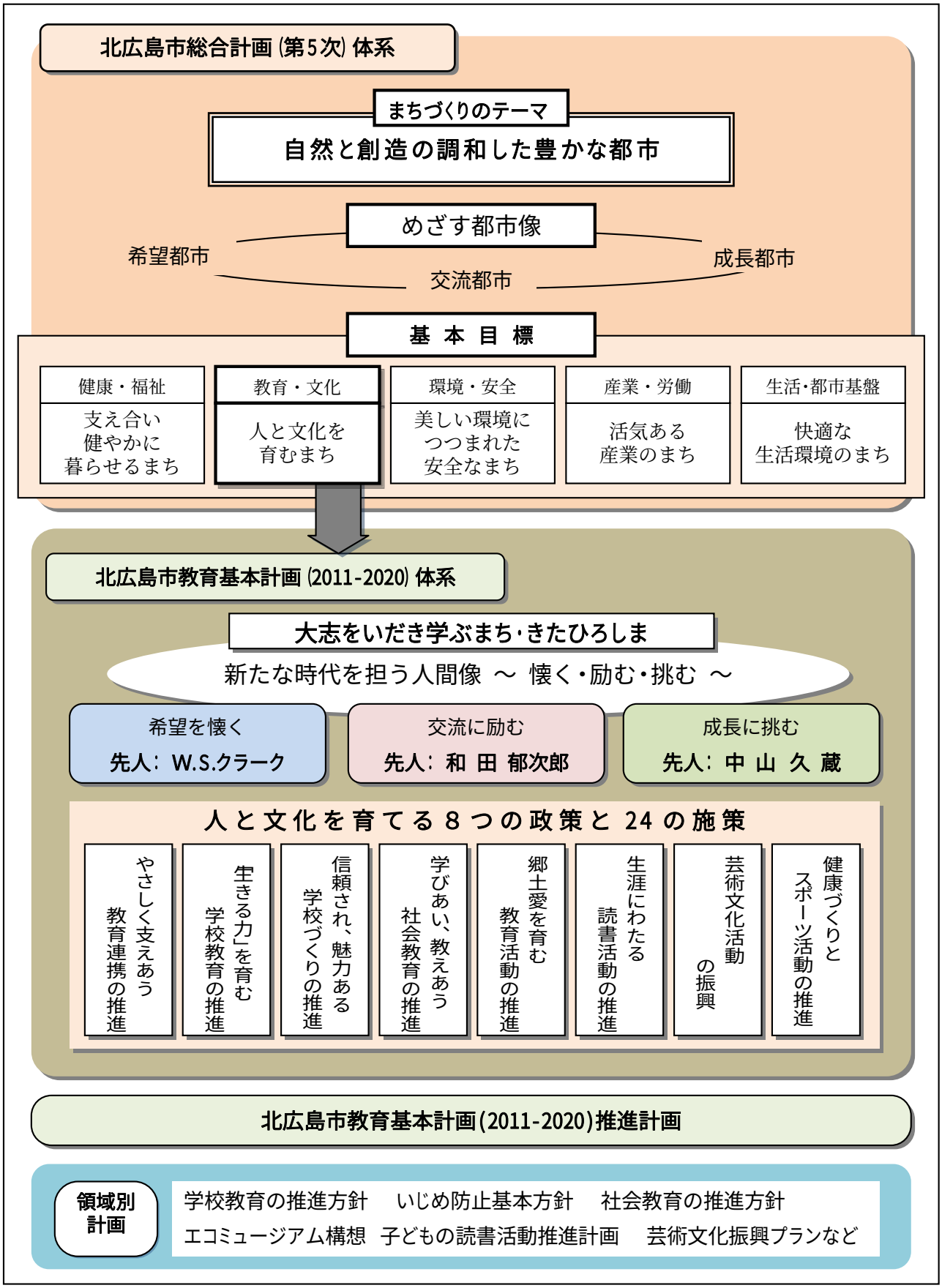
## ２ 施策の体系

教育推進計画は、教育基本計画の体系に基づき、「北広島市総合計画(第５次)２０１５ 推進計画（平成 ２８～３０ 年度）」（以下、「市の推進計画」という。）に掲げられた事業のほか、国や道による委託事業や管理的な事務事業など、教育委員会が実施する事業全体を施策体系に示します。なお、市の推進計画に掲げる事業は、事業名・事業内容・年度計画などについて基本的に整合を図ります。（図 2）

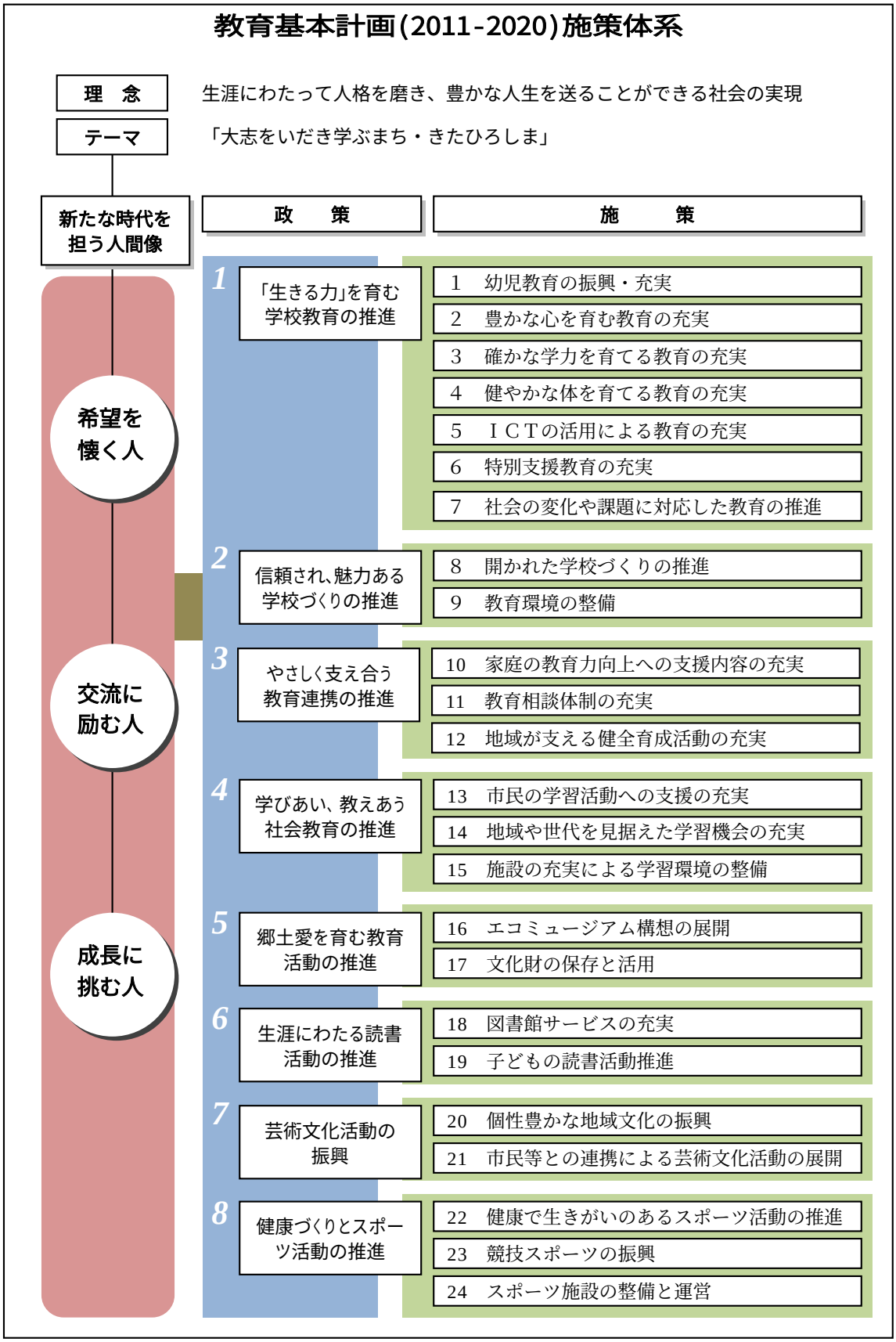
## ３ 計画の期間

この教育推進計画の期間は、平成 ２８ 年度から平成 ３０ 年度までの３年間です。施策の点検評価により毎年見直しを行い、市の推進計画の見直しを踏まえながら、１年ごとに更新していきます。

## 図1　北広島市の教育計画の体系



## 図２　北広島市教育基本計画の施策体系



## Ⅱ　政策及び施策の推進について

### １．　先人たちが伝える精神と教育基本計画に定めた視点の反映

教育基本計画は、当市開拓期にゆかりのある偉大な先人、W.S.クラーク、中山久蔵、和田郁次郎の３人が伝える「懐く」・「励む」・「挑む」の精神を人材育成のキーワードとし、８つの政策と２４の施策によって「これからの人づくり」を目指します。

また、教育基本計画には政策と施策を推進するうえで求められる５つの視点（「生涯学習環境整備」「社会貢献人材育成」「産学官民の連携」「地域の教育力」「総合的な教育施策」）を定めました。

教育推進計画では、教育基本計画を着実に推進するため、８つの政策・２４の施策に基づいて実施する個別事業に、先人が伝える精神性や基本計画に定めた５つの視点を反映させていきます。

### ２．計画の進行管理（点検と評価及び見直し）

教育推進計画は、教育基本計画に掲げた政策・施策を着実に実施していくための個別事業で構成しています。

人づくりを目指す政策・施策の進行状況や成果は、できる限り数値に置き換え、計画的な事業実施により着実に計画目標を達成するよう努めます。

そこで、一つひとつの個別事業において、先人たちが伝える精神「懐く」・「励む」・「挑む」を、事業を動かす推進力としてとらえ、その中から特に強く作用させるアクションを掲げます。（表１）

また、前述した５つの視点の中から、個別事業がより大きな成果を得るために必要とする視点を掲げ（表２）、一つひとつの事業の推進状況が教育基本計画の理念に沿うものであることを示します。

これらを踏まえ、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき毎年実施している「北広島市教育委員会が取り扱う事務について自ら行う点検及び評価」との整合も勘案し、毎年、事業のきめ細かな点検評価と施策ごとの評価・見直しを行うことにより、教育推進計画の進行状況を管理していきます。

### ３．次期教育推進計画

次期教育推進計画は、上述した点検評価及び見直しについて北広島市教育施策審議会が審議した内容を踏まえ、市教育委員会が決定します。

**表１　事業推進力となる先人の精神と事業に作用させるアクション**

| 先人の精神（事業推進力） | アクション | 該当する事業 |
|---|---|---|
| W.S.クラーク<br>希望を　**懐　く** | めざす　（堅実性）<br>備える　（先見性）<br>創　る　（独創性） | 目標を目指し堅実に歩みを進めてゆく事業<br>先を見た展開が必要な事業<br>北広島独自の内容をもつ事業 |
| 和田郁次郎<br>交流に　**励　む** | 続ける　（継続性）<br>整える　（効率性）<br>拡げる　（拡張性） | 長期にわたる継続が必要な事業<br>効率化、縮小など整理が必要な事業<br>拡大・充実すべき事業 |
| 中山久蔵<br>成長に　**挑　む** | 点検する（意識性）<br>改善する（向上性）<br>転換する（改革性） | 点検を怠らず高い意識で進める事業<br>より高い成果を求め工夫・改善が必要な事業<br>廃止などの根本的な改革が必要な事業 |

**表２　政策・施策の推進に求められる５つの視点**

| ５つの視点 | 該当する事業 |
|---|---|
| **視点１：生涯にわたる学習環境の充実**<br>いつでも、どこでも、だれでもが学習することができる学習環境を整備する視点　**「生涯学習環境整備」** | 生涯にわたる学習環境の充実に視点を置く事業<br>**事業の例**<br>【ハード事業】学校施設・体育施設等の改修事業など<br>【ソフト事業】生涯学習振興会支援事業、学校教育振興事業、文化財保存活用事業　など |
| **視点２：たくましく生きる力をもち、社会に貢献する人材の育成**<br>心身ともに健康で豊かな教養と社会性を有し、郷土を愛し、社会の一員として地域づくりに貢献できる人材を育てる視点　**「社会貢献人材育成」** | 地域づくりに貢献できる人材の育成に視点を置く事業<br>**事業の例**<br>成人式開催事業、図書館フィールドネット連携事業、文化賞等表彰事業　など |
| **視点３：産･学･官･民の「協働社会」の推進**<br>産･学･官･民がそれぞれの機能を十分に発揮し、相互が補完し合いながら、新たな地域づくりを進めていく視点　**「産学官民の連携」** | 産学官民の連携による地域づくりの進展に視点を置く事業<br>**事業の例**<br>芸術文化ホール運営委員会連携事業、芸術文化ホール管理など |
| **視点４：学校、家庭及び地域住民が一体となった教育力の向上**<br>学校、家庭及び地域が、それぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携協力により地域の教育力の向上を図る視点　**「地域の教育力」** | 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上に視点を置く事業<br>**事業の例**<br>市Ｐ連支援事業、青少年健全育成啓発事業、学校支援地域本部事業、エコミュージアム普及推進事業　など |
| **視点５：総合的な教育施策の推進**<br>学校教育と社会教育はもとより、子育てや経済・労働などの分野と連携し、総合的な教育施策を推進する視点　**「総合的な教育施策」** | 行政内の連携による総合的な教育施策の進展に視点を置く事業<br>**事業の例**<br>家庭教育支援事業、読書環境整備事業、青少年関係事業　など |

**参考**

**地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年 6 月 30 日法律第 162 号）　抜粋**

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第 27 条**　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅲ　８つの政策と２４の施策を進める個別事業

教育基本計画及び教育推進計画の政策・施策体系に沿い、各施策の個別事業について、事業内容、推進計画、期待されるアクション、必要な視点、前年度の実績及び評価等を掲載します。

＊ **教育推進計画に掲載する事業**

① 市の推進計画（第２章）に掲載された教育政策に係る事業

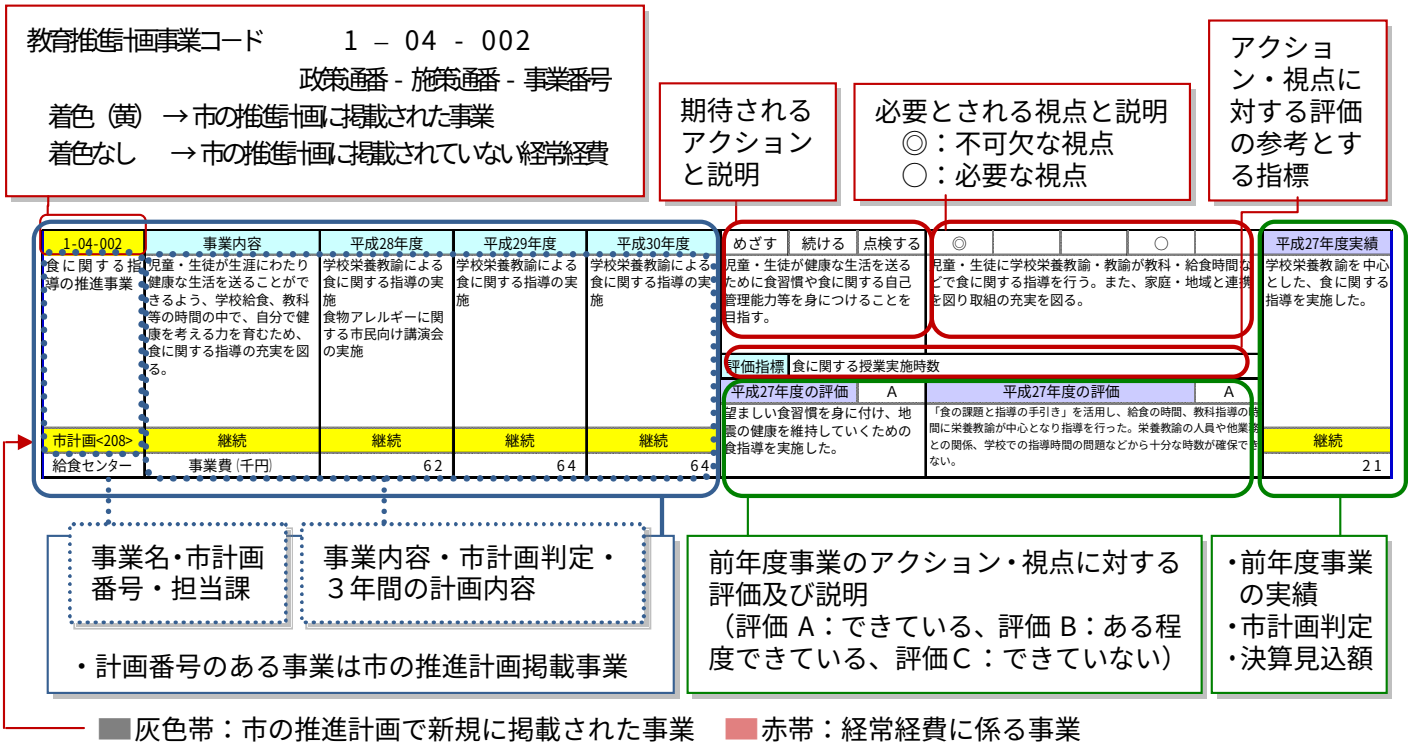
② 経常経費に係る事業（市の推進計画には掲載されない）

＊ **拡大事業の掲載方法について**

市の推進計画と同様、教育推進計画でも継続分と拡大分を別個に掲載します。

・個別事業の継続分及び拡大分を別々に掲載。（拡大分には【拡大】と表記）

### 凡　例　（個別事業の推進計画及び評価）



政策１　「生きる力」を育む学校教育の推進

- 施策１ 幼児教育の振興･充実
- 施策２ 豊かな心を育む教育の充実
- 施策３ 確かな学力を育てる教育の充実
- 施策４ 健やかな体を育てる教育の充実
- 施策５ ＩＣＴの活用による教育の充実
- 施策６ 特別支援教育の充実
- 施策７ 社会の変化や課題に対応した教育の推進

## 【施策１ 幼児教育の振興･充実】

1　多様な体験を重視した特色ある幼児教育を推進するとともに、障がい児の幼稚園への入園を促進します。
2　家庭･地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。
3　教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動を支援します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 1-01-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 評価指標 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園就園奨励費事業 | 私立幼稚園に通園する市内在住園児の保護者に入園料、保育料等の減免措置を行う。幼稚園の設置者に対し減免措置分を支援する。 | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 | 平成27年度の評価 / 平成27年度の評価 | 入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成<br>対象園児 711名 |
| 市計画<200> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | 継続 |
| 児童家庭課 | 事業費（千円） | 78,090 | 79,342 | 79,342 | | 93,542 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-01-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園就園準備支援事業 | 幼稚園が実施する満2歳児を対象とした子育て支援事業の参加に係る保護者負担を支援する。 | 子育て支援事業の参加費を助成 | 子育て支援事業参加費の助成 | 子育て支援事業参加費の助成 | 評価指標 | | 子育て支援事業の参加費を助成<br>対象園児１１０名 |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<201> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 児童家庭課 | 事業費（千円） | 1,342 | 1,148 | 1,148 | | | 637 |

| 1-01-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園協会連携事業 | 市内私立幼稚園８園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。 | 幼稚園協会に対する助成 | 幼稚園協会に対する助成 | 幼稚園協会に対する助成 | 幼稚園教育振興のため、内容の確認を行いながら継続して助成を行う。 | ◎市内私立幼稚園の連携、協力体制を強化し、幼稚園教育の充実を図る必要がある。 | 補助金の助成により、全市の幼児教員の交流が図られた。 |
| | | | | | 評価指標 | 幼児教育の資質向上 | |
| | | | | | 平成27年度の評価 A | 平成27年度の評価 A | |
| | | | | | 幼稚園協会に助成することにより、協会主催の研修会等が開催された | 幼稚園協会に助成することにより、研修会等が開催され、市内幼稚園の教員間の交流が図られ、情報共有による幼児教育の充実が図られた。 | |
| 市計画<202> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 160 | 162 | 162 | | | 160 |

| 1-01-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | ◎ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼稚園振興事業 | 幼児教育の振興と保護者の負担軽減を図るため、幼稚園教員研修、幼児教育における教材教具、障がい児教育における教材教具並びに人件費等の経費を助成する。 | 私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成 | 私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成 | 私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成 | 幼稚園経営の安定化、幼児教育の充実、保護者負担軽減の視点から、市内各幼稚園を支援する。 | ◎私立幼稚園の教育内容の充実を図るため教職員研修、障がい児教育、教材教具の充実などの支援が必要である。 | 補助金の助成により、幼児教育の充実が図られた。 |
| | | | | | 評価指標 | 教材購入・職員研修・障がい児保育の実績 | |
| | | | | | 平成27年度の評価 A | 平成27年度の評価 A | |
| | | | | | 各園に助成することにより、各園が掲げる特色ある教育が実現され、市内の幼児に優良な幼児教育が提供された。 | 助成により、本来市の機能として行わなければならない幼児教育の分野について、各園において教員研修、教材教具が行われ、幼児教育の充実が図られた。また、障がい児保育の援助を行った。 | |
| 市計画<203> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 6,886 | 6,977 | 6,977 | | | 6,886 |

| 事業名<br><br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 1-01-005 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | ◎ | | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼保小連携推進事業 | 幼児教育から学校教育への移行にあたり、幼稚園、保育園、小学校が抱える問題点を整理するための懇話会を設置し、スムーズな移行を図るための連携、懇話及び研修を行う。<br>平成２３年「幼児教育の連携に関する懇話会」を設置。 | 懇話会の開催<br>幼保小連携に関する講演会・研修会（教員間交流・研修）<br>キャリア教育的交流<br>異学年交流<br>保護者間交流<br>情報交換会 | 懇話会の開催<br>幼保小連携に関する講演会・研修会（教員間交流・研修）<br>キャリア教育的交流<br>異学年交流<br>保護者間交流<br>情報交換会 | 懇話会の開催<br>幼保小連携に関する講演会・研修会（教員間交流・研修）<br>キャリア教育的交流<br>異学年交流<br>保護者間交流<br>情報交換会 | 幼児教育の振興・充実を図るとともに幼稚園・保育園から小学校への円滑な移行を図る。 | | | ◎幼児教育について共通の理解と相互連携を図るための懇話会を設置し、幼稚園、保育園、小学校関係者の連携を深める。 | | | | | アクションプランに基づき、保育園参観研修会や教員間交流会が実施された。 |
| | | | | | 評価指標 | 会議等の開催回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 関係者による「懇話会」での意見を参考にしながら、アクションプランに基づいた保育園参観研修や教員間交流会が実施された。 | | | アクションプランに基づき、子ども・教員・保護者を含めた交流会や研修会が実施された。 | | | | | |
| 市計画<376> | 継続 | 新規 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 100 | 110 | 110 | | | | | | | | | 0 |

## 【施策2 豊かな心を育む教育の充実】

1　人を思いやる心や人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。
2　基本的な倫理観や思いやりの心などを育む教育を推進します。
3　いじめ、不登校やさまざまな問題に適切な対応をするとともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。
4　豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-02-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 心の教室相談事業<br><br>【拡大】 | 児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図るとともに、いじめや不登校の未然防止と早期把握を図るため、小中学校に心の教室相談員を配置する。 | 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間約４００時間）<br>一人当たり20時間相談時間を増加する。 | 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間約４２０時間） | 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間約４２０時間） | 気軽に相談できる、相談しやすい体制づくり。 | 子どもたちとの信頼関係の構築<br>学校、スクールカウンセラー、子どもサポートセンター相談員との連携 | 小学校８校、中学校６校に心の教室相談員を配置（１人当たり年間約４００時間）<br>相談件数<br>小学校７９件<br>中学校１４４件 |
| | | | | | 評価指標：相談件数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>相談員が、相談しやすい体制づくりを進め、いじめや不登校の未然防止や早期発見に努めた。 | 平成27年度の評価：A<br>不登校の要因は、複雑多様化していることから、スクールカウンセラー等の専門知識を有する人材と連携を図りながら対応を行なった。 | |
| 市計画<250> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 6,050 | 6,198 | 6,198 | | | 6,104 |

| 1-02-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 創意工夫展・書写展事業 | 児童生徒の科学技術に対する興味関心を高め、創意・創造性を育成するとともに、日本伝統の毛筆・硬筆を通じて個性の伸長と豊かな情操の涵養を図るため、創意工夫展及び書写展を開催する。 | 創意工夫展の開催<br>書写展の開催 | 創意工夫展の開催<br>書写展の開催 | 創意工夫展の開催<br>書写展の開催 | 子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。 | 学校と連携し、子どもたちの柔軟なアイデアや個性などを育んでいく。 | 創意工夫展の開催（９月１７日～２３日、出品数174）、書写展の開催（１月２０日～２４日、出品数３０２） |
| | | | | | 評価指標：出展作品数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>創意工夫展、書写展を開催し子どもたちの作品を展示できた。 | 平成27年度の評価：A<br>学校と連携し開催を進めた。優秀作品には賞を授与し讃えた。 | |
| 市計画<252> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 175 | 177 | 177 | | | 182 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 1-02-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | ◎ | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校教育振興事業 | 児童生徒の「生きる力」を育み、自ら課題を見つけ、主体的、創造的に取組む資質を養う総合学習や、学校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり、職業体験を通して社会人としての自立意識を育てるインターンシップ事業を推進する。 | 総合学習の実施<br>特色ある学校づくり<br>職場体験の実施 | 総合学習の実施<br>特色ある学校づくり<br>職場体験の実施 | 総合学習の実施<br>特色ある学校づくり<br>職場体験の実施 | 各校が独自の教育を推進するために継続して助成を行う。 | | | ◎児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会の充実を図るため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。 | | | | | 補助金の助成により、児童生徒の「生きる力」が育まれた |
| | | | | | 評価指標 | 総合学習の実施状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 各校教育振興会に助成することにより、各校が特色ある教育を実現している。 | | | 助成により各校が自主性、独自性を生かし、様々な体験をさせることにより、児童生徒の「生きる力」が育まれた。 | | | | | |
| 市計画<301> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 7,842 | 7,982 | 7,982 | | | | | | | | | 7,842 |

| 1-02-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | ○ | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域に根差した特色ある学校教育推進事業<br><旧事業名><br>心の教育推進事業<br><br>【統合】 | 児童・生徒に基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、ふるさと意識の醸成、自尊感情や他人への思いやり、生命を尊重する心、公共の精神、キャリア教育など、社会科、道徳の時間などを中心にした「生きる力」を育む教育の充実に取り組む。 | ・福祉読本編集委員会の開催<br>・社会科副読本編集委員会の開催<br>・学校教育推進方針編集員会の開催<br>・きたひろ夢ノートの印刷 | ・福祉読本編集委員会の開催<br>・社会科副読本編集委員会の開催<br>・学校教育推進方針編集員会の開催<br>・きたひろ夢ノートの印刷<br>・福祉読本の印刷、道徳準教科書の購入 | ・福祉読本編集委員会の開催<br>・社会科副読本編集委員会の開催<br>・学校教育推進方針編集員会の開催<br>・きたひろ夢ノートの印刷 | 発達段階に応じて、規範意識や公正な判断力、生命・人間尊重の精神など子どもたち成長を育む教育の推進・充実。 | | | ◎道徳教育や、福祉・人権教育を行う上で参考となす教材資料の提供が必要である。<br>○学校でだけでなく、家庭、地域との連携した取り組みが必要である。 | | | | | 福祉読本編集委員会を小・中3回開催した。 |
| | | | | | 評価指標 | 配布した教材資料の活用状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 福祉読本編集委員会を小中で３回開催し、福祉読本「ともに生きる」の授業での指導方法の工夫・改善を行った。 | | | Ｈ２６年度から使用している改訂版「ともに生きる」の実践交流を行い、指導方法の工夫・改善に資することができた。 | | | | | |
| 市計画<302> | 継続 | 統合 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 403 | 5,452 | 403 | | | | | | | | | 34 |

| 1-02-005 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校図書館活用事業 | 「学校図書センター」を中心とし、ネットワークを活用した蔵書の有効活用を図るとともに、学校司書を各小中学校に巡回配置し、選書や図書館の環境整備等、学校図書館の活性化を図る。 | 学校図書購入費<br>図書センター（豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応）<br>学校図書館ネットワークシステム借上げ<br>学校司書の中学校への配置（3名） | 学校図書購入費<br>図書センター（豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応）<br>学校図書館ネットワークシステム借上げ<br>学校司書の中学校への配置（3名） | 学校図書購入費<br>図書センター（豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応）<br>学校図書館ネットワークシステム借上げ<br>学校司書の中学校への配置（3名） | 資料更新を重点においた学校図書館の環境整備を図り、子どもたちの読書意欲を高める。 | | | ◎読書活動は、子どもたちの豊かな感性や想像力を育む上で必要である。<br>○学校と図書館、先生と司書との連携による魅力ある学校図書館整備をはじめとした学校図書館の活用が必要である。 | | | | | 平成２８年1月末現在<br>一人あたり年間貸出冊数<br><br>小学校　２２.8冊<br>中学校　　6.2冊<br><br>豆次郎利用数調査の実施 |
| | | | | | 評価指標 | 一人あたり年間貸出冊数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | B | |
| | | | | | 豆次郎利用数調査を実施。学校司書を中学校に配置し、学校との連携による読書活動の推進を実施。 | | | 今後の学校図書館の活性化のために、各学校に合わせた取り組みや支援等が課題。 | | | | | |
| 市計画<303> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 16,771 | 15,770 | 15,770 | | | | | | | | | 15,299 |

## 【施策3 確かな学力を育てる教育の充実】

1　基礎･基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
2　総合的な学習の時間を中心に、体験的･問題解決的及び探求的な学習を推進します。
3　学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。
4　学力検査等の結果を生かした指導方法の工夫改善を進めます。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 1-03-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | ○ | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学力向上推進事業 | 市全体の学習状況を捉え、本市の課題を明らかにするとともに、子どもの学習意欲を高める指導内容や個に応じた指導方法の工夫・改善について研究、実践に取り組み、学力向上の指導の充実を図る。 | 標準学力検査の実施<br>学校改善プランの作成<br>全国学力・学習状況調査への参加 | 標準学力検査の実施<br>全国学力・学習状況調査への参加<br>学力向上PTの開催 | 標準学力検査の実施<br>全国学力・学習状況調査への参加<br>学力向上PTの開催 | 現状の児童生徒の学力状況を分析、検証し学力向上につながる指導方法等の検討。 | | | ◎学力向上を図るためには、現状の児童生徒の学力を把握することが必要である。<br>○学校での取組のみならず、家庭、地域と連携した取組も必要である。 | | | | | 標準学力検査の実施<br>学校改善プランの作成<br>全国学力・学習状況調査への参加 |
| | | | | | 評価指標 | 全市小中学校正答率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 標準学力検査の実施、道が実施した全国学力・学習状況を活用した調査への全校参加 | | | 標準学力検査結果や全国学力・学習状況調査結果を分析・検証したなかで、学力向上に向けた具体的な方策を示していくとともに、各校で指導方法の工夫が見られる。 | | | | | |
| 市計画<306> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 5,367 | 5,474 | 5,474 | | | | | | | | | 5,367 |

| 1-03-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校教育相談員活用事業 | 学校を取り巻く環境は非常に複雑化してきており、課題も指摘されていることから、それらの課題を的確に取り組んでいくために、専門的知識や経験豊富な教員経験者を配置する。 | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 | 各学校長や教育委員会職員等への指導・助言、情報提供による社会の変化に対応した学校経営等の充実。 | | | ◎今日的な教育課題の解決のための指導助言が必要である。 | | | | | 学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施 |
| | | | | | 評価指標 | 各学校への訪問回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 必要に応じて、各学校への訪問や指導・助言、情報提供等を行った。 | | | 指導主事的な立場で各学校への指導・助言を行うとともに、学校経営の充実や職員の資質向上を図るための研修計画、学校教育推進の方針の作成など、学校教育の充実が図られている。 | | | | | |
| 市計画<304> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 2,403 | 2,421 | 2,421 | | | | | | | | | 2,273 |

| 事業名<br><br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-03-101<br>小学校教育振興経費<br><br>（小学校教育振興経費） | 事業内容<br>小学校教育振興経費<br>（教材・教具等） | 平成28年度<br>教材・教具教育環境の整備<br><br>経常分13,746千円<br>臨時分 65千円 | 平成29年度<br>教材・教具教育環境の整備 | 平成30年度<br>教材・教具教育環境の整備 | めざす / 続ける / 点検する<br>学校教育における教材教具の充実。<br><br>評価指標 ―<br>平成27年度の評価 A<br>教材教具の充実を図った | ◎ / ○<br>◎各校の特色にあった教材教具の充実のため、学校現場との連携を図る必要がある。<br>平成27年度の評価 A<br>各校の特色、時代に合った教材教具が必要となっており、各校の事情に合った支出ができるよう、また、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指導している。 | 平成27年度実績<br>教材教具の整備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 13,811 | 13,811 | 13,811 | | | 8,244 |

| 1-03-102<br>中学校教育振興経費<br><br>（中学校教育振興経費） | 事業内容<br>中学校教育振興経費<br>（教材・教具等） | 平成28年度<br>教材・教具教育環境の整備<br><br>経常分11,606千円<br>臨時分5,455千円<br><br>（吹奏楽部楽器購入等） | 平成29年度<br>教材・教具教育環境の整備 | 平成30年度<br>教材・教具教育環境の整備 | めざす / 続ける / 点検する<br>学校教育における教材教具の充実。<br><br>評価指標 ―<br>平成27年度の評価 A<br>教材教具の充実を図った | ◎ / ○<br>◎各校の特色にあった教材教具の充実のため、学校現場との連携を図る必要がある。<br>平成27年度の評価 A<br>各校の特色、時代に合った教材教具が必要となっており、各校の事情に合った支出ができるよう、また、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指導している。 | 平成27年度実績<br>教材教具の整備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 17,061 | 17,061 | 17,061 | | | 10,934 |

## 【施策4 健やかな体を育てる教育の充実】

1 健康に必要な知識･実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組を推進します。
2 食の正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、家庭や地域と連携した食育を推進します。
3 安全で安心な給食を提供するため、施設･設備の整備を促進するとともに、食物アレルギーや異物混入に対する取組を進めます。
4 児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全･安心な環境づくりを推進します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-04-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校給食衛生管理事業 | 給食を実施するうえで、食品等の安全衛生管理が最も重要であることから、施設設備機器類を整備、更新するとともに微生物検査等を実施し、徹底した衛生管理を実施して安全で安心な給食を提供する。 | 給食用食品の微生物検査の実施<br>老朽化した給食施設・設備機器の更新 | 給食用食品の微生物検査・理化学検査の実施<br>給食施設・設備の更新<br>小中学校用食器の更新 | 給食用食品の微生物検査・理化学検査の実施<br>給食施設・設備の更新<br>小中学校用食器の更新 | 衛生管理を徹底するために設備機器を整備・更新し、安心・安全な給食を提供する。 | | | | ○<br>施設設備機器類を計画的に更新し、衛生管理体制の充実を図る。 | 食材等の微生物検査の実施及び設備・備品の更新を実施。<br>高性能断熱食缶及び保冷材凍結庫の導入 |
| | | | | | 評価指標：設備機器更新率 | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：B<br>老朽化した施設、設備機器、備品等を計画的に更新するとともに、食品中等の微生物検査を実施した。 | | | | 平成27年度の評価：B<br>備品等の老朽化が進んでいるが、更新が追い付いていない状況にある。今後も引き続き計画的な更新が必要となってくる。 | |
| 市計画<207> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費（千円） | 4,403 | 7,862 | 8,022 | | | | | | 9,460 |

| 1-04-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 食に関する指導の推進事業 | 児童・生徒が生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。 | 学校栄養教諭による食に関する指導の実施<br>食物アレルギーに関する市民向け講演会の実施 | 学校栄養教諭による食に関する指導の実施 | 学校栄養教諭による食に関する指導の実施 | 児童・生徒が健康な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。 | | | | ◎<br>児童・生徒に学校栄養教諭・教諭が教科・給食時間などで食に関する指導を行う。また、家庭・地域と連携を図り取組の充実を図る。 | 学校栄養教諭を中心とした、食に関する指導を実施した。 |
| | | | | | 評価指標：食に関する授業実施時数 | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>望ましい食習慣を身に付け、地震の健康を維持していくための食指導を実施した。 | | | | 平成27年度の評価：A<br>「食の課題と指導の手引き」を活用し、給食の時間、教科指導の時間に栄養教諭が中心となり指導を行った。栄養教諭の人員や他業務との関係、学校での指導時間の問題などから十分な時数が確保できない。 | |
| 市計画<208> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費（千円） | 62 | 64 | 64 | | | | | | 21 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-04-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校給食費公会計化事業 | 適正で透明な会計処理及び給食費収納に係る教職員の事務負担の軽減のため、学校給食費の公会計化を実施する。<br>また、新たに給食費収納管理システムを構築し、収納管理体制を整備する。 | 学校給食費の公会計化に向けた給食費管理システム及び周辺環境機器の整備 | 収納管理システムの運用<br>公会計による給食費会計の運営 | 収納管理システムの運用<br>公会計による給食費会計の運営 | 事務の透明性の向上、保護者の負担の公平性の確保する。 | | | | ○<br>学校給食費の予算及び決算処理に関する透明性の一層の向上図り、教職員等の事務軽減を図る。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率・収納率 | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | | | | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<350> | 継続 | 新規 | 継続 | 継続 | | | | | | |
| 給食センター | 事業費（千円） | 9,555 | 4,627 | 4,627 | | | | | | |

| 1-04-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中学校体育連盟支援事業 | 中学校体育連盟連盟が実施する市内、管内大会を通じて中学生の体位、体力の向上、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成を図るため、同連盟への事業費の支援により、生徒間の交流や習得した技能を発揮する場の提供をはじめ、市内スポーツと市教育の振興に寄与する。 | 中体連春季大会、中体連秋季大会の開催<br>石狩管内中体連の開催 | 中体連春季大会、中体連秋季大会の開催<br>石狩管内中体連の開催 | 中体連春季大会、中体連秋季大会の開催<br>石狩管内中体連の開催 | 中学校における体育部活動振興のため継続して助成を行う。 | | | | ◎<br>◎中学校における体育振興、生徒間の交流、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成が必要である。 | 中学校体育連盟に交付金を交付。 |
| | | | | | 評価指標：実施種目数 | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>中体連に助成することにより、市内中学生のスポーツ振興が図られた。 | | | | 平成27年度の評価：A<br>中体連が、円滑に大会を運営できるよう助成を行うことにより、生徒間の交流、生徒の健全な育成が図られると共に、スポーツ振興が図られた。 | |
| 市計画<223> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 5,323 | 5,411 | 5,411 | | | | | | 5,323 |

| 1-04-005 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業 | 市立中学校の生徒が、日本中学校体育連盟、北海道中学校体育連盟が主催する大会に出場する場合や予選会等を経て全道規模以上の文化部活動大会等に参加する場合、その派遣に要する費用の一部を助成する。 | 全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成<br>全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成 | 全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成<br>全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成 | 全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成<br>全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成 | 中学生が部活動に対し十分な活動ができるよう支援し、部活動を活性化する。 | | | | ◎<br>◎中学校おける部活動の活性化と併せて、保護者負担の軽減を図ることが必要である。 | 中体連全道大会<br>56名出場<br>中体連全国大会<br>1名出場<br>文化部活動全道大会<br>１団体出場（大曲中学校吹奏楽部） |
| | | | | | 評価指標：大会出場生徒数 | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>中体連、文化部活動の全道、全国大会出場者に対し旅費等の助成を行なった。 | | | | 平成27年度の評価：A<br>全道、全国大会への出場経費を助成することにより、保護者の負担軽減、スポーツ、文化活動への参加拡大を図る。 | |
| 市計画<225> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 見直し |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 2,100 | 2,100 | 2,100 | | | | | | 2,503 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 1-04-006<br>子どもの体力向上推進研究事業<br>【新規】 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 拡げる | 改善する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 義務教育9年間を修了するにふさわしい生活習慣、運動能力・体力の育成に向けて、幼保小中連携した体育授業や学校教育活動全体の充実を図る。 | 検討チームの設置・運営<br>小学校体育授業のサポート | 検討チームの設置・運営<br>小学校体育授業のサポート | 検討チームの設置・運営<br>小学校体育授業のサポート | 義務教育を修了するにふさわしい生活習慣、運動能力・体力を身につけるための研究を行う。 | | | 検討チームを設置し、具体的な手立てを研究する。 | | | | |
| | | | | | 評価指標 | 加入市町村数 | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | |
| 市計画<377> | 新規 | 新規 | 継続 | 継続 | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 440 | 440 | 440 | | | | | | | | |

| 1-04-101<br>学校保健事業<br>（小学校保健経費・中学校保健経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | ○ | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、定期健康診断や定期歯科検診等の各種検診事業を実施する。 | 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催<br>内科検診看護師賃金<br>小学校9,214千円<br>中学校5,431千円 | 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催<br>内科検診看護師賃金 | 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催<br>内科検診看護師賃金 | 学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康を保持する。 | | | ◎児童生徒の健やかな体を育てる教育を進めていくため、健康状態を把握することが必要である。<br>○体力向上、規則正しい生活習慣の確立などについて、学校だけでなく、家庭、地域との連携した取組が必要である。 | | | | | 各種検診事業、関係備品購入、内科検診看護師賃金 |
| | | | | | 評価指標 | 健康診断受診率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 児童、生徒の健康診断及び教職員の健康診断を実施した。 | | | 児童・生徒の各種健康診断の充実(平成２４年度より耳鼻科検診開始）及び教職員の教職員の健康管理体制の充実が図られた。 | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 14,645 | 14,645 | 14,645 | | | | | | | | | 14,175 |

| 1-04-102<br>スポーツ振興センター負担金等<br>(小学校管理経費・中学校管理経費) | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校管理下において児童生徒に事故（けが）があった場合の医療費等への補償に対応する。 | 学校スポーツ振興センターへの加入<br>小学校2,885千円<br>中学校1,706千円 | 学校スポーツ振興センターへの加入 | 学校スポーツ振興センターへの加入 | 在籍児童生徒全員の加入負担金の支出。 | | | ◎児童生徒のがけが等に対し、医療費等の補償を行うとともに、日頃からの安全管理を行うことが必要である。 | | | | | 学校スポーツ振興センターへの加入及び補償の対応<br>小学校<br>負担金2,935千円<br>中学校<br>負担金1,625千円 |
| | | | | | 評価指標 | 補償件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 在籍児童生徒全員が加入し、学校管理下中の事故への補償に対応している。 | | | 発生した児童生徒のけが等に対する医療費等の補償を適切に実施した。 | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 4,561 | 4,561 | 4,561 | | | | | | | | | 4,560 |

| 事業名<br><br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-04-103<br>北広島市小・中学校給食運営委員会経費<br><br>（小学校給食運営経費・中学校給食運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>学校給食運営に関する重要な事項について助言を受ける。<br>評価指標：開催回数<br>平成27年度の評価：A<br>学校給食運営に関する重要な事項について助言を受けた。 | ○ / / / ○ / <br>透明性のある学校給食の運営を適正に行ううえで必要な委員会である。<br>平成27年度の評価：A<br>学校給食運営に関する重要な事項について助言をうけ、学校給食は適正に運営されていた。 | 平成27年度実績<br>運営に関する重要な事項に対しての助言<br>・委員会～2回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費（千円） | 872 | 554 | 198 | | | 307 |
| | 学校給食の運営を適正かつ円滑に行うため教職員・保護者及び学校医等から助言を受ける。<br>運営委員　13名 | 運営に関する重要な事項に対しての助言・委員会～<br>5回開催<br>小学校436千円<br>中学校436千円 | 運営に関する重要な事項に対しての助言・委員会～<br>3回開催<br>小学校277千円<br>中学校277千円 | 運営に関する重要な事項に対しての助言・委員会～<br>2回開催 | | | |

| 1-04-104<br>学校給食施設維持管理経費<br><br>（小学校給食運営経費・中学校給食運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>学校給食を安定的に提供するうえで施設設備等を適正に維持する。<br>評価指標：配食数<br>平成27年度の評価：A<br>学校給食を安定的に提供するために計画的に施設設備等の維持管理を行なった。 | ○ / / / / <br>学校教育の一環として食教育にあたり教材としての学校給食を提供する。<br>平成27年度の評価：A<br>安定した学校給食の提供を行なうため、計画的に施設・設備の修繕等を行なった。 | 平成27年度実績<br>施設・設備の修繕及び施設管理委託の実施 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費（千円） | 11,307 | 10,142 | 10,142 | | | 12,984 |
| | 学校給食を提供するための施設維持管理経費 | 施設維持管理経費<br><br>小学校 1,669千円<br>臨時　2,106千円<br>営繕　1,188千円<br>中学校 3,590千円<br>臨時　2,754千円 | 施設維持管理経費 | 施設維持管理経費 | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 1-04-105<br>学校給食運営経費<br>（小学校給食運営経費・中学校給食運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 拡げる | 改善する | ○ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校給食を提供するための運営経費<br>栄養士３名・ボイラー技士２名分の報酬含む | 市内小・中学校運営経費<br>小学校　８校<br>中学校　６校<br>札幌養護学校　１校<br>小　109,603千円<br>臨時　0千円<br>中　137,939千円<br>臨時　0千円 | 市内小・中学校運営経費<br>小学校　８校<br>中学校　６校<br>札幌養護学校　１校 | 市内小・中学校運営経費<br>小学校　８校<br>中学校　６校<br>札幌養護学校　１校 | 栄養のバランスがとれた給食を提供し食生活の改善を図る。 | | | 学校給食を通して食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることが重要である。 | | | | | 市内小・中学校運営経費<br>小学校　8校<br>中学校　6校<br>札幌養護学校　1校 |
| | | | | | 評価指標 | 配食数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 安全で安心な給食を提供するとともに、異物混入に対する取組みを行なった。 | | | 児童生徒が楽しく食事をすること、望ましい食習慣の形成を図ること、食事を通して好ましい人間関係の育成を図ることを目標に、栄養のバランスが取れた給食を提供した。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費（千円） | 247,542 | 256,022 | 256,022 | | | | | | | | | 252,011 |

| 1-04-106<br>北海道学校給食研究協議会負担金<br>（小学校給食運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 拡げる | 改善する | ○ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校給食に係る調査研究及び情報交換行い学校給食の向上を図るための北海道給食研究協議会運営経費<br>道内市町村が会員 | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換<br>理事会・役員会の開催<br>関係官庁及び関係機関との連携 | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換<br>理事会・役員会の開催<br>関係官庁及び関係機関との連携 | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換<br>理事会・役員会の開催<br>関係官庁及び関係機関との連携 | 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。 | | | 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。 | | | | | 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換<br>理事会・役員会の開催<br>関係官庁及び関係機関との連携 |
| | | | | | 評価指標 | 加入市町村数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 学校給食に関する調査研究及び情報交換を行なった。 | | | 学校給食に関する調査研究及び情報交換を行い、学校給食運営に生かされている。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 給食センター | 事業費（千円） | 36 | 37 | 37 | | | | | | | | | 37 |

## 【施策5 ICTの活用による教育の充実】

1　学びの充実を図るため、積極的にICTを活用するとともに、指導方法･指導体制の工夫改善を進めます。
2　教員のICT活用指導力向上のための研修等を充実します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 1-05-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校ICT環境整備事業 | 情報化社会へ適応するための情報処理能力向上をはじめ、ＩＣＴを活用した授業への対応による学力の向上、校務処理の効率化を図るため、児童生徒用・教職員用コンピュータ、周辺機器、アプリケーションの整備を行う。 | 校務用コンピューター、教室用プロジェクターの更新<br>校務支援システムの導入・運用 | 校務用コンピューター、教室用プロジェクターの更新<br>校務支援システムの運用 | 中学校教育用コンピューター、電子黒板ユニット、教育用コンテンツの更新<br>校務支援システムの運用 | 情報化社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に更新、新しい技術の導入を行う。 | | | ◎ICTを活用し、より充実した教育環境を提供するためには、日々変化する情報通信技術に対応していくことが必要である。 | | | | | 中学校教校務コンピュータにタブレット端末160台を整備。<br>既存機器の保守、修繕等 |
| | | | | | 評価指標 | 学校ICT機器の稼働状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | | | | |
| | | | | | 情報化社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に機器の更新、保守を行った。 | | | 中学校校務用コンピュータにタブレット端末の導入、普通教室の無線通信機能の整備、教育用ソフトウェア等の整備を行い、ICTを活用した教育の充実を図った。 | | | | | |
| 市計画<212> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 71,416 | 73,483 | 76,868 | | | | | | | | | 66,900 |

## 【施策6 特別支援教育の充実】

1　通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導･支援を充実します。
2　特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。
3　特別支援学校や関係機関との連携を充実します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-06-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別支援教育就学奨励費援助事業 | 特別支援学級への就学を奨励するとともに、保護者の負担を軽減するため学用品費等を支援する。また、通級指導教室児童を対象に通学費の支援を行う。 | 支援対象者に学用品や通学費などの助成<br>小学校1,274千円<br>中学校　833千円 | 支援対象者に学用品や通学費などの助成<br>小学生26名<br>中学生18名<br>通級児童40名 | 支援対象者に学用品や通学費などの助成<br>小学生26名<br>中学生17名<br>通級児童40名 | 障がいを持つ児童生徒が、十分な教育を受ける機会の確保を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減。 | ◎障がいを持つ保護者の経済的負担の軽減を図ることが必要である。 | 小学校24人<br>中学校15人<br>通学費４６人の支給 |
| | | | | | 評価指標：援助児童生徒数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者へ学用品等の経費の助成を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>特別支援学級に在籍する児童・生徒及び通級指導教室に通学する児童の保護者に制度を周知し、経済的負担の軽減を図った。 | |
| 市計画<209> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 2,107 | 2,265 | 1,976 | | | 2,155 |

| 1-06-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別支援教育推進事業 | 特別な支援を必要とする子どもたちの教育的ニーズに対応していくため、また教員の理解と資質の向上、保護者の理解を進めるとともに、学校内の体制の整備、学校・保護者に対する支援体制の充実させるために特別支援教育支援員・特別支援学級介助員を配置する。 | 特別支援教育支援員(19人)、特別支援学級介助員(14人)の配置<br>相談・指導の実施<br>教員研修の実施<br>特別支援教育講演会の開催<br>検査器具等の整備 | 特別支援教育支援員の配置（22人）<br>特別支援学級介助員の配置（14人）<br>相談・指導の実施<br>教員研修の実施<br>特別支援教育講演会の開催<br>検査器具等の整備 | 特別支援教育支援員の配置（22人）<br>特別支援学級介助員の配置（14人）<br>相談・指導の実施<br>教員研修の実施<br>特別支援教育講演会の開催<br>検査器具等の整備 | 通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童の支援、学校全体による支援体制の充実。 | ◎特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。<br>○特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。 | 特別支援学級支援員17人、特別支援学級介助員14人を配置及び特別支援学級の備品・消耗品の購入、特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施 |
| | | | | | 評価指標：支援員配置数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>特別支援学級支援員、特別支援学級介助員配置により特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施できた。 | 平成27年度の評価：B<br>配慮を必要とする児童生徒への対応について学校全体で取り組む体制づくりは整備されつつあるが、今後学校の事情に応じて計画的に配置していくことが必要である。 | |
| 市計画<211> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 38,626 | 42,462 | 42,462 | | | 36,246 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-06-101<br>教育支援委員会<br>（小学校教育振興経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>専門家による調査や検査結果に基づく、対象児童生徒の保護者への適切な就学指導と就学先の提供。<br>評価指標：就学指導委員会開催回数<br>平成27年度の評価：A<br>教育支援委員会を３回開催し、児童生徒の就学先の検討を行った。 | ◎<br>◎障がいを持つ児童生徒の保護者に、子どもの状況や学校、家庭が共に、子どもの成長を支援していくことについて理解をしてもらうことが必要である。<br>平成27年度の評価：A<br>就学時検診での検査結果や各学校の依頼による在籍児童生徒の検査結果を基に、その児童生徒に適切な就学先の検討を行い、保護者に提供することができた。 | 平成27年度実績<br>教育支援委員会の開催（3回） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 652 | 652 | 652 | | | 652 |

| 1-06-102<br>特別支援教育アドバイザーの配置<br>（教育委員会事務局運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する<br>各学校長や教職員への指導・助言、情報提供及び保護者との相談など、特別支援教育の理解と指導力の向上を図るための支援体制の充実。<br>評価指標：特別支援教育相談件数<br>平成27年度の評価：A<br>特別支援教育の理解と指導力の向上を図るため非常勤職員を配置し、支援体制の充実を図った。 | ◎ / ○<br>◎特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。<br>○特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。<br>平成27年度の評価：A<br>就学指導の面で、適切な対応と支援をしていただくことができ、円滑な就学指導が出来た。 | 平成27年度実績<br>専門職非常勤職員2名配置、学校・教職員に対し指導・助言、情報提供や保護者との相談などや、就学指導全般に対する業務を実施 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 4,994 | 4,994 | 4,994 | | | 5,096 |

| 1-06-103<br>特別支援教育関連協議会<br>（教育振興経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への負担金の支出。<br>評価指標：各協議会への参加状況<br>平成27年度の評価：A<br>各協議会へ担当教職員が参加し、情報交換等を行っている。 | ◎<br>◎協議会へ参加することにより、学校間の連携や情報交換が行われ、教職員の資質向上等の観点からも必要である。<br>平成27年度の評価：A<br>全道各市の組み状況や支援体制などの情報収集や指導方法の検討などが等が行なわれ、教職員の資質向上が図られた。 | 平成27年度実績<br>北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への参加 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 76 | 76 | 76 | | | 76 |

## 【施策7 社会の変化や課題に対応した教育の推進】

1 成長の足跡を確かめ、夢や目標に向かって挑戦する人材育成を目指す「きたひろ夢ノート」の実践を充実させるとともに、望ましい社会性や職業観･勤労観を育成するキャリア教育を推進します。
2 国際化に対応するため、英語教育に取り組むとともに、外国語指導助手(ALT)の活用など、コミュニケーション能力の育成を図ります。
3 子どもの権利をはじめとした人権教育や環境、福祉、平和、防災教育を充実･発展させるための取組を推進します。
4 姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1-07-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外国語指導助手活用事業 | 児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力育成の向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手を派遣し、外国語授業等の充実を図る。 | 外国人の指導助手４名任用 | 英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣 | 英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣 | 新学習指導要領による小、中学校における外国語（英語）に対する指導が重要な位置を占めることに対応した、外国語授業の充実。 | ◎免許外教員が教える小学校の外国語活動の授業への支援体制が必要である。<br>○英語指導助手の学校への派遣、地域の人材の活用が必要である。 | 英語人指導助手を計画的に各小中学校へ派遣（４名） |
| | | | | | 評価指標：英語指導助手数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>小、中学校の外国語活動の授業に英語指導助手を派遣し、特にコミュニケーション能力の育成が図られている。 | 平成27年度の評価：A<br>小学校５,６年生において外国語活動の授業が必修となったことから、効率的、計画的に英語指導助手の活用を図っていく必要と異文化に触れる国際性を高めた。 | |
| 市計画<213> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 15,647 | 15,711 | 15,877 | | | 14,953 |

| 1-07-001-1 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外国語指導助手活用事業<br>【拡大】 | 学習指導要領の改訂による小学校中学年への外国語活動の位置づけや高学年における教科化に向けた円滑な実施を図るため、増時数に伴う外国語指導助手の配置を拡大する。（2名） | | 外国語指導助手を2名増員 | 外国語指導助手を2名増員 | 新学習指導要領による小、中学校における外国語（英語）に対する指導が重要な位置を占めることに対応した、外国語授業の充実。 | ◎免許外教員が教える小学校の外国語活動の授業への支援体制が必要である。<br>○英語指導助手の学校への派遣、地域の人材の活用が必要である。 | |
| | | | | | 評価指標：英語指導助手数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価： | 平成27年度の評価： | |
| 市計画<213> | 拡大 | | 拡大 | 継続 | | | |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | | 7,037 | 7,037 | | | |

| 1-07-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 郷土資料教材化事業<br><br>【統合】 | 地域に根ざした授業を行うため、市内小・中学校の教員が独自で開発した教材や、市内の教育資源を教材として各教科に活用できる資料をデジタル化した郷土資料教材を作成し、教育委員会のホームページに掲載して地域に根ざした授業の充実を図る。 | 【地域に根差した特色ある学校教育推進事業に統合】<br>《平成27年度終了》 | | | 地域に根ざした授業を行うため、市内の教育資源を題材とした指導教材の充実。 | | | ◎生まれ育った地域をより知ることによる郷土愛や授業への興味関心を引く独自の教材の提供が必要である。 | | | | | 社会科副読本編集委員会を6回開催し、平成27年度改訂版の作成及び印刷<br>2,600部 |
| | | | | | 評価指標 | 開発した教材数/目標とする教材開発数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | B | | | | |
| | | | | | 改訂に向けた社会科副読本編集委員会を開催し、小学校社会科副読本の改訂版の作成等を行った。 | | | 社会科副読本により、郷土に対する関心を高め地域に根ざした特色ある教育を行うことができた。また、郷土資源を活用したデジタル教材を今後増やしていく必要がある。 | | | | | |
| 市計画<228> | 継続 | 統合 | | | | | | | | | | | 統合 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | | | | | | | | | | | | 2,513 |

| 1-07-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | ◎ | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姉妹都市子ども大使交流事業 | 小中学生から継続して姉妹都市である東広島市と友好親善を深めるとともに、学習効果を還流してふるさと意識を高めることにより、両市の相互理解と連携意識を育み、また、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列することにより、平和を尊ぶ心を育て、児童生徒を始め広く市民に浸透していくことに寄与する。 | 児童生徒を東広島市に派遣<br>東広島市児童生徒の受入れ<br>交流校訪問(児童生徒間交流)の実施<br>広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列 | 児童生徒を東広島市に派遣<br>東広島市児童生徒の受入れ<br>交流校訪問(児童生徒間交流)の実施<br>広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列 | 児童生徒を東広島市に派遣<br>東広島市児童生徒の受入れ<br>交流校訪問(児童生徒間交流)の実施<br>広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列 | 教育の一環として、姉妹都市の歴史・文化を学ぶことや学校間の交流。また、平和の大切さを学ぶ。 | | | ◎交流事業を継続することによりふるさと意識の高揚を図るとともに、平和の重要性を認識させ、大使が全校に広めることが必要である。 | | | | | 小中学生合同の子ども大使を編成<br>児童生徒を東広島市に派遣、東広島市生徒の受入れ、交流校訪問（生徒間交流）の実施、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列、ひろしま子ども平和の集いに参加 |
| | | | | | 評価指標 | 子ども大使派遣、受入児童生徒数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | | | | |
| | | | | | 小中学生を子ども大使として東広島市、広島市に派遣し、姉妹都市交流、実感をもった平和教育を行った。 | | | 小中学生合同の子ども大使とし、大使としての目標である平和の重要性、ふるさと意識の醸成を図り、体験したことを全校に広げる活動の拡大、充実が図られた。 | | | | | |
| 市計画<300> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 3,274 | 3,302 | 3,302 | | | | | | | | | 2,861 |

政策２　信頼され、魅力ある学校づくりの推進

施策８　開かれた学校づくりの推進

施策９　教育環境の整備

## 【施策８　開かれた学校づくりの推進】

1　学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント･サイクルによる学校改善を推進します。
2　家庭や地域の教育的ニーズを把握するとともに、学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、情報の共有化を図ります。
3　学校運営協議会制度（コミュニティ･スクール）の取組など、地域の方々の教育活動への参加や地域への学校資源の提供により、学校と地域の双方向の連携を推進します。
4　子どもたちにとって、より豊かで有意義な土曜日を実現する「土曜授業」を推進します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2-08-001<br>学校評議員等運営支援事業 | 事業内容<br>地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、小・中学校で学校評議員を委嘱し、学校運営等に関して学校との意見交換を行う。また学校関係者評価委員を委嘱し、各学校が教育活動や学校運営等について自己評価した結果について、評価をしてもらうなど、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動の展開を図る。 | 平成28年度<br>学校評議委員・学校関係者評価委員を委嘱<br>全体会議を各校で開催<br>学校運営協議会の実施の推進を検討する。<br>平成29年度<br>学校評議委員・学校関係者評価委員を委嘱<br>全体会議を各校で開催<br>学校運営協議会の設立準備委員会を設立する。<br>平成30年度<br>学校評議委員・学校関係者評価委員を委嘱<br>全体会議を各校で開催<br>学校運営協議会に一部移行する。 | めざす / 続ける / 点検する<br>学校から保護者や地域への情報発信の充実と、保護者、地域要望の教育活動への反映による信頼される学校づくりの推進。<br>評価指標：会議開催回数<br>平成27年度の評価：A<br>各学校で学校評議委員会、学校関係者委員会を開催し、委員との意見交換や、自己評価結果についての評価を行った。 | ○ / ◎<br>◎保護者や地域からの意見、要望を反映することが必要である。<br>○保護者や地域から信頼され、期待に応える教育を実現するための学校経営を進める必要がある。<br>平成27年度の評価：A<br>各学校で委員に学校運営の方針や現状について理解をしてもらうとともに、委員からの要望や意見交換等を学校運営等に反映している。また学校関係者評価委員に学校経営や学習指導などの自己評価した結果が適切な評価であるかを評価してもらうとともに、改善を進めていく上での助言をいただくなど、も学校と家庭や地域が連携した学校運営を進めていくことができた。 | 平成26年度実績<br>学校評議員及び学校関係者評価委員による全体会議を開催し、保護者や地域の意見を学校運営に反映した。 |
| 市計画<215> | 継続 | 継続 / 継続 / 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 276 / 207 / 207 | | | 276 |
| 2-08-002<br>コミュニティ・スクール推進事業<br><旧事業名><br>コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業 | 事業内容<br>地域に開かれ、地域とともにあある学校づくりを進めるため、西部地区のコミュニティ・スクールを継続するとともに、他中学校区での導入を検討する。 | 平成28年度<br>学校運営協議会議の運営<br>コミュニティ・スクール研究会の開催及び研修費<br>他中学校区への導入の検討<br>平成29年度<br>○学校運営協議会運営費（委員報酬・会議消耗品）<br>○コミュニティ・スクール研究会及び研修<br>他中学校区への導入の検討<br>平成30年度<br>○学校運営協議会運営費（委員報酬・会議消耗品）<br>○コミュニティ・スクール研究会及び研修<br>他中学校区への導入 | めざす / 続ける / 点検する<br>開かれた学校づくりを目指し保護者、地域、学校が一体となりコミュニティ・スクールの確立を目指す。<br>評価指標：会議開催回数<br>平成27年度の評価：A<br>西部地区にコミュニティ・スクール運営委員会を設置し、学校、家庭、地域との連携を深めるあり方について検討を行った。 | ◎ / ○<br>◎学校教育と地域人材をつなぐ拠点となる事が必要。<br>○コミュニティ・スクールを通じ、学力や人間性を育成する。<br>平成27年度の評価：A<br>西部地区の特色を生かしたコミュニティ・スクールの充実を目指し、先進地視察や運営委員会を開催し、検討した。 | 平成27年度実績<br>西部コミュニティ・スクール運営委員会の開催<br>全国コミュニティ・スクール研究会などへの参加 |
| 市計画<353> | 継続 | 拡大 / 継続 / 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 524 / 934 / 837 | | | 394 |

## 【施策9　教育環境の整備】

1　研修機会の充実や適切な教職員評価を通して、教職員の資質の向上を図ります。
2　適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。
3　老朽化学校施設の長寿命化や耐震化に取り組み、防災施設としての機能の充実を図るとともに、児童生徒数の増減に対応した学校施設の整備を推進します。
4　児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設･設備の整備を推進します。
5　小中一貫教育等の新しい教育のあり方について検討を進めます。
6　家庭、地域と連携した学校支援地域本部の取組を推進します。
7　小･中･高等学校教育等への就学を支援します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る / 拡げる / 改善する | ○ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校支援地域本部事業 | 学校を地域全体で支える体制を整えていくため、学校支援地域本部を設置し、地域の住民等の参画による学校支援を推進する。 | 学校支援ボランティア運営経費の助成、授業補助員の配置 | 学校支援ボランティア運営経費の助成、授業補助員の配置 | 学校支援ボランティア運営経費の助成、授業補助員の配置 | 地域が学校を支援する仕組みを見直し、学校の負担を軽減するとともに、事業の効率性と有効性を高める。 | ◎学校と地域が一体となって教育力の向上を目指すことは重要。生涯学習振興会の協力を得て実施。地域のボランティア活動の活性化も助長する。 | 学校支援ボランティア活用事業及び授業補助員活用事業　各16校 |
| | | | | | 評価指標：取組み件数、ボランティア登録件数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>地域で学校を支援する体制が定着してきている。 | 平成27年度の評価：A<br>学校、地域ともに事業に対する理解が深まってきている。配分時間を精査し、より残時間の削減を行った。 | |
| 市計画<317> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 8,869 | 7,935 | 7,935 | | | 7,728 |

| 2-09-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校教育団体活動支援事業 | 教職員の資質向上と教育内容及び学校経営の充実を図るため、教育関係団体で行う事業費の一部を支援する。 | 教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成 | 教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成 | 教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成 | 本市における学校教育を振興するため、事業成果を検証しながら継続的な支援を行う。 | ◎市内の教職員が一体となり、本市の教育振興についてさまざまな観点から継続的に研究、調査、研修等を行うことは必要である。 | 教育研究会に助成3,854千円<br>小中学校校長会に助成400千円<br>小中学校教頭会に助成300千円<br>進路指導連絡協議会に助成76千円 |
| | | | | | 評価指標：教職員の資質向上 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>各教育関係団体の活動を支援することにより、教育の振興が図られている。 | 平成27年度の評価：A<br>各教育関係団体が、それぞれの立場で調査、研究、研修活動したその成果は、教職員の資質向上や学校経営の充実に活かされている。 | |
| 市計画<216> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 4,780 | 4,703 | 4,703 | | | 4,630 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 私立学校教育振興事業 | 教育環境の充実を図るため、市内に本校を有する私立高等学校が行う教育活動を支援する。 | 市内に開校している札幌日大高校に対する助成 | 市内に開校している札幌日大高校に対する助成 | 市内に開校している札幌日大高校に対する助成 | 市内に開校している、札幌日大高校に対し補助金を交付する。 | ◎私学教育の振興、私立高校に通学している保護者の負担軽減のため、教材教具費等への支援を行うことは必要である。 | 日大高校に補助金を助成し、私学の振興と、保護者の負担軽減に寄与した。 |
| | | | | | 評価指標：補助金の活用状況 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>札幌日大高校の特色ある教育活動の振興に寄与した。 | 平成27年度の評価：A<br>札幌日大高校の特色ある教育活動に寄与するとともに保護者の負担軽減が図られたが、より特色をもった教育が図られるよう支援の拡大が必要である。 | |
| 市計画<309> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 1,500 | 1,371 | 1,371 | | | 1,350 |

| 2-09-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理科教材等整備事業 | 理科教育で必要となる教材教具を、小中学校に購入・更新し、教育の充実を図る。（各校２年に１回） | 各小中学校に理科教材等の購入・更新<br><br>小学校1,694千円<br>中学校1,578千円 | 各小中学校に理科教材等の購入・更新 | 各小中学校に理科教材等の購入・更新 | 理科における観察、実験教育の質を向上するために必要な教材教具の整備。 | ◎理科教育においては、授業時数、指導内容が増加し、観察、実験を重視するものとなっていることから、実験機器などの多くの教材が必要であり、整備することは必要である。 | 小学校4校（東部、西部、大曲、西の里）<br>中学校3校（東部、大曲、陽香分校）<br>に理科教材を整備 |
| | | | | | 評価指標：文部科学省の整備目標達成率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>新学習指導要領に対応した理科教材を整備した。 | 平成27年度の評価：A<br>理科教育の充実を図るため、文科省の整備時準を目標に補助金を活用した教材の整備を行った。今後も継続して整備を行う。 | |
| 市計画<217> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 3,272 | 3,272 | 3,272 | | | 3,006 |

| 2-09-005 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校事務機器整備事業 | 学校事務の効率化と学校経営の円滑化を図るため、必要となる事務機器を整備する。 | 大型事務機器保守、修繕、購入<br><br>小学校1,089千円<br>中学校　934千円 | 大型事務機器保守、修繕、購入 | 大型事務機器保守、修繕、購入 | 学校事務の効率化を図り、学校経営を円滑に実施するため、教育活動上必要な事務機器の保守、修繕、更新を行う。 | ◎校務事務の効率化、円滑化を図るため、老朽化した大型の事務機器を計画的に更新していく必要がある。 | 大型事務機器保守及び修繕 |
| | | | | | 評価指標：保守・整備状況 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。 | 平成27年度の評価：A<br>適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。 | |
| 市計画<218> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 見直し |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 2,023 | 3,726 | 3,726 | | | 745 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-006 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 児童生徒の通学費支援事業 | 保護者の経済的負担の軽減を図るため、遠距離通学等で、公共交通機関を利用して市立小中学校に通学している児童・生徒及び自家用車による送迎を常としている児童・生徒の保護者に対し、通学に要する経費の一部を助成する。 | 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成<br><br>小学校2,342千円<br>中学校463千円 | 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成 | 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成 | 遠距離通学に要する経費を支援し、平等に教育を受ける機会を確保。 | ◎遠距離通学に要する経費の経済的負担の軽減を図ることが必要である。 | 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を支援 |
| | | | | | 評価指標：支援件数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>申請のあった遠距離児童生徒の保護者に通学費の一部を支援した。 | 平成27年度の評価：A<br>通学費の一部を援助することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られている。 | |
| 市計画<220> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 2,805 | 3,153 | 3,153 | | | 2,569 |

| 2-09-007 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 要保護・準要保護児童生徒援助事業 | 生活保護世帯（要保護）や経済的困窮世帯（準要保護）の児童・生徒に対し、就学に必要な経済的な援助を行うことで、平等に義務教育を受ける権利を保障する。 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助<br>生活扶助の基準額の見直しの影響がでないよう対応する<br><br>小学校60,983千円<br>中学校64,173千円 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 | 就学に必要となる学用品費等を援助することによる平等に教育を受ける機会を確保と保護者の経済的負担の軽減。 | ◎経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、必要な経費を援助することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学力向上を図る上で必要である。 | 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助<br>平成26年度からＰＴＡ会費・生徒会費・部活動費を援助開始<br>小学校690名<br>中学校404名（H28.2末現在） |
| | | | | | 評価指標：支援件数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>義務教育を受ける上で必要となる経費について、援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。 | 平成27年度の評価：A<br>保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。 | |
| 市計画<221> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 125,156 | 124,800 | 121,747 | | | 125,160 |

| 2-09-008 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校施設管理機器整備事業 | 良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。 | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕<br><br>小学校587千円<br>中学校587千円 | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕<br>耐用年数の経過した草刈機の更新<br>除雪機の購入 | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕<br>耐用年数の経過した草刈機の更新<br>除雪機の購入 | 児童生徒の学習環境を良好かつ適切に保持・管理するため、管理機器の日常的な保守、管理。 | ◎教育的な視点から学校施設の環境整備は重要であり、効率的に実現するため、適切な管理機器の保守管理や計画的に更新を行うことは必要である。学校業務主事が効率的に業務を行うための学校環境整備も重要である。 | 草刈機、除雪機の保守管理及び修繕<br>耐用年数の経過した草刈機のメンテナンスを実施 |
| | | | | | 評価指標：保守・整備状況 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：B<br>良好な教育環境の整備を実施することができたが、今後、耐用年数の経過した草刈機の更新や除雪機の購入を計画的に実施していく必要がある。 | 平成27年度の評価：B<br>草刈機、除雪機の維持管理、修繕を行うことで良好な教育環境を整備できたが、今後、耐用年数の経過した草刈機の更新や除雪機の購入を計画的に実施していく必要がある。 | |
| 市計画<222> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 見直し |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 1,174 | 2,103 | 2,103 | | | 331 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-009 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教師用指導書等整備事業 | 教員に指導書及び教科書を配布し、指導方法の工夫改善及び学力の向上を図る。 | 平成27年度から使用している小学校後期分（多学年用）及び平成28年度から使用する中学校後期分の指導書、教師用教科書の配布 | 平成28年度から使用している中学校多学年使用の指導書、教科書等の配布 | 平成31年度から使用する小学校教科用図書（前期分）の指導書等の配布 | 使用する教科書の改訂に伴い、各学校へ必要となる指導書等の配布。 | ◎学力向上のための指導方法の工夫改善などを行うために、教師用の教科書、指導書は必要不可欠であるが、配布にあたっては。必要最小限に努める必要がある。 | 平成27年度から使用する小学校の教科用図書にかかる教師用指導書及び教科書の整備を行った。<br>平成28年度から使用する中学校教科用図書（前期分）等の購入 |
| | | | | | 評価指標：配布実績 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>小中学校教員が使用する教科書及び指導書を補充分配付した。 | 平成27年度の評価：A<br>配付にあたっては、学校規模、教員配置等を精査し、配付するとともに、指導方法の工夫・改善が図られた。 | |
| 市計画<229> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 1,101 | 1,625 | 9,427 | | | 12,604 |

| 2-09-010 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校放送設備整備事業 | 教育活動の充実を図るため、老朽化した放送、視聴覚設備を時代に合った機器に整備する。 | 学校放送設備の更新（北の台小） | 学校放送設備の更新 | 学校放送設備の更新 | 児童生徒の学習意欲の向上、教育の質の向上を図るため、放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新を図る。 | ◎放送設備の老朽化委に伴い、学校放送、視聴覚機能の低下を招かないよう更新する必要がある。 | 学校放送設備の更新（西の里小） |
| | | | | | 評価指標：デジタル放送実施、更新整備校数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：<br>放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新を図った。 | 平成27年度の評価：<br>放送設備の老朽化委に伴い、放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新が行われた。 | |
| 市計画<231> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 9,990 | 20,000 | 20,000 | | | 9,612 |

| 2-09-011 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高等学校等入学準備金支給事業 | 市内に住所を有し高等学校等に入学した生活困窮世帯の生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、入学時に必要となる経費の一部として、入学準備金を支援する。 | 入学準備金の支給<br>139名 | 入学準備金の支給<br>130名 | 入学準備金の支給<br>130名 | 高等学校等へ入学する生徒の入学時に必要となる経費の一部を支援することによる保護者の経済的負担の軽減。 | ◎経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、入学時に必要な経費の一部を支援することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学習意欲の向上を図る上で必要である。 | 入学準備金の支給<br>89名 |
| | | | | | 評価指標：支援件数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>生活困窮世帯で高等学校等へ入学した生徒へ２万円の準備金を支給し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 | 平成27年度の評価：A<br>保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。 | |
| 市計画<232> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 2,780 | 2,600 | 2,600 | | | 1,780 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 2-09-012 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 奨学金支給事業 | 経済的な理由によって高等学校等の就学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、等しく教育を受ける機会を与える。<br>道の高校生等奨学給付金制度との重複支給の可否について検討を行う。 | 選考された奨学生に対し、奨学金を支給<br>90名 | 選考された奨学生に対し、奨学金を支給<br>（90名） | 選考された奨学生に対し、奨学金を支給<br>（90名） | 高等学校等の就学に必要な学資等の一部として奨学金を支給することによる保護者への経済的負担の軽減。 | | | ◎経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、学資等の経費の一部を支援することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学習意欲の向上を図る上で必要である。 | | | | | 選考委員会を開催し、90名を選考し、支給を行った。（117名出願） |
| | | | | | 評価指標 | 奨学金支給人数/申請者人数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 選考委員会で選考された者に奨学金を支給し経済的軽減を図れた。 | | | 経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、学費等の経費の一部を支援することで、就学の一助となっている。 | | | | | |
| 市計画<233> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 5,400 | 5,400 | 5,400 | | | | | | | | | 5,400 |

| 2-09-013 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小中一貫教育推進事業<br><br>【新規】 | 子どもを取り巻く社会環境の変化に伴う様々な教育課題に対応していくため、小中9年間で「連続した学び」を保障する一貫教育の推進。<br>【平成27年度繰越明許費】 | 小中一貫教育推進検討準備委員会の開催<br>先進地視察<br>教育講演会の開催<br>中学校区での教育を語る会の開催 | 小中一貫教育推進検討準備委員会の開催<br>教育講演会の開催<br>中学校区での教育を語る会の開催 | 小中一貫教育推進検討準備委員会の開催<br>中学校区での教育を語る会の開催<br>小中一貫教育の実施 | 検討準備委員会開催、教育講演会開催等を実施し、小中一貫教育の理解を得る。 | | | 質の高い学びを支える環境づくりや安心して教育活動が行える学校づくり、新しい教育手法による魅力ある教育活動など、社会の変化や実態にあった教育環境の整備が必要である。 | | | | | |
| | | | | | 評価指標 | 協議会への参加回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |
| 政策経費 | 新規 | 新規 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | ＜942＞ | 500 | 100 | | | | | | | | | |

| 2-09-014 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校施設空気環境測定事業 | シックスクール対策の一環として、「学校環境衛生の基準」に基づき、教室内のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について空気中濃度測定を実施し、良好な衛生環境確保に努める。 | ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施<br><br>小学校　383千円<br>中学校　290千円 | ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施 | ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施 | 「学校環境衛生基準」に基づいた児童生徒の健康及び教育環境の衛生を適切に保持・管理する。 | | | ◎施設整備や日常の維持管理に当たっては、建築課などと連携し、可能な限り化学物質等の抑制に努める必要がある。 | | | | | 各小中学校3教室程度において、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気濃度測定の実施（8月） |
| | | | | | 評価指標 | 測定実施状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 日常的に、学校環境の把握に努め、改善を行っている。 | | | 日常的に、児童生徒の健康状況、学校環境の把握に努め、改善を行った。 | | | | | |
| 市計画<240> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 673 | 686 | 686 | | | | | | | | | 522 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-015 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北の台小学校校舎屋体大規模改造・屋体地震補強事業 | 建築後37年以上経過しており、外壁や屋根面等老朽化が顕著なため、内外部の大規模改造工事に併せて、地震補強工事、非構造部材の耐震化工事、トイレ等の改修工事を実施する。 | ≪H27事業終了≫ | | | 良好な教育環境を維持するための校舎屋体大規模改造及び屋体地震補強工事。 | ◎良好な教育環境を維持するため、校舎屋体大規模改造、屋体地震補強工事を行う必要がある。 | （校舎）<br>大規模改造工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>校舎棟の大規模改造工事を行い、良好な教育環境を維持することができた。 | 平成27年度の評価：A<br>校舎棟の大規模改造工事を行い、良好な教育環境を維持することができた。 | |
| 市計画<226> | 継続 | 終了 | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | | | | 371,196 |

| 2-09-016 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東部小学校講堂防音機能復旧事業 | 温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | 防音機能復旧工事<br>工事監理 | ≪H28事業終了≫ | | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。 | ◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | 実施設計委託 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための実施設計を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための実施設計を行った。 | |
| 市計画<271> | 継続 | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 19,530 | | | | | 918 |

| 2-09-017 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 緑ヶ丘小学校校舎・講堂防音機能復旧事業 | 温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種へのに更新工事を実施する。 | ≪H27事業終了≫ | | | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。 | ◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | 防音機能復旧工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための工事を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための工事を行った。 | |
| 市計画<275> | 継続 | 終了 | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | | | | 57,240 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-018 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 広葉中学校校舎・講堂防音機能復旧事業 | 温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | ≪H27事業終了≫ | | | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。<br>◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | 防音機能復旧工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための工事を行った。<br>平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための工事を行った。 | |
| 市計画<238> | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | | | ＜70,254＞ |

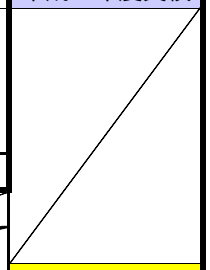
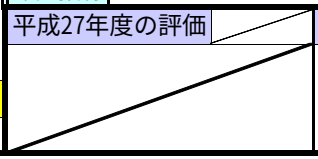
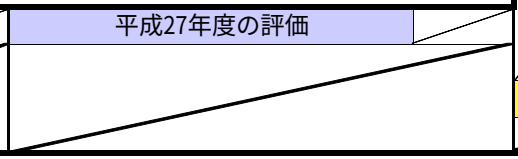
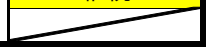
| 2-09-019 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 東部中学校校舎大規模改造事業 | 建築後26年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。 | | 大規模改造工事その１<br>工事監理その１ | 大規模改造工事その２<br>工事監理その２ | 良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。<br>◎良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行う必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | |
| | | | | | 平成27年度の評価<br>平成27年度の評価 | |
| 市計画<257> | 継続 | | 継続 | 継続 | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | 279,200 | 186,300 | | |

| 2-09-020 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 大曲東小学校講堂防音機能復旧事業 | 温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | 実施設計委託 | 防音機能復旧工事<br>工事監理 | ≪H29事業終了≫ | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。<br>◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | |
| | | | | | 平成27年度の評価<br>平成27年度の評価 | |
| 市計画<276> | 継続 | 継続 | 継続 | 終了 | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 1,050 | 33,820 | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-021 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東部中学校講堂防音機能復旧事業 | 温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | 防音機能復旧工事<br>工事監理 | ≪H28事業終了≫ | | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。 | ◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | 実施設計委託 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための実施設計を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新するための実施設計を行った。 | |
| 市計画<369> | 継続 | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 38,780 | | | | | 993 |

| 2-09-022 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大曲中学校北校舎棟大規模改造事業 | 建築後42年以上が経過し、老朽化が顕著なため、北校舎棟の大規模改造工事を実施する。 | ≪H27事業終了≫ | | | 良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。 | ◎良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造工事を行う必要がある。 | 大規模改造工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行った。 | |
| 市計画<370> | 継続 | 終了 | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | | | | 163,239 |

| 2-09-023 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校施設非構造部材耐震化事業 | 屋内体育館において、大規模改造工事の対象とならない小中学校8校(東部小、西部小、大曲小、西の里小、双葉小、緑ヶ丘小、西部中、広葉中の8校)について、目視点検等の結果を踏まえて天井等落下防止対策等(吊り天井、照明器具、バスケットゴール等)を行う。 | 事業を平成31年度まで先送りとする。 | | | 良好な教育環境維持するための屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る。 | ◎良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る必要がある。 |  |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：  | 平成27年度の評価：  | |
| 市計画<360> | 継続 | 見直し | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | | | |  |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-024 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大曲中学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 | 建築後29年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。 | 大規模改造工事<br>工事監理 | ≪H28事業終了≫ | | 良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。 | ◎良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。 | 非構造部材耐震化工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を図るための実施設計を行った。 | |
| 市計画<361> | 継続 | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | ＜104,900＞ | | | | | 61,859 |

| 2-09-025 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西の里中学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 | 建築後28年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。 | 大規模改造工事<br>工事監理 | ≪H28事業終了≫ | | 良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。 | ◎良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。 | 非構造部材耐震化工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を図るための実施設計を行った。 | |
| 市計画<379> | 継続 | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | ＜112,300＞ | | | | | 15,985 |

| 2-09-026 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大曲東小学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 | 建築後24年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。<br>H27繰越明許費＜61,470＞ | （H28当初）<br>大規模改造工事<br>工事監理<br>（H27繰越明許費）<br>非構造部材耐震化工事<br>工事監理 | ≪H28事業終了≫ | | 良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。 | ◎良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<380> | 継続 | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 128,190 | | | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-027 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東部中学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 | 建築後26年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。<br>H27繰越明許費＜83,880＞ | （H28当初）<br>大規模改造工事<br>工事監理<br>（H27繰越明許費）<br>非構造部材耐震化工事<br>工事監理 | ≪H28事業終了≫ | | 良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。 | ◎良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<381> | 継続 | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 169,800 | | | | | |

| 2-09-028 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西の里中学校校舎防音機能復旧事業 | 平成8年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。 | | | 実施設計委託 | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。 | ◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<363> | 継続 | | | 見直し | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | 1,310 | | | |

| 2-09-029 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西の里小学校校舎防音機能復旧事業 | 平成6年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。 | | | 実施設計委託 | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。 | ◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<364> | 継続 | | | 見直し | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | 1,230 | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-030 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小中学校周辺環境整備事業 | 市内小中学校敷地内駐車場舗装やグレーチング等の外構工事、屋外物置などの付属建築物及び屋外施設（ﾃﾆｽｺｰﾄ、ﾌｪﾝｽ、防球ﾈｯﾄ等）更新。 | 小学校遊具新設（４校） | 小学校遊具新設（４校）<br>駐車場等周辺整備<br>ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ散水栓整備<br>屋外物置の更新 | 駐車場等周辺整備<br>ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ散水栓整備<br>屋外物置の更新 | 良好な教育環境維持するための小中学校周辺環境整備。 | ◎良好な教育環境を維持するため、小中学校周辺環境整備を行う必要がある。 | 小学校遊具修繕<br>屋外物置設置工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、小学校遊具修繕及び屋外物置の設置工事を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>良好な教育環境を維持するため、小学校遊具修繕及び屋外物置の設置工事を行った。 | |
| 市計画<375> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 6,102 | 12,567 | 6,465 | | | 7,776 |

| 2-09-031 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大曲東小学校校舎大規模改造事業<br>【新規】 | 建築後２４年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。 | | | 実施設計委託 | 良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。 | ◎良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造工事を行う必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<338> | 新規 | | | 新規 | | | |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | 9,300 | | | |

| 2-09-032 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北の台小学校講堂防音機能復旧事業<br>【新規】 | 温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | 実施設計委託 | 防音機能復旧工事<br>工事監理 | 良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。 | ◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<362> | 新規 | | 新規 | 継続 | | | |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | 1,090 | 24,400 | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-033<br>大曲小学校校舎防音機能復旧事業<br>【新規】 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。<br>評価指標：進捗率<br>平成27年度の評価 | ◎<br>◎良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | 実施設計委託 | 防音機能復旧工事<br>工事監理 | | | |
| 市計画<382> | 新規 | | 新規 | 継続 | | | |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | 1,570 | 57,230 | | | |

| 2-09-034<br>大曲中学校校舎大規模改造事業<br>【新規】 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。<br>評価指標：進捗率<br>平成27年度の評価 | ◎<br>◎良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造工事を行う必要がある。<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 建築後37年から25年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。 | | | 実施設計委託 | | | |
| 市計画<383> | 新規 | | | 新規 | | | |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | | | 8,900 | | | |

| 2-09-101<br>義務教育施設整備基金利息積立<br>（教育振興経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>市の教育施策を継続し、着実に進める。<br>評価指標：基金残高<br>平成27年度の評価：A<br>小中学校の新増築及び用地取得を図り、教育環境を整備・充実するために積立を行った。 | ◎<br>小中学校の新増築及び用地取得を図り、教育環境を整備・充実するために必要である。<br>平成27年度の評価：A<br>小中学校の新増築及び用地取得を図り、教育環境を整備・充実するために積立を行った。 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 義務教育施設整備基金の利息を積立 | 基金利息積立 | 基金利息積立 | 基金利息積立 | | | 基金利息積立 |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 157 | 157 | 157 | | | 50 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-102 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小学校管理経費<br>（小学校管理経費） | 施設維持管理用<br>修繕料・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか | 施設の維持管理<br>経常分88,494千円<br>臨時分　36千円<br>営繕　0千円 | 施設の維持管理 | 施設の維持管理 | 学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | ◎学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。 | 施設の維持管理経費 |
| | | | | | 評価指標 ― | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 A<br>経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。 | 平成27年度の評価 A<br>学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図られた。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 88,530 | 88,530 | 88,530 | | | 117,188 |

| 2-09-103 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中学校管理経費<br>（中学校管理経費） | 施設維持管理用<br>修繕料・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか | 施設の維持管理<br>経常分70,093千円<br>臨時分　3,261千円<br>営繕　4,040千円 | 施設の維持管理 | 施設の維持管理 | 学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | ◎学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。 | 施設の維持管理経費 |
| | | | | | 評価指標 ― | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 A<br>経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。 | 平成27年度の評価 A<br>学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図られた。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 77,394 | 77,394 | 77,394 | | | 80,960 |

| 2-09-104 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える / 整える / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中学校教育振興経費（学校教育課分）<br>（中学校教育振興経費） | 平成２４年度から中学校の音楽科で必修となっている和楽器指導に必要な楽器（箏）を購入する。 | 和楽器（箏）の購入（40面） | 事業終了 | | 新たに指導内容として導入される中学校和楽器の指導に必要となる楽器（箏）を整備する。 | ◎新たに中学校の授業に導入される和楽器の指導を行うための備品整備は必要である。<br>○教科担任の資質向上を図るだけでなく、専門的指導者など地域の人材による協力が必要である。 | 和楽器（箏）の借り上げ164面を行い、中学校授業で効果的に使用した。 |
| | | | | | 評価指標 ― | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 A<br>中学校の音楽科で必修となている和楽器指導に必要な楽器（箏）を借上げ | 平成27年度の評価 A<br>中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器（箏）を借上げし、円滑に指導が行なわれている。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 終了 | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 2,884 | | | | | 550 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 2-09-105 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 奨学生選考委員会<br><br>（教育振興経費） | 奨学生を選考するため、奨学生選考委員会を開催する。<br>選考委員７名 | 奨学生選考委員会の開催 | 奨学生選考委員会の開催 | 奨学生選考委員会の開催 | 奨学生を選考するため、選考委員会に奨学生の選考について諮問し、答申をもらう。 | ◎選考にあたり、客観性、透明性を確保するため、教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議は必要である。 | 奨学生選考委員会の開催（４月） |
| | | | | | 評価指標：開催回数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>選考委員 | 平成27年度の評価：A<br>教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議により、客観性、透明性が図られた選考が図られている。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 28 | 28 | 28 | 成果指標　開催回数 | | 28 |

| 2-09-106 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会<br><br>（教育振興経費） | 通学区域を設定及び変更するため、通学区域審議会を開催する。<br>審議会委員１２名 | 通学区域審議会の開催 | 通学区域審議会の開催 | 通学区域審議会の開催 | 通学区域を設定及び変更するため、審議会に諮問し、答申をもらう。 | ◎通学区域の設定及び変更にあたり、客観性、透明性を確保するため、専門的な知識を有する者や関係者による審議は必要である。 | 通学区域の設定及び変更無い為、開催無し |
| | | | | | 評価指標：開催回数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>通学区域員議会への諮問案件がなかったため、審議会の開催せず | 平成27年度の評価：A<br>通学区域の変更等がなかったため、審議会を開催せず | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 48 | 48 | 48 | | | 0 |

政策３　やさしく支えあう教育連携の推進

- 施策１０ 家庭の教育力向上への支援内容の充実
- 施策１１ 教育相談体制の充実
- 施策１２ 地域が支える健全育成活動の充実

## 【施策１０ 家庭の教育力向上への支援内容の充実】

1　あたたかな家庭づくりへの支援の充実を図ります。
2　ＰＴＡなどとの連携を図り、家庭の教育力向上に向けた支援を充実します。
3　家庭･学校･地域が一体となり、子どもたちの生活習慣を見直す取組を進めます。

| 事業名（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション：懐く / 励む / 挑む ／ 平成27年度の評価 | 特に必要とする視点：生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策 ／ 平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 3-10-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | 生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北広島市ＰＴＡ連合会支援事業 | 児童生徒の健全育成を進めるため、学校単位のＰＴＡの情報交換を図るとともに、保護者を対象とした研修会等を実施するＰＴＡ連合会の活動を支援する。 | ＰＴＡ連合会への支援 | ＰＴＡ連合会への支援 | ＰＴＡ連合会への支援 | 連携支援による活発な活動の継続 | 学校、地域、家庭、行政が協働し青少年の健全育成を進める。 | ＰＴＡ連合会へ補助金交付<br>市Ｐ連母親研究大会9月6日参加人数136名<br>市Ｐ連研究大会11月21日参加人数230名 |
| | | | | | 評価指標：研修会参加人数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A | 平成27年度の評価：A | |
| | | | | | 連携支援を進め、活発な活動が展開された。 | 協働し青少年の健全育成を進めた。 | |
| 市計画<255> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | ◎ | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 325 | 325 | 325 | | ○ | 325 |

| 3-10-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創　る / 拡げる / 改善する | 生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 家庭教育支援事業 | 家庭の教育力向上のため、関係する団体などと連携し、家庭教育支援に関する実践活動・交流活動を行う。 | 実践活動の実施 | 実践活動の実施 | 実践活動の実施 | 家庭での生活習慣を見直す取組みを実施し、取組みの結果をまとめ今後の支援内容を協議する。 | ○各学校をはじめ、庁内の子育て担当部門等と連携し、事業を効果的に進めることが必要。<br>○学校・家庭・地域が一体となって家庭教育力の向上を目指す。 | 子ども朝活事業及び家庭の教育力向上に関する内部研修の実施。家庭教育に関する印刷物（広報活動）の配布。 |
| | | | | | 評価指標：事業の取組みによる生活習慣の変化の割合 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A | 平成27年度の評価：A | |
| | | | | | 家庭での生活習慣を見直す機会として子ども朝活事業を実施した。 | 昨年までのアンケートの結果から、長期休業中の生活習慣づくりを視点に置いた事業を実施した。 | |
| 市計画<292> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | ○ | ◎ | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 50 | 120 | 120 | | ○ | 25 |

| 事業名<br><br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 3-10-002-1 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創　る | 拡げる | 改善する | ○ | | | ○ | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 家庭教育支援事業<br><br>【拡大】 | 子どもたちの学力向上の基礎となる生活習慣づくりを進めるため、関係団体等との連携により、実践活動として「子ども朝活」事業を展開する。 | 子ども朝活の実施 | | | 家庭での生活習慣を見直す取組みを実施し、取組みの結果をまとめ今後の支援内容を協議する。 | | | ◎各学校をはじめ、庁内の子育て担当部門等と連携し、事業を効果的に進めることが必要。<br>○学校・家庭・地域が一体となって家庭教育力の向上を目指す。 | | | | | |
| | | | | | 評価指標 | 事業の取組みによる生活習慣の変化の割合 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |
| 市計画<292> | 拡大 | 拡大 | | | | | | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 360 | | | | | | | | | | | |

## 【施策１１　教育相談体制の充実】

1　いじめや不登校の問題を早期に解消するため、スクールカウンセラー、臨床心理士など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。
2　不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。
3　携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒や保護者に対して啓発を図るとともに、インターネット上などでの新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害や生活習慣の乱れを防ぐため、
4　いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止･早期発見･早期解決の取組を強化します。
5　青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などとの連携を強化します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 3-11-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 不登校いじめ対策･教育相談事業 | 不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を支援するため､保護者や学校、関係機関と連携して､ひきこもりや不登校の解消と未然防止を図る。問題の早期解決を図るため､児童生徒及びその保護者を対象に面談や家庭訪問による相談支援を行う。 | 適応指導教室「みらい塾」の運営<br>子どもＳＣ相談員(臨床心理士)、教育相談員等による相談の実施<br>ＮＰＯの活用<br>いじめ等問題対策委員会の開催や研修会等の実施 | 適応指導教室「みらい塾」の運営<br>子どもＳＣ相談員(臨床心理士)、教育相談員等による相談の実施<br>ＮＰＯの活用<br>いじめ等問題対策委員会の開催や研修会等の実施 | 適応指導教室「みらい塾」の運営<br>子どもＳＣ相談員(臨床心理士)、教育相談員等による相談の実施<br>ＮＰＯの活用<br>いじめ等問題対策委員会の開催や研修会等の実施 | 相談､支援を継続し､個々の状況に応じた適切な対応を進める。<br>不登校など増加傾向にある、問題を抱える家庭に対して、迅速に対応できる支援体制の充実 | | | | ◎ | 適応指導教室「みらい塾」の運営<br>指導員の配置<br>子どもＳＣ相談員、教育相談員、訪問相談員による相談の実施<br>いじめ等問題対策委員会の開催<br>研修会の開催 |
| | | | | | 複雑多様化する要因に対応できる支援体制<br>早期対応、早期解消を進めることができる体制の確保<br>学校、関係機関との連携体制 | | | | | |
| | | | | | 評価指標 | 不登校児童生徒の割合と適応指導教室「みらい塾」通級児童生徒数 | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | 平成27年度の評価 | | A | |
| | | | | | 個々の状況に応じた、相談、指導支援を進め問題の解消を図った。 | | 学校、関係機関と連携を図り、スクールカウンセラー、子どもＳＣ相談員など専門知識を有する人材を積極的に活用した。 | | | |
| 市計画<249> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 12,944 | 13,360 | 13,255 | | | | | | 12,380 |

| 3-11-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青少年健全育成啓発事業<br><br>【統合】 | 「地域の子どもは地域で育てる活動」を推進するため、学校、ＰＴＡ、自治会、関係団体と連携し、地域に密着した青少年の健全育成活動の推進と健全育成の啓発を進める。 | 青少年健全育成大会の開催<br>子どもサポートセンターだより「きずな」の発行<br><br>【青少年健全育成事業に統合】 | | | 青少年をとりまく環境の変化に対応した啓発活動を進める。 | | | ◎ | ○ | 青少年健全育成大会の開催（12月12日　参加人数81人）<br>子どもサポートセンターだより広報誌「きずな」の発行（年4回） |
| | | | | | 学校、保護者、地域が連携し育成活動を推進していくための意識向上。 | | | | | |
| | | | | | 評価指標 | 委員会の開催回数 | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | 平成27年度の評価 | | A | |
| | | | | | 青少年健全育成大会の開催。子どもサポートセンターだより広報誌「きずな」の発行など啓発活動を進めた。 | | 地域全体の意識の向上を図るため、学校、ＰＴＡ、地域、関係機関の協力により青少年健全育成大会を開催した。広報誌「きずな」を発行し保護者や地域に啓発を進めた。 | | | |
| 市計画<311> | 継続 | 統合 | | | | | | | | 統合 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | | | | | | | | | 306 |

# 【施策１２　地域が支える健全育成活動の充実】

1　子どもサポートセンターの相談･支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。
2　各種大会や地域の安全･安心講座などを通じて全市的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。
3　児童が放課後を安全･安心に過ごし、多様な体験や活動ができるよう「放課後子供教室」の充実を図ります。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 3-12-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青少年健全育成事業<br>【事業名変更】 | 子どもたちの豊かな心を育むため、様々な体験活動、交流活動を推進し、青春メッセージ、アンビシャスフォーラム（子ども会議）を開催する。地域の子どもは地域で育てる活動を推進するため、学校・PTA、自治会、関係団体と連携し青少年健全育成大会を開催する。 | 青少年健全育成大会、アンビシャスフォーラム、青春メッセージの開催　健全育成連絡協議会への支援　「きずな」の発行　青少年の体験交流事業の実施 | 青少年健全育成大会、アンビシャスフォーラム、青春メッセージの開催　健全育成連絡協議会への支援　「きずな」の発行　青少年の体験交流事業の実施 | 青少年健全育成大会、アンビシャスフォーラム、青春メッセージの開催　健全育成連絡協議会への支援　「きずな」の発行　青少年の体験交流事業の実施 | 様々な体験・交流事業へ参加することにより、子どもたちの豊かな心を育成する。 | | | | | | 学校、保護者、地域と連携した事業の開催 | 青春メッセージ（１１月２１日開催参加人数230人）、子ども会議（１２月１２日開催中学生１２人、参加人数８１人）少年の主張石狩大会（７月29日中学生１名） |
| | | | | | 評価指標 | 参加数 | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | | | | 平成27年度の評価 | A |
| | | | | | 青春メッセージ及び子ども会議を開催し、また、少年の主張石狩大会への参加を通して豊かな心の育成が図られた。 | | | | | | 学校、保護者、健連協と連携し、保護者や地域の市民の参加のもと、青春メッセージと子ども会議を開催した。 | |
| 市計画<253> | 継続 | 統合 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 1,003 | 1,003 | 1,003 | | | | | | | | 61 |

| 3-12-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青少年健全育成連絡協議会支援事業<br>【統合】 | 学校、家庭、地域が一体となり、地域で子どもを守り育み、安全安心な地域環境づくりをめざすため、市内6地区の青少年健全育成連絡協議会の活動を支援する。 | 青少年健全育成連絡協議会への支援<br>【青少年健全育成事業に統合】 | | | 継続した支援により、各地区の活発な活動が生まれる。 | | | | | | 学校、地域との連携 | 青少年健全育成連絡協議会への支援 |
| | | | | | 評価指標 | 各地区交流活動等の開催数 | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | | | | 平成27年度の評価 | A |
| | | | | | 各地区で活発な活動が行われた。 | | | | | | 各地区で学校と地域が連携して交流事業、研修会等が行われた。 | |
| 市計画<254> | 継続 | 統合 | | | | | | | | | | 統合 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | | | | | | | | | | | 450 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 3-12-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | | | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青少年安全対策事業 | 問題行動等の未然防止や対応のため、関係機関や地域と連携を図り、各種活動を協働して行い、青少年の非行防止を推進する。<br>子どもたちの安全確保のため、スクールガードリーダーによる学校施設、通学路等の安全確認及び学校への巡回指導を実施する。通学路の安全確保を図るため、通学路安全指導員を配置する。<br>ネットトラブルから子どもたちを守るため、市内小中学校14校においてネットパトロールを行なう。 | 専任指導員による補導、巡視活動や不審者対応<br>学校・自治会・関係機関等との情報交換<br>不審者情報のメール配信<br>スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認<br>通学路安全指導員による団地内の安全確保<br>小中学校14校でのネットパトロール環境の整備 | 専任指導員による補導、巡視活動や不審者対応<br>学校・自治会・関係機関等との情報交換<br>不審者情報のメール配信<br>スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認<br>通学路安全指導員による団地内の安全確保<br>小中学校でのネットパトロールの実施 | 専任指導員による補導、巡視活動や不審者対応<br>学校・自治会・関係機関等との情報交換<br>不審者情報のメール配信<br>スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認<br>通学路安全指導員による団地内の安全確保<br>小中学校でのネットパトロールの実施 | 地域の見守り活動と連携し、子どもたちの安全確保を進めて行く。 | | | 情報収集と迅速な情報提供<br>関係機関、地域との連携 | | 専任指導員、スクールガードリーダー、通学路安全指導員の配置。不審者情報のメール配信（配信件数10件） |
| | | | | | 評価指標 | 不審者発生件数、問題行動の件数 | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A |
| | | | | | 地域の協力により、子どもたちの安全確保が図られた。 | | | 迅速な不審者情報の発信や、学校等への安全指導により子どもたちの安全確保が図られた。ネットパトロールによる情報収集と迅速な児童生徒への指導が図られた。 | |
| 市計画<256> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 8,249 | 8,944 | 8,944 | | | | | 8,804 |

| 3-12-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成人式開催事業 | 成人としての自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識できるよう、新成人を祝う成人式を実施する。 | 成人式の開催 | 成人式の開催 | 成人式の開催 | 若者のふるさと意識を醸成するという視点も重要。アトラクションの内容については、時代の流れに対応し改善していく。 | | | 地域づくり、まちづくりに貢献できる人材の育成は必要であり、より多くの若者が集うよう事業内容を改善していく。 | 成人式の開催<br>対象者581名<br>参加者425名<br>参加率73.1% |
| | | | | | 評価指標 | 参加率（参加者／対象者 ） | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A |
| | | | | | 社会人としての自覚を促し、ふるさとへの思いを育てるよう事業を行った。 | | | 高い参加率の事業であり、新成人のニーズにあった内容で実施した。 | |
| 市計画<251> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 683 | 696 | 696 | | | | | 587 |

| 3-12-005 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創　る / 拡げる / 改善する | | | ○ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 放課後子供教室事業<br><br>【拡大】 | 放課後に小学校の余裕教室等を活用して、児童の活動拠点を設け、学習や体育活動等を行い子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。平成28年度から新たな小学校で放課後子供教室を実施する。 | コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置し、週1回開催<br>新たな小学校で放課後子供教室を実施 | コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置し、週1回開催 | コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置し、週1回開催 | 子どもの居場所づくり、子どもへの学習習慣等の定着 | | | 児童家庭課、学童クラブとの連携、地域の人材の活用 | コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置して開催。年間延べ参加人数1,551人。 |
| | | | | | 評価指標 | 参加児童数 | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A |
| | | | | | 放課後子ども教室を通じて、児童の居場所づくりと学習支援の活動を進めた。 | | | 学習活動（算数、国語）や体育活動を実施。平均で全学年約86人の児童が参加した。 | |
| 市計画<312> | 継続 | 拡大 | 継続 | 継続 | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 1,696 | 1,666 | 1,666 | | | | | 1,274 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 3-12-101<br>青少年健全育成推進委員会<br><br>【統合】<br><br>(青少年健全育成事務経費) | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 青少年の健全育成に関し必要な事項を調査審議する。<br>委員15名 | 青少年健全育成推進委員会の開催<br><br>【青少年健全育成事業に統合】 | | | 健全育成施策に対する意見や要望の聴取等による施策等の点検。 | | | 委員会の意見の市の施策への反映 | | | | 青少年健全育成推進委員会の開催（1月19日） |
| | | | | | 評価指標 | 委員会の開催回数 | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | A | |
| | | | | | 委員会を開催し、問題行動、適応指導等について審議した。 | | | 平成27年度子どもサポートセンター活動状況について意見を求めたほか、いじめに関する連絡体制構築などについて協議し了承された。 | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 統合 | | | | | | | | | | 統合 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | | | | | | | | | | | 57 |

| 3-12-102<br>青少年健全育成経費<br><br>(青少年健全育成事務経費) | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道青少年育成協会負担金<br>借上車経費 | 協会への参加 | 協会への参加 | 協会への参加 | 情報の収集・共有により健全育成施策を円滑に進める。 | | | 近隣市等との連携を図り健全育成を目指す。 | | | | 青少年地域合同会議（5/13）<br>協議会総会（4/24）<br>協議会合同特別研修（8/7）<br>協議会研修会（12/14、2/19） |
| | | | | | 評価指標 | 協議会への参加回数 | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | A | |
| | | | | | 研修会に参加し、情報収集を進めた。 | | | 研修会に参加、健全育成について近隣市等と研修を進めた。 | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 487 | 487 | 487 | | | | | | | | 530 |

政策４　学びあい、教えあう社会教育の推進

- 施策１３　市民の学習活動への支援の充実
- 施策１４　地域や世代を見据えた学習機会の充実
- 施策１５　施設の充実による学習環境の整備

## 【施策13　市民の学習活動への支援内容の充実】

1　市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通したコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。

2　社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実を図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。

3　市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。

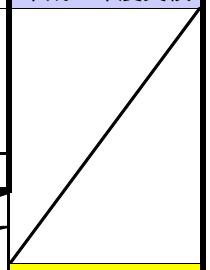
| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 4-13-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 改善する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生涯学習市民活動団体支援事業 | 学習機会の提供及び生涯学習に取り組む団体の育成を図るため、市民団体が企画実施する生涯学習に関する事業に支援を行う。 | 市民団体が企画する講演会や体験事業、スポーツ大会、鑑賞会などへの助成 | 市民団体が企画する講演会や体験事業、スポーツ大会、鑑賞会などへの助成 | 市民団体が企画する講演会や体験事業、スポーツ大会、鑑賞会などへの助成 | 市民参加を促す事業として、継続的に支援を行っていくため、市民ニーズを捉え、事業内容の改善を行っていく。 | | | ◎生涯学習に関する事業を自ら企画・実施し、広く市民に発表する取組みを支援することは、生涯学習の振興並びにまちづくりの市民参加につながる。 | | | | | 助成事業数5件 |
| | | | | | 評価指標 | 支援団体数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 市民の主体的な活動を効果的に推進するため、支援内容を改善した。 | | | 市民活動が効果的に行われるよう、事業への適切な支援を継続する。 | | | | | |
| 市計画<258> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | | | | | | | | 1,186 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 4-13-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る / 拡げる / 改善する | ◎ / ○ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 元気フェスティバル連携事業 | 市民の生涯学習に対する理解や関心を深めるとともに、市民団体の交流や学習成果を生かす場として、元気フェスティバルを開催する。 | 元気フェスティバルの開催 | 元気フェスティバルの開催 | 元気フェスティバルの開催 | 生涯学習をテーマに市民主体で創造し、交流する事業は少なく、さらなる拡充を目指す。 | ◎生涯学習活動の発表の場、異分野の交流の場として重要。<br>○市民が主体となって取り組む実行委員会形式で実施。 | 元気フェスティバルの開催<br>参加 54団体<br>参加者3,000名 |
| | | | | | 評価指標：来場者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>市民の主体的な活動を助長し、活動成果の発表機会となっている。 | 平成27年度の評価：A<br>実行委員会で、内容を協議することから、主体的な取組みとなっている。 | |
| 市計画<259> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 675 | 675 | 675 | | | 672 |

| 4-13-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る / 拡げる / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生涯学習振興会支援事業 | 生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、生涯学習振興会を支援する。 | 生涯学習振興会への助成 | 生涯学習振興会への助成 | 生涯学習振興会への助成 | 市街地が分散している本市の特徴を生かした他市に例のない事業である。 | ◎地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。<br>○市民参加が活発に行われている組織 | 生涯学習振興会事務職員人件費と事業費の助成。生涯学習推進アドバイザーの配置 |
| | | | | | 評価指標：事業数、事業参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>学習機会の提供と地域コミュニティの醸成に寄与している。交付金算定の方法を見直し、振興会の了承を得た。 | 平成27年度の評価：A<br>各地域の特色を生かした活動が行われており、地域コミュニティの醸成に寄与している。振興会との協力体制を強化した。 | |
| 市計画<313> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 18,749 | 18,307 | 18,307 | | | 18,136 |

| 4-13-003-1 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る / 拡げる / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生涯学習振興会支援事業<br>【拡大】 | 生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、生涯学習振興会を支援する。 | | 生涯学習振興会への助成 | 生涯学習振興会への助成 | 市街地が分散している本市の特徴を生かした他市に例のない事業である。未設置地域へ設置し、本事業を拡大する。 | ◎地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。<br>○市民参加が活発に行われている組織 |  |
| | | | | | 評価指標：事業数、事業参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<313> | 拡大 | | 拡大 | 継続 | | | 拡大 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | | 5,521 | 5,521 | | | |

## 【施策１４　地域や世代を見据えた学習機会の充実】

1　各世代別での学習ニーズに応え、産･学･官･民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。
2　社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。
3　市民の多様な学習ニーズへの対応や、主体的な学習活動を支援するための情報提供に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。
4　市民の主体的な学習をサポートするため、IT予約システムなどによる社会教育施設や公共施設の利用情報のネットワーク化を図ります。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

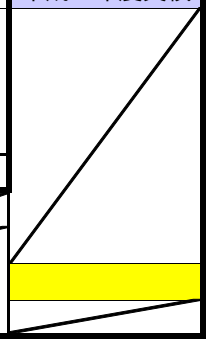
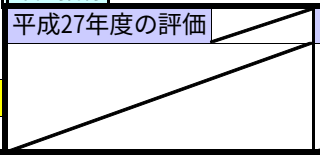
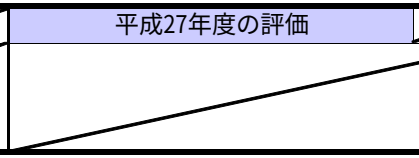
| 4-14-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | ◎ / ○ / / ○ / | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国際交流事業 | 異文化への理解と国際感覚をもった人材を育てるため、国際交流協議会を支援する。 | 国際交流協議会への助成 | 国際交流協議会への助成 | 国際交流協議会への助成 | カナダ・サスカツーン市との交流は継続。 | ◎豊かな国際感覚を持った人材の育成は、重要。<br>○市民が主体となった事業展開が必要。 | カナダ・サスカツーン市への訪問団派遣。（高校生12名）市長の表敬訪問。 |
| | | | | | 評価指標：事業参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>カナダ・サスカツーン市に訪問団を派遣、25周年記念事業を実施した。 | 平成27年度の評価：A<br>道都大学と連携した事業を実施、会員増などの組織強化を図った。 | |
| 市計画<323> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | | | 見直し |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 392 | 1,404 | 392 | | | 2,276 |

| 4-14-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | ◎ / / / ○ / | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フレンドリーセンター運営事業 | 障がい者が生涯学習活動を通じて、学び交流する場を提供する。 | フレンドリーセンター事業の開催 | フレンドリーセンター事業の開催 | フレンドリーセンター事業の開催 | 障がい者と一緒に学び交流する本市独自の事業。会員の高齢化、施設の老朽化などの課題の検討が必要。 | ◎障がい者が地域社会に積極的に溶け込んでいくための環境づくり事業として重要。<br>○市民、各種団体、学校教員等の参加・協力を得て実施している。 | 太鼓教室、秋のスイーツ教室、サッカー教室、スキー教室、体操教室の開催 |
| | | | | | 評価指標：事業参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>事業内容の見直しを行い事業を実施、委託に向け関係団体と協議した。 | 平成27年度の評価：A<br>「障がい児者を持つ親の会」などの意見を聴き事業を実施、市直営で行ってきた事業を市内団体に委託することについて了承を得た。 | |
| 市計画<261> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 802 | 992 | 992 | | | 728 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 4-14-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 整える / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中央公民館活動推進事業 | 市民やサークルなどの相互交流の場を提供し、市民の生涯学習に対する理解と関心を深める。<br>生涯学習振興会と地区公民館活動連携事業を実施。 | 公民館まつり等の開催<br>地区公民館活動連携事業の実施 | 公民館まつり等の開催<br>地区公民館活動連携事業の実施 | 公民館まつり等の開催<br>地区公民館活動連携事業の実施 | 市民の主体的な活動をさらに助長するため、生涯学習振興会との連携した取り組みを行う。 | ◎生涯にわたる学習環境の提供、世代間の交流の推進。<br>○市民参加による事業の企画・運営。 | 公民館まつり、地区公民館活動連携事業の実施（７事業） |
| | | | | | 評価指標：事業参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：B<br>公民館まつりと子ども公民館まつりを統合して開催、地区公民館活動連携事業を実施した。 | 平成27年度の評価：B<br>公民館まつりと子ども公民館まつりを統合することで、効率的な交流を図ることができた。 | |
| 市計画<262> | 継続 | 見直し | 継続 | 継続 | | | 見直し |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 347 | 355 | 355 | | | 356 |

| 4-14-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生涯学習支援情報システム整備事業 | 図書館情報システム・施設予約管理システムを活用し、図書館及び生涯学習の拠点施設が持つ学習機能を充実させる。 | 生涯学習支援システムの活用による学習機会の充実 | 生涯学習支援システムの活用による学習機会の充実 | 生涯学習支援システムの活用による学習機会の充実 | 図書館システムや施設予約システムを活用し、市民への安定した情報提供に努める。 | ◎学習情報の提供、施設利用の利便性向上。<br>○庁内インフラを活用し、市内教育施設の管理を一元化しているため、緊密な連絡調整が必要である。 | 20施設に導入<br>図書館本館・地区分館、市内教育施設 |
| | | | | | 評価指標：導入施設数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>施設利用の利便性の向上など、十分に機能している。 | 平成27年度の評価：B<br>施設予約システムの所管課との連携が課題。 | |
| 市計画<314> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 11,379 | 11,390 | 11,390 | | | 11,642 |

| 4-14-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える / 整える / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フレンドリーセンター施設解体工事事業 | 建築後55年が経過し、老朽化が進んでいることから、施設の解体を行う。 | 公共施設等総合管理計画で検討 | 解体に向けた検討 | 解体に向けた検討 | 施設解体のための実施設計及び工事の実施。 | ◎施設の解体について、関係者との協議を行うなどの調整を行う。 |  |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：  | 平成27年度の評価：  | |
| 市計画<356> | 継続 | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 0 | 0 | 0 | | | |

## 【施策１５　施設の充実による学習環境の整備】

1　生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。
2　市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、中央公民館など既存施設の有効活用を図ります。
3　学習や研修の機会を提供する施設の計画的な整備を進めます。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 4-15-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える / 整える / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西の里公民館改修事業 | 建築後３９年が経過し、耐震化の必要があることから、今後の施設の総合的な利用を検討しながら、耐震改修工事を実施する。 | 公共施設等総合管理計画で検討 | 耐震改修工事に向けた検討 | 耐震改修工事に向けた検討 | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | ◎市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。高齢者や障がい者が利用しやすい施設への転換。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<352> | 継続 | | | | | | |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 0 | 0 | 0 | | | |

| 4-15-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 林間学園・レクリエーションの森整備事業 | 経年劣化によって腐食、破損しているアスレチック、管理棟、炉場、展望台等を計画的に改修を行う。 | 整備に向けた調査・検 | 整備に向けた調査・検 | 整備に向けた調査・検 | | | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<371> | 継続 | | | | | | |
| 企画課 | 事業費（千円） | 0 | 0 | 0 | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 4-15-101<br>林間学園・レクリエーションの森開放事業<br>（社会教育経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 自然体験、憩いの場として林間学園・レクリエーションの森を開放する。 | 維持管理経費<br>経常　5,816千円<br>臨時　897千円 | 維持管理経費 | 維持管理経費 | 施設が老朽化しているため、点検を怠らない。 | ◎マチの中央に位置しながら、自然をそのまま生かしている本市のまちづくりの象徴的な施設。市民が自然に触れ合い、憩う場として貴重。 | フィールドアスレチックの修繕、トイレ修繕、シャッター修繕等 |
| | | | | | 評価指標：利用者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>破損の状況に応じ、適切に修繕等を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>身近で自然と触れ合える施設として、安全・安心な利用に努めた。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 5,940 | 6,713 | 6,713 | | | 6,630 |

| 4-15-102<br>公民館管理事業<br>（公民館管理経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 市民が利用しやすい施設となるよう中央及び西の里公民館を管理、運営する。 | 維持管理経費 | 維持管理経費 | 維持管理経費 | 施設が老朽化しているため、点検を怠らない。 | ◎市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。 | 中央・西の里公民館の維持管理 |
| | | | | | 評価指標：団体利用登録団体数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>快適に利用できるよう、施設の維持管理を行い、リニューアルのあった中央公民館では備品の購入を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>中央公民館は大規模改修工事が終わり、5月よりリニューアルオープンした。安全で安心な利用に努めた。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 20,159 | 33,374 | 33,374 | | | 34,112 |

| 4-15-103<br>社会教育施設等草刈経費<br>（社会教育経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 快適に利用できる施設となるよう社会教育施設等（駅西口広場・中央公民館・西の里公民館・レクの森）の草刈りを行う。 | 草刈り（委託）<br>駅西口広場を文化課へ移管。 | 草刈り（委託） | 草刈り（委託） | 社会教育関係施設の環境整備に努める。 | 施設の環境整備に努める。 | 草刈りの実施 |
| | | | | | 評価指標：草刈実施回数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>快適に利用できるよう、関係施設の草刈を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>施設の状況に応じた施工で実施した。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 438 | 500 | 500 | | | 499 |

政策５　郷土愛を育む教育活動の推進

施策１６　エコミュージアム構想の展開

施策１７　文化財の保存と活用

## 【施策１６　エコミュージアム構想の展開】

1　文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存･活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。

2　市民参加による郷土学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。

3　エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産･歴史遺産･産業遺産等を現地において保全･活用する環境を整備します。

4　重要な郷土資料の保全、住民活動の拠点、情報サービスの発信･提供、資料の展示、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 5-16-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| エコミュージアム普及推進事業 | 市内各地に存在する自然遺産や文化遺産などを現地において、行政と市民の協働により、そのまま保存・育成・展示することを通して魅力ある地域づくり・まちづくりを推進する。また、郷土に関する学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供する。 | エコミュージアム推進委員会の運営<br>常設展示・特別展・企画展の実施<br>まちを好きになる市民大学の開講<br>市内見学バスツアーの実施<br>郷土学習・講演会の開催 | 常設展示・特別展・企画展の実施<br>まちを好きになる市民大学の開講<br>市内見学バスツアーの実施<br>郷土学習・講演会の開催 | 常設展示・特別展・企画展の実施<br>まちを好きになる市民大学の開講<br>市内見学バスツアーの実施<br>郷土学習・講演会の開催 | 事業推進体制の拡大・充実が必要。 | | | ◎市民自らが遺産を保存・活用し、まちを守り育てていく観点が根本。<br>○北広島市エコミュージアム推進委員会など、多くの市民との協働と、観光等関係機関との連携が必要。 | | | まちを好きになる市民大学<br>7期生：8人<br>卒業生：103人<br>OB会：61人<br>（H27総会時）<br>バスツアー（4回）<br>参加者：43人<br>昆虫採集：4人 |
| | | | | | 評価指標 | 事業参加者数・知新の駅来館者利用者数 | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | |
| | | | | | まちを好きになる市民大学や地域遺産発見バスツアー等の継続的な実施により北広島市の魅力を提供・発信してきた。 | | | まちを好きになる市民大学卒業生のOB会は、自主活動の他センター主催事業の支援など、広く団体活動を発信している。また、各種体験型の主催事業によりまちの魅力を今後も継続して発信する。 | | |
| 市計画<266> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 継続 |
| エコミュージアムセンター | 事業費（千円） | 4,064 | 5,777 | 5,777 | | | | | | |

| 5-16-001-1 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| エコミュージアム普及推進事業<br>【拡大】 | サテライトと地域遺産を結ぶ発見の小路を表示する説明板、案内標柱等の設置や所蔵整理等を実施する。 | 地域遺産を表示する説明板、案内標柱の設置<br>所蔵資料整理のための業務委託 | 地域遺産を表示する説明板、案内標柱の設置<br>所蔵資料整理のための業務委託 | 地域遺産を表示する説明板、案内標柱の設置<br>所蔵資料整理のための業務委託 | サテライトと発見の小路を表示しさら詳しく北広島のことを周知。 | | | ◎ | | | |
| | | | | | 評価指標 | 進捗率 | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | |
| 市計画<243> | 拡大 | 拡大 | 継続 | 継続 | | | | | | |
| エコミュージアムセンター | 事業費（千円） | 2,372 | 3,100 | 3,100 | | | | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 5-15-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る | 拡げる | 改善する | ◎ | | | ○ | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 旧島松駅逓所周辺整備事業 | より多くの市民に観覧してもらい、駅逓所を身近に感じ取ってもらうことによって、開拓の歴史の理解を深めてもらうため、旧島松駅逓所の周辺の隣地の整備を行う。 | 基本計画の策定関係者からの意見聴取 | 隣地の整備方針策定<br>周辺区域の整備方針検討 | 周辺区域の整備方針検討 | 隣地の史跡拡大を目指し、エコミュージアムのサテライト施設として活用する。 | | | 駅逓所は、歴史を正しく伝えるうえで国民の財産と成り得る史跡であり、国や地域の理解や協力を得て進める必要がある。 | | | | | |
| | | | | | 評価指標 | 進捗率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |
| 市計画<267> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | |
| 企画課 | 事業費（千円） | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | |

## 【施策17　文化財の保存と活用】

1　史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。
2　郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集･保存を進めます。また、市文化財の指定を行い保存します。
3　郷土文化の伝承に対する支援を進めます。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 5-17-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ○ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 郷土文化伝承支援事業 | 本市の郷土芸能を後世に伝えるため、保存・継承している団体を支援する。 | 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成 | 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成 | 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成 | 伝統芸能と呼ぶには歴史が浅いが、北広島の郷土芸能振興を目的に継続する。 | ◎郷土芸能は地域に根ざしたものであり、多くの市民による保存伝承活動が必要である。<br>○郷土芸能の振興は、祭りや式典などでの演目等まちづくりへの貢献の一環としても大切な事業である。 | 北広島ふるさと太鼓保存会<br>会員：38人<br><br>広島音頭保存会<br>会員：60人 |
| | | | | | 評価指標：支援団体数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>本市には伝統芸能と呼ばれるものは少ないが、確実に受け継がれていくことにより、評価できる伝統芸能に発展していく。 | 平成27年度の評価：B<br>構成員の高齢化が進んでいることからや、活動機会の多様化など郷土文化継承の視点から支援方策のあり方が課題となる。 | |
| 市計画<333> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| エコミュージアムセンター | 事業費（千円） | 212 | 212 | 212 | | | 212 |

| 5-17-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化財保存･活用事業 | 本市の文化財や郷土資料を周知し、郷土に対する愛着とふるさと意識の高揚を図るため、国指定文化財と北広島市文化財保護審議会が指定する市指定文化財、郷土の自然や歴史を後世に伝えるために適切な保存と活用を行う。 | 旧島松駅逓所開館事業の実施<br>旧島松駅逓所庭内整備の実施<br>東記念館収蔵室の維持管理<br>北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成<br>文化財等調査補助員の配置 | 旧島松駅逓所開館事業の実施<br>旧島松駅逓所庭内整備の実施<br>東記念館収蔵室の維持管理<br>北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成<br>文化財等調査補助員の配置 | 旧島松駅逓所開館事業の実施<br>旧島松駅逓所庭内整備の実施<br>東記念館収蔵室の維持管理<br>北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成<br>文化財等調査補助員の配置 | 遺産を後世に伝えていくためには、適切な保存・管理が必要だが、継続的な手当てと、計画的なメンテナンスが必要である。 | ◎生涯学習における学習環境整備として重要な課題である。<br>○まちの遺産は、その地域の協力なしには保存されないものであり、理解と協力が必要。 | 旧島松駅逓所開館161日間（4/28～11/3）、入館者数：2,360人（総数：6,791人）、ﾃｲﾄｱｯﾌﾟ：351人<br>北広島市水稲赤毛種保存会への助成 |
| | | | | | 評価指標：旧島松駅逓所入館者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>市民の郷土意識の高まりにより旧島松駅逓所の来館者が増加している中、最小限の修繕及び環境整備を実施できた。 | 平成27年度の評価：B<br>今後も文化財の適切な保存活用に努める一方、赤毛種の作付を複数の農家で実施することとした。また、文化財保護審議委員会による市指定文化財の調査を継続して進めた。 | |
| 市計画<268> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| エコミュージアムセンター | 事業費（千円） | 6,524 | 5,924 | 5,924 | | | 5,920 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 5-17-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る | 拡げる | 改善する | ◎ | | | ○ | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 旧島松駅逓所大規模改修事業 | 補修工事から２５年が経過し、老朽化が顕著なため、国指定史跡旧島松駅逓所の大規模改修を実施する。 | 改修に向けた検討 | 保存整備計画の策定<br>耐震化に向けた予備診断 | 基本計画 | 未来に遺すべき文化財としての適切な保存方法による管理。 | | | 本市において貴重な観光資源として今後も安心安全に活用する。 | | | | | |
| | | | | | 評価指標 | 進歩率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |
| 市計画<385> | 新規 | 新規 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | |
| エコミュージアムセンター | 事業費（千円） | 214 | 2,500 | 20,000 | | | | | | | | | |

政策６　生涯にわたる読書活動の推進

施策１８　図書館サービスの充実

施策１９　子どもの読書活動推進

## 【施策１８　図書館サービスの充実】

1　市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書館及び地区分館での図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。
2　地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。
3　図書館フィールドネットなどの市民との協働により、子どもから高齢者までの生涯を通した読書活動の充実をめざします。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 6-18-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | ○ | | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図書館サービス提供事業 | 図書館が行っている図書の貸出・リクエスト・予約やレファレンス・相互貸借などの基本的サービスのほか、利用価値の高い図書館サービスを提供する。 | 図書館資料の購入<br>情報検索データベースの活用<br>高齢者等の宅配サービスの実施<br>公衆無線ＬＡＮ「光ステーション」の活用 | 図書館資料の購入<br>情報検索データベースの活用<br>高齢者等の宅配サービスの実施<br>公衆無線ＬＡＮ「光ステーション」の活用 | 図書館資料の購入<br>情報検索データベースの活用<br>高齢者等の宅配サービスの実施<br>公衆無線ＬＡＮ「光ステーション」の活用 | 現状のサービス水準を維持し、市民要望に対する点検を怠らないこと。 | | | ◎生涯にわたる学習環境の充実にとって、図書館は重要な位置を占める。<br>○窓口業務委託の継続 | | | | | 平成２８年１月末現在<br><br>貸出冊数<br>４２３,６９１冊<br>予約・リクエスト受付数<br>約４６,７０１件<br>予約達成率約９５％ |
| | | | | | 評価指標 | 予約貸出率（達成件数／年間リクエスト総数） | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | | A |
| | | | | | 資料費・開館時間など近隣市と比較しても上位。利用率も道内トップクラスを維持している。 | | | 宅配ボランティアによる高齢者等図書宅配サービスやｗｅｂによる予約受付などサービスが安定。 | | | | | |
| 市計画<269> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 20,847 | 22,458 | 22,458 | | | | | | | | | 20,876 |

| 6-18-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創　る | 続ける | 改善する | | ◎ | | ◎ | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図書館フィールドネット連携事業 | 図書館のボランティア団体で構成する北広島市図書館フィールドネット運営委員会を支援し、読書の普及を促進する。 | 北広島市図書館フィールドネット運営委員会に対する助成 | 北広島市図書館フィールドネット運営委員会に対する助成 | 北広島市図書館フィールドネット運営委員会に対する助成 | 市民参加による読書振興・図書館運営という点で稀有な活動。 | | | ◎視覚障がい者への朗読・点訳活動、破損した図書の修理などのサービスの充実に大きく貢献している。<br>◎読書まつり等の普及イベントを実施。 | | | | | 図書館フィールドネット運営委員会に助成<br><br>読書普及イベントで年間約10,000人の参加者 |
| | | | | | 評価指標 | 参加者数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | | A |
| | | | | | 市民協働による図書館活動の基盤であり、継続性を持つものである。 | | | 図書館運営や読書振興など市民要望の反映やメンバーや世代の交代など、活動のさらなる活性化に向けた育成が必要。 | | | | | |
| 市計画<270> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | | | | | | | | 1,500 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 6-18-101<br>図書館運営<br>（図書館運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 図書館の施設維持管理<br>移動図書館車の運行 | 窓口等業務委託<br>移動図書館車・小型貨物自動車の経費<br>ほか | 窓口等業務委託<br>移動図書館車・小型貨物自動車の経費<br>ほか | 窓口等業務委託<br>移動図書館車・小型貨物自動車の経費<br>ほか | 市民要望を最大限反映する施設運営のために、新たな技術や手法の導入に対し、点検を怠らない。 | ◎生涯学習の拠点施設として育てる。<br>○本館・分館ともに市民参加を十分に得て運営を行う。 | 平成２８年１月末現在<br>年間開館日数<br>２４９日<br>本館入館者数<br>２０３,７１６人 |
| | | | | | 評価指標：利用者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>生涯学習の拠点施設として、市民の意見を反映しつつ、利用しやすい運営が維持されている。 | 平成27年度の評価：A<br>経年による施設や設備の更新・改修が課題である。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 58,711 | 58,711 | 58,711 | | | 58,494 |

| 6-18-102<br>図書館利用モニター<br>（図書館運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ○ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 図書館サービスの水準を維持し、迅速な利用者要望を把握するため、匿名モニターによる対応チェックを定期的に行う。 | 2名のモニターにより、年間12回実施 | 2名のモニターにより、年間12回実施 | 2名のモニターにより、年間12回実施 | 委託事業者との相互のチェック機能として継続していく。 | ◎図書館運営に対する市民参加として重要な手法である。<br>○協働によるまちの図書館づくりの一手法である。 | 2名のモニターにより12回実施 |
| | | | | | 評価指標：モニター回数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>モニターの評価・意見を参考に、常に業務を見直し、質の高いサービスを提供。 | 平成27年度の評価：A<br>新たな視点とするため、モニターの更新や項目の点検等が課題。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 27 | 27 | 27 | | | 27 |

| 6-18-103<br>北広島市図書館協議会<br>（図書館運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 図書館法に定められる外部委員会として、図書館の運営等について館長に意見を述べるほか、教育委員会の諮問に答える。 委員１０名 | 年間2回を予定 | 年間2回を予定 | 年間2回を予定 | 図書館運営に対する市民意見の反映に必需。運用の点検を怠らない。 | ◎図書館運営に対する市民参画の重要な手法である。 | 1回実施 |
| | | | | | 評価指標：開催回数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>今年度は2月に会議を実施。 | 平成27年度の評価：A<br>協議会委員が図書館事業や研修会に参加するなど、積極的な活動を行っている。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 128 | 128 | 128 | | | 51 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 6-18-104 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 読書環境整備事業<br>（図書館運営経費） | 図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討 | 光ステーション増設ブックポスト用マットの購入 | 図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討 | 図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討 | 使用限界を超えた印刷機器等の更新など、点検を怠らないよう注意。 | | | | | | ◎新たなコミュニティ施設の新設などの機会があれば、団地住民センター・西の里分館などの拡充を図る。 | 利用者カード、図書館用封筒の購入を実施 |
| | | | | | 評価指標 | 更新件数 | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | B | |
| | | | | | 開館からの備品も多く、経年による劣化も多くなっているため、更新を継続していく。 | | | 利用者の安心・安全な読書環境を維持するため、定期的な備品の点検、管理が必要である。 | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 397 | 397 | 397 | | | | | | | | 506 |

## 【施策19　子どもの読書活動推進】

1　市民との協働を踏まえながら、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。
2　学校図書館における蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園での絵本巡回事業「小豆（あずき）」の利用拡大を図ります。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 6-19-101 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創　る | 拡げる | 改善する | | | | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 幼児読書活動推進事業<br>（図書館運営経費） | 子どもの読書推進計画に基づき、就学前の幼児に身近で図書館に親しむ取組みとして、幼児絵本の巡回配置「小豆」を実施する。 | 幼児絵本180冊の補充。※寄贈本で対応。<br>実施園数を拡大。 | 幼児絵本180冊の補充<br>実施園数を拡大。 | 幼児絵本180冊の補充<br>実施園数を拡大。 | 小学校で行われている通称「豆次郎」の幼年版(「小豆」)として計画。幼児の読書活動推進にとって、独自性の高い活動。 | | | ◎ | | | ○学校教育から幼児、乳幼児まで読書活動の推進を図ることは、生涯にわたる読書活動の推進にとって重要。<br>○幼稚園・保育園との連携による。 | 4園で実施<br>広島幼稚園<br>わかば幼稚園<br>すみれ保育園<br>いちい保育園 |
| | | | | | 評価指標 | 実施園率 | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | B | |
| | | | | | 幼児の読書活動推進事業「小豆」は、4園で実施。 | | | 幼稚園・保育園との連携を密にして、未実施園についても拡大していくことが課題。 | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 0 | 20 | 20 | | | | | | | | 0 |

政策７　芸術文化活動の振興

施策２０　個性豊かな地域文化の振興

施策２１　市民等との連携による芸術文化活動の展開

## 【施策２０　個性豊かな地域文化の振興】

1　優れた芸術文化活動に対して表彰を行うとともに、市民が主体的に取組む芸術文化活動を積極的に支援します。
2　各種公演や講座、体験教室など、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。
3　青少年が芸術文化に触れる機会の充実に向け、学校との積極的な連携を進めます。
4　芸術文化活動に主体的に取組んでいる市民団体やサークルを支援します。
5　芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 7-20-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ○ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化賞・スポーツ賞等表彰事業<br>【統合】 | 優秀な文化活動を行う市民（成人・青少年）及び団体や、スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手及びスポーツの振興に寄与した者に対し、その功績を顕彰する。<br>《旧事業名》<br>文化賞等表彰事業【スポーツ賞等表彰事業と統合】 | 文化・スポーツ賞等表彰式の開催 | 文化・スポーツ賞等表彰式の開催 | 文化・スポーツ賞等表彰式の開催 | 芸術文化分野での顕彰事業として、市民の芸術文化活動に対する意欲を高めることから堅実性・継続性が重要となる。 | ◎芸術文化活動を通した地域づくりや人材育成の視点に優れた文化活動を顕彰する。<br>○生涯にわたり学び、その成果を活かした活動を支援することにつながる。 | 文化賞等表彰式の開催<br>文化賞2件、文化奨励賞1件、青少年文化賞 1件、青少年文化奨励賞 4件 |
| | | | | | 評価指標：文化賞等表彰者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>「文化の日」に表彰式を実施した。芸術文化に関する活動を概ね網羅した顕彰ができている。 | 平成27年度の評価：A<br>受賞該当者が、適切に成果が認められ、公平な評価がなされることが必要である。 | |
| 市計画<272> | 継続 | 統合 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 631 | 539 | 539 | | | 0 |

| 7-20-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ○ / ○ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化団体活動支援事業 | 市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の発展のため、芸術文化活動を行う各種団体に各団体の芸術文化事業への支援を行う。 | 北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成 | 北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成 | 北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成 | 芸術文化活動がより活発化するよう主体的な団体活動を支援する。 | ◎生涯学習の視点から、市民の主体的な芸術文化活動団体の支援は重要な施策である。<br>○団体支援を通し芸術文化活動による地域づくりや人材の育成につなげる。<br>○各種団体との協働により芸術文化の振興を目指す。 | 北広島市文化連盟及び音楽協会に助成 |
| | | | | | 評価指標：支援団体数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>団体の研修会や、演奏会などの自主事業の実施について、各団体が連携を図りながら実施している。 | 平成27年度の評価：A<br>団体個々の成果発表の場として、主体的な発表機会を設けられており、芸術文化活動の振興に寄与している。 | |
| 市計画<273> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 640 | 640 | 640 | | | 640 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 7-20-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市民文化祭奨励事業 | 市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の促進のため、市民の芸術文化活動を発表する機会の提供とその支援を行う。 | 市民総合文化祭及び地区文化祭に助成 | 市民総合文化祭及び地区文化祭に助成 | 市民総合文化祭及び地区文化祭に助成 | 市民の主体的な取り組みを支援する。助成内容の点検を怠らない。 | ◎学んだ成果の発表・活かす場として市民の主体的な取り組みを支援する施策である。<br>○芸術文化を通した地域づくりや人づくりにつながる。<br>○芸術文化の振興を市民と協働し行う。 | 市民総合文化祭及び、地区文化祭（4地区）に助成 |
| | | | | | 評価指標：市民総合文化祭参加人数　地区文化祭参加者総数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>市民総合文化祭、各地区文化祭ともに、市民が主体的に企画運営を行い、地域の文化活動として定着している。 | 平成27年度の評価：A<br>地域がそれぞれ特徴的な文化活動を発表するなど、定着している。学校との連携を進め、子どもたちの発表機会としても充実してきている。 | |
| 市計画<274> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 650 | 650 | 650 | | | 650 |

| 7-20-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化施設修繕事業 | 文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、耐用年数などを考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。 | ガレリア・図書館屋上防水改修工事<br>練習室床修繕 | 文化施設共用部屋上防水改修、非常灯誘導灯改修 | 文化施設共用部屋上防水改修、非常灯誘導灯改修 | 建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。 | ◎設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。<br>○省エネの取り組みの推進。 | 屋上防水シート等改修工事 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：B<br>閉館の伴わない改修内容において、緊急性の高い個所から行っていく。 | 平成27年度の評価：B<br>施設全体の長期的な改修プランを検討し、計画的に実施していくことが必要である。 | |
| 市計画<278> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 25,472 | 27,347 | 30,000 | | | 20,345 |

| 7-20-005 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 芸術文化ホール設備修繕事業 | 芸術文化ホール(客席、舞台、音響、照明設備等)の安全性や芸術文化振興のための機能維持を図るため、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。 | 舞台吊物ワイヤー修繕 | 舞台吊物等、音響設備等修繕 | 舞台吊物等、音響設備等修繕 | 建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。 | ◎設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。<br>○省エネの取り組みの推進。 | 舞台照明設備修繕 |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：B<br>ホール内の設備について、更新・改修が必要となる個所が増加してきており、順次対応が必要である。 | 平成27年度の評価：B<br>ホール設備に関して、長期的な改修プランを検討し、計画的に実施していくことが必要である。 | |
| 市計画<341> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 13,000 | 12,540 | 18,500 | | | 9,380 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 7-20-101<br>文化施設維持管理<br>（文化施設維持管理経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。<br>評価指標：－<br>平成27年度の評価：A<br>受託者の適切な業務の執行により、適切な施設管理が行われている。 | ◎ / ○ / ○<br>大規模な専門的施設であり、受託者等との連絡調整や点検を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。<br>平成27年度の評価：A<br>受託者の適切な業務の執行により施設管理が行われている。 | 平成27年度実績<br>設備管理業務委託<br>清掃業務委託<br>警備業務委託<br>設備保守点検委託<br>監視カメラ借上げ<br>光熱水費 ほか |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 芸術文化ホール・図書館の施設維持管理 | 設備管理業務委託<br>清掃業務委託<br>警備業務委託<br>設備保守点検委託<br>監視カメラ借上げ<br>光熱水費ほか<br><br>経常 33,229千円<br>臨時 31,684千円 | 設備管理業務委託<br>清掃業務委託<br>警備業務委託<br>設備保守点検委託<br>監視カメラ借上げ<br>光熱水費ほか | 設備管理業務委託<br>清掃業務委託<br>警備業務委託<br>設備保守点検委託<br>監視カメラ借上げ<br>光熱水費ほか | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 64,913 | 64,913 | 64,913 | | | 60,637 |

| 7-20-102<br>芸術文化ホール管理<br>（芸術文化ホール管理経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。<br>評価指標：－<br>平成27年度の評価：A<br>受託者の適切な業務の執行により、適切な施設管理が行われている。 | ◎ / ○<br>専門的な施設・設備であり、受託者等との連絡調整を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。<br>平成27年度の評価：A<br>受託者の適切な業務の執行により施設管理が行われている。 | 平成27年度実績<br>舞台設備運営管理委託<br>窓口業務委託<br>借上車経費 ほか |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 芸術文化ホールの設備維持管理 | 舞台設備運営管理委託<br>窓口業務委託<br>借上車経費 ほか<br>経常 2,020千円<br>臨時35,766千円 | 舞台設備運営管理委託<br>窓口業務委託<br>借上車経費 ほか | 舞台設備運営管理委託<br>窓口業務委託<br>借上車経費 ほか | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 37,786 | 37,786 | 37,786 | | | 35,522 |

| 7-20-103<br>北広島市芸術文化振興審議会<br>（芸術文化振興経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する<br>芸術文化の振興に対する市民意見の反映に必要。運営等の点検を怠らない。<br>評価指標：開催回数<br>平成27年度の評価：A<br>文化賞等受賞者選考において、適切な審議が行われている。 | ◎<br>芸術文化の振興に対する市民参画の重要な手法である。<br>平成27年度の評価：A<br>芸術文化振興プランの進行管理について、協議を進めていくほか、協議内容を各施策に生かしていくことが必要である。 | 平成27年度実績<br>年間2回開催 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 芸術文化の振興について教育委員会からの諮問に応じ調査審議する。委員6名 | 北広島市芸術文化振興審議会の開催<br>委員構成を変更 | 北広島市芸術文化振興審議会の開催 | 北広島市芸術文化振興審議会の開催 | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 117 | 117 | 117 | | | 124 |

## 【施策２１　市民等との連携による芸術文化活動の展開】

1　地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動を行う企業との共催、他の公共ホールなどとの連携を推進します。
2　芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。
3　市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 7-21-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 拡げる / 改善する | ○ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 芸術文化ホール運営委員会連携事業 | 市と協働で芸術鑑賞型事業及び芸術創造事業を推進し、市民の主体的な芸術文化活動の活発化と資質向上を図るため、芸術文化ホール運営委員会を支援する。 | 北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成<br>委員会による自主事業の実施 | 北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成<br>委員会による自主事業の実施 | 北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成<br>委員会による自主事業の実施 | 市民との協働による柔軟なホール運営として高い評価を得ているが、今後も社会情勢の変化に応じた運営体制の点検が必要。 | 市民等で組織する北広島市芸術文化ホール運営委員会の企画による事業展開は、生涯学習の充実を目指すものであり、市民協働による市民のニーズを踏まえた活動と位置づけられる。 | 芸術文化鑑賞事業<br>１０事業<br><br>芸術文化創造事業<br>~~５~~ ６事業 |
| | | | | | 評価指標：鑑賞事業参加人数　育成事業参加人数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A | 平成27年度の評価：A | |
| | | | | | 多彩な事業企画、運営が行われており、文化振興の拠点として機能している。 | 文化公演や各種セミナーを企画・実施。関係団体などとの連携もできている。 | |
| 市計画<279> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 11,719 | 11,882 | 11,882 | | | 11,735 |

| 7-21-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ○ / ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 花ホールスタッフの会支援等事業 | 市及び運営委員会等が主催する事業のサポート活動やバーコーナーの運営など、芸術文化ホール（花ホール）を拠点に活動する花ホールスタッフの会を支援する。 | 花ホールスタッフの会に対する助成<br>花ホールボランティア講習会の実施 | 花ホールスタッフの会に対する助成<br>花ホールボランティア講習会の実施 | 花ホールスタッフの会に対する助成<br>花ホールボランティア講習会の実施 | 主催事業や貸館事業のサポートとして芸術文化の振興に大きく寄与している。 | ボランティア団体による社会貢献の活動と位置づけられ、市民協働によるホール運営の面を持つ。 | 花ホールスタッフの会へ交付金を交付<br>ボランティア養成講座の実施 |
| | | | | | 評価指標：サポート件数　講習会参加人数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A | 平成27年度の評価：A | |
| | | | | | ホール事業の運営において、欠かすことのできない団体となっている。 | 研修の機会や新たなボランティアの募集など、安定した人材の育成確保が必要である。 | |
| 市計画<280> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 文化課 | 事業費（千円） | 320 | 320 | 320 | | | 320 |

政策８　健康づくりとスポーツ活動の推進

- 施策２２　健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進
- 施策２３　競技スポーツの振興
- 施策２４　スポーツ施設の整備と運営

## 【施策２２　健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進】

1　市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康･体力づくり機会の拡充を図ります。
2　市民の自主的な参加と健康･体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。
3　スポーツ推進委員や生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ･レクリエーション活動の推進を図ります。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 8-22-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る / 拡げる / 点検する | | | ○ | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| きたひろしま30 Km ロードレース連携事業 | 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進を図るため、きたひろしま30km ロードレースを開催する。 | きたひろしま30km ロードレースの開催 | きたひろしま30km ロードレースの開催 | きたひろしま30km ロードレースの開催 | 市の一大スポーツイベントとして、多くの関係団体との連携による事業運営。 | | | ◎本市の魅力を全道、全国にＰＲする事業として、また市民の健康づくり、生きがいづくりの機会を提供する事業として、関係各団体と連携した事業運営が必要。 | | きたひろしま30km ロードレース（参加者1,364） |
| | | | | | 評価指標 | 参加者数 | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | |
| | | | | | 団体関係者による実行委員会で協議を進め、大会を開催した。事業運営などの見直しを行った。 | | | 市外からの参加者も多く、市のＰＲにも大きく貢献する事業であり、関係団体と行政が連携して大会を開催した。スタート時間を見直し、安全対策を実施した。 | | |
| 市計画<286> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 300 | 324 | 324 | | | | | | 300 |

| 8-22-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | | | ◎ | ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市民スポーツ活動推進事業 | 子どもから高齢者、障がい者までさまざまな市民を対象に健康保持増進と生きがいや潤いのある生活を助長することを目的にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供する。 | 各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催 | 各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催 | 各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催 | 市民ニーズを把握し、事業及び事業内容の改善に努める。 | | | ◎各世代、障がい者のニーズに対応したスポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくり、生きがいづくりを助長する。<br>○地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等との協働を進める。 | | 障がい者スポーツ大会、赤い羽根ティーボール北の甲子園大会への支援、スーパードッジボール大会、いちにのジャンプ大会、30㌔歩ける会、スナッグゴルフ大会の開催 |
| | | | | | 評価指標 | 参加者数 | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | |
| | | | | | 参加者にとって充実したイベントとなるよう、運営方法などを見直し、事業運営を行った。 | | | 事業実施に当たっては、スポーツ推進委員や関係団体との連携を図り、事業を実施した。例年どおりの参加があり、市民の健康づくりに寄与することができた。 | | |
| 市計画<288> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 555 | 542 | 500 | | | | | | 472 |

| 事業名<br><br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 8-22-101<br>スポーツ推進委員<br><br>（保健体育事務経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | スポーツの普及振興を行うため、実技指導や各種大会の企画及び事業運営を行う。 | 推進委員報酬、研修会への参加 | 推進委員報酬、研修会への参加 | 推進委員報酬、研修会への参加 | 市内各地域のスポーツ・レクリエーションの振興の一端を担っている。 | ◎本市の生涯スポーツ振興の推進者、コーディネーターとしての役割が期待される。 | 事業の企画及び運営。全道・管内協議会への参加 |
| | | | | | 評価指標：スポーツ推進委員の参加事業数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>３０キロ歩ける会など、委員が主体となって事業運営を行っている。 | 平成27年度の評価：A<br>委員が主体となって各事業に取り組んでおり、事業内容の改善や新たな事業展開に向けた研修に積極的に参加するなど、前向きな活動となっている。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 576 | 576 | 576 | | | 472 |

## 【施策２３　競技スポーツの振興】

1　ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、スポーツアカデミーにおける事業に取り組みます。
2　国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。
3　市体育協会やスポーツ少年団本部等に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

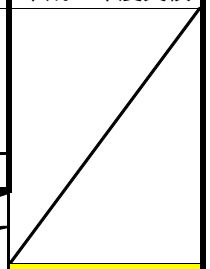
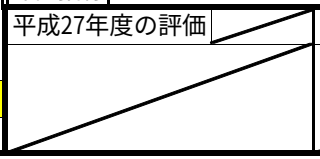
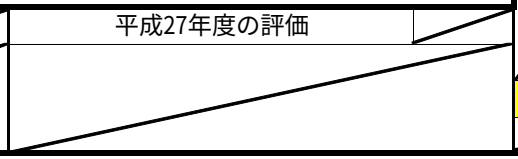
| 8-23-001 | 事業内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | めざす | 続ける | 改善する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スポーツ大会出場支援事業 | 市民の自発的なスポーツ活動の振興を図るため、国際、全国または全道規模のスポーツ大会に出場する選手等に対して、費用の一部を助成する。 | スポーツ大会出場費の助成 | スポーツ大会出場費の助成 | スポーツ大会出場費の助成 | スポーツ振興の一手法として継続。 | | | ◎上位大会への参加を行政が支援することは本市のスポーツ振興にとって必要。 | | | | | スポーツ大会出場費の助成。 |
| | | | | | 評価指標 | 支援件数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 大会出場の支援を行った。対象とする大会などを見直し実施した。 | | | 多くの個人や団体に支援を行い、スポーツ振興に寄与することができた。 | | | | | |
| 市計画<282> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | | | | | | | | 1,741 |

| 8-23-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 改善する | ◎ | | | ○ | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 体育協会活動支援事業 | 市民の積極的なスポーツ活動と振興を図るため、ＮＰＯ法人北広島市体育協会の運営等を支援する。 | 北広島市体育協会への助成 | 北広島市体育協会への助成 | 北広島市体育協会への助成 | 本市のスポーツ振興を担う中核的組織であり、当協会活動の発展、活性化への支援を継続。 | | | ◎競技者の育成、市内のスポーツ競技の普及に取り組む団体を支援することにより、市民の健康づくり、生きがいづくりを推進する。<br>○体育協会への本市事業の一部移管の検討及び協働の推進。 | | | | | 北広島市体育協会に助成 |
| | | | | | 評価指標 | 加盟団体数、会員数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 体育協会への支援は、各スポーツ団体の育成や連携強化につながっている。 | | | 体育協会が主催する各種スポーツ教室やイベントは、加盟団体との協働で実施されており、協会に対する支援の成果と言える。 | | | | | |
| 市計画<284> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 3,118 | 3,118 | 3,118 | | | | | | | | | 3,118 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 8-23-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スポーツ少年団育成事業 | 青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団を支援する。 | スポーツ少年団本部への助成 | スポーツ少年団本部への助成 | スポーツ少年団本部への助成 | 子どものスポーツ振興を担う中核的組織であり、当団体活性化のための支援を継続。 | ◎子どもの健康・体力づくり、健全育成を目的に活動している少年団の支援は重要。<br>○地域における指導者の養成や確保が必要。スポーツアカデミー事業との連携推進。 | スポーツ少年団本部に助成 |
| | | | | | 評価指標：加盟団体数、加盟者数、指導者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：B<br>組織基盤が脆弱であり、連携協働による育成が重要である。 | 平成27年度の評価：A<br>少子化が進む中で加盟者数が維持できているのは、支援の成果と言える。 | |
| 市計画<285> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 453 | 453 | 453 | | | 453 |

| 8-23-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スポーツアカデミー事業 | 全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業を実施する。 | ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施 | ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施 | ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施 | 子どもの体力の強化、社会性を育む人づくり事業として、参加状況やニーズの変化に留意しながら、事業内容の改善を進める。 | ◎生涯に渡ってスポーツに親しむ市民を増やすため、子どものときから、スポーツに親しむ機会を拡充することが必要。<br>○体育協会、スポーツ少年団本部、地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ等との連携。 | ジュニアスポーツリーダー養成、キッズスポーツ塾、種目別（バレーボール、野球、空手）講習会の実施 |
| | | | | | 評価指標：参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：B<br>事業については、１部の事業を除き委託し実施した。 | 平成27年度の評価：A<br>子どもたちの実情に合わせた内容とするため、学校や関係団体の意向を踏まえ、事業を実施した。 | |
| 市計画<290> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 784 | 1,109 | 1,109 | | | 844 |

| 8-23-004-1 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 改善する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スポーツアカデミー事業<br>【拡大】 | 中学校部活動の支援として、アスリート派遣等の事業を実施する。 | 中学校部活動の支援 | 中学校部活動の支援 | 中学校部活動の支援 | 中学校部活動の支援を実施し、ジュニアスポーツの選手強化を図っていく。 | ○全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成が期待される。 |  |
| | | | | | 評価指標：参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価<br>  | 平成27年度の評価<br>  | |
| 市計画<390> | 拡大 | 拡大 | 継続 | 継続 | | | |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 394 | 224 | 224 | | | |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 8-23-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スポーツ賞等表彰事業<br><br>【統合】 | スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手及びスポーツの振興に寄与した者を顕彰する。 | 文化賞・スポーツ賞等表彰事業に統合《平成２７年度終了》 | | | スポーツ振興のため、広く市民に周知する。 | ◎生涯に渡ってスポーツに取り組む市民を増やす。<br>○夢に向かって挑戦する方、スポーツ選手を育てる活動を行っている方を讃えることは、スポーツを振興するうえで、重要な手法である。 | 成績による顕彰１７件、功績による顕彰４件 |
| | | | | | 評価指標：表彰件数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>広報紙を通じ、市民へ被表彰者の周知を行った。 | 平成27年度の評価：A<br>優秀な成績を収めた選手及びスポーツ振興に寄与した者の顕彰を行い、スポーツ振興に寄与することができた。 | |
| 市計画<321> | 継続 | 統合 | 継続 | 継続 | | | 統合 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | | | | | | 597 |

| 8-23-003 | 事業内容 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | めざす / 続ける / 転換する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姉妹都市スポーツ交流事業 | 本市と東広島市の生徒が相互に行き来し、スポーツ交流を実施することにより、友好・親善を深めるとともに、生徒の心身の健全育成を図る。 | 生徒数、部活種目の減少により、選手選抜が困難となってきているなどの理由から休止 | 生徒数、部活種目の減少により、選手選抜が困難となってきているなどの理由から休止 | 生徒数、部活種目の減少により、選手選抜が困難となってきているなどの理由から休止 | 部活動人数の減少による競技種目の偏り等の課題があり、実施方法等を含め見直しを検討する。 | ◎本市と広島県との関係を子供たちに知ってもらう事業の一つとして、また、市内各校の交流、東広島市の人々との交流による人づくりは重要。 | |
| | | | | | 評価指標：参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<287> | 休止 | 休止 | 休止 | 休止 | | | 休止 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | | | | | | |

| 8-23-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全国中学生空手道選抜大会連携事業 | 本市を全国にＰＲするとともに、空手道を通じた青少年の健全育成を図るため、全国中学生空手道選抜大会を開催する。 | ≪Ｈ２７事業終了≫ | | | 市内における空手道競技の普及。大会のスムーズな運営のための点検を怠らない。 | ◎本市を全国にＰＲする事業としての視点は重要。 | 第１０回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 |
| | | | | | 評価指標：大会来場者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>スムーズな大会運営に努めた。空手道教室を開催するなど、空手道競技の普及を図っている。 | 平成27年度の評価：A<br>大会を通じ、本市を全国にPRする取り組みを行った。 | |
| 市計画<291> | 継続 | 終了 | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | | | | | | 4,500 |

## 【施策２４　スポーツ施設の整備と運営】

1　市民が安心して利用しやすいスポーツ･レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。
2　日常的なスポーツ･レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業（全小中学校）をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。
3　運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ･レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 8-24-003 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 改善する | ◎ | | | ○ | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校施設（体育館）開放事業 | 市民の健康維持及び体力向上に資するため、小中学校の体育館を開放してスポーツ活動の場を提供する。 | 市内の全小中学校で実施 | 市内の全小中学校で実施 | 市内の全小中学校で実施 | 小中学校に支障のない範囲で開放し、市民の健康維持及び体力向上を図っていく。 | | | ○スポーツを振興するうえで、平日、身近な地域でのスポーツ練習場所の確保は重要。 | | | | | 小中学校１２校で実施 |
| | | | | | 評価指標 | 利用団体数、利用者数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 団体調整会議を実施し、使用についての周知を実施した。 | | | 前期、後期とも、申し込みをしたすべての団体が利用でき、スポーツ活動の場を提供することができた。 | | | | | |
| 市計画<293> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 5,264 | 5,273 | 5,273 | | | | | | | | | 4,513 |

| 8-24-001 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える | 整える | 改善する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西の里ファミリー体育館改修事業 | 老朽化が著しいことから、屋根や外壁、暖房施設等の改修を行う。 | ≪Ｈ２７事業終了≫ | | | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | | | ◎スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。 | | | | | 改修工事 |
| | | | | | 評価指標 | 進捗率 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 改修工事を実施した。 | | | 改修工事を実施した。 | | | | | |
| 市計画<294> | 継続 | 終了 | | | | | | | | | | | 終了 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | | | | | | | | | | | | 186,214 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 8-24-002 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える / 整える / 改善する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大曲ファミリー体育館改修事業 | 建築後31年が経過し、老朽化が進むとともに、給排水・電気・暖房等の設備の経年劣化が進んでいることから、改修を実施する。 | 実施設計 | 工事監理委託<br>改修工事<br>≪H29事業終了≫ | | 利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。 | ◎スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<206> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 6,100 | 208,500 | | | | |

| 8-24-004 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る / 拡げる / 改善する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 運動広場整備事業 | 市民のスポーツ・レクリエーションや市民の集い・交流・健康づくりの場として運動広場を整備する。 | 整備に向けた調査・検討 | 整備に向けた調査・検討 | 整備に向けた調査・検討 | 総合運動公園計画の基盤整備的事業として計画。整備に向け、課題の整理を行う。 | ◎スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。 | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<322> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 企画課 | 事業費（千円） | 0 | 0 | 0 | | | |

| 8-24-005 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備える / 整える / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自然の森キャンプ場整備事業 | 駐車場が不足していることから、駐車場を整備する。 | 整備に向けた調査・検討 | 整備に向けた調査・検討 | 整備に向けた調査・検討 | 不足している駐車場の拡大、整備に向け、課題の整理を行う。 | ◎自然の中にある同キャンプ場を開放し、心身の健全の増進を図る場を提供する。利用者ニーズに応える施設の運営管理を行っていく | |
| | | | | | 評価指標：進捗率 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | 平成27年度の評価 | |
| 市計画<372> | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 0 | 0 | 0 | | | |

| 事業名<br><br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 8-24-101<br>体育施設管理事業<br><br>（体育施設管理経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 整える / 改善する<br>老朽化している施設が多いことから、点検を怠らない。計画的な修繕を実施していく。<br><br>評価指標：施設利用者数、苦情件数<br><br>平成27年度の評価：A<br>快適に利用できるよう、点検、修繕を行った。 | ◎ / 〇<br>◎スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。<br>〇利用者の意見を反映した、効率的な施設運営が求められている。<br><br>平成27年度の評価：A<br>指定管理者による効率的な施設運営に努めた。 | 平成27年度実績<br>指定管理者による施設の維持管理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 総合体育館、緑葉公園体育施設、住民プール、地区体育館、自然の森キャンプ場の管理を行う。 | 指定管理者による施設の維持管理<br><br>経常94,000千円<br>臨時3,132千円 | 指定管理者による施設の維持管理 | 指定管理者による施設の維持管理 | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 97,132 | 97,132 | 97,132 | | | 105,788 |

# 【政策1～8を支える経常経費】

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 9-00-101 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育委員に関する経費<br>（教育委員会運営経費） | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置<br>教育委員の報酬など<br>教育委員会会議の開催経費<br>教育長交際費<br>全道都市教委連総会負担金 | 教育委員会会議<br>20回開催<br>全道都市教委連総会 | 教育委員会会議<br>20回開催<br>全道都市教委連総会 | 教育委員会会議<br>20回開催<br>全道都市教委連総会 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | ◎教育委員会、委員研修会を開催する。 | | | | | 教育委員会会議17回開催<br>全道都市教委連総会（苫小牧市） |
| | | | | | 評価指標 | 開催回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 研修を積極的に行うなど、教育施策の推進に向け対応している。 | | | 北広島の教育に対し幅広く対応している。教育委員会を活用した研修会を計画的に実施した。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 3,064 | 3,064 | 3,064 | | | | | | | | | 3,095 |

教育委員会事務局運営経費

| 9-00-102 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校業務主事に関する経費<br>（教育委員会事務局運営経費） | 学校業務主事の任用 | 学校業務主事<br>14名任用<br>人件費・被服費用<br>危険物保安講習受講手数料 | 学校業務主事<br>14名任用<br>人件費・被服費用<br>危険物保安講習受講手数料 | 学校業務主事<br>14名任用<br>人件費・被服費用<br>危険物保安講習受講手数料 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | ◎学校の教育環境をいち早く把握し、対応する。修繕等学校管理に関するの経費を節減する。 | | | | | 学校業務主事<br>14名任用<br>人件費・被服費用<br>危険物保安講習受講手数料 |
| | | | | | 評価指標 | — | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 学校環境の保全のため、草刈り、除雪、軽微な修繕を積極的に行った。 | | | 児童生徒の安全確保、学校環境の保全に努めた。また、軽微な修繕、教材の作製などは学校経費節減となっている。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 31,837 | 31,837 | 31,837 | | | | | | | | | 31,868 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 9-00-103<br>教育委員会事務局運営経費<br>（教育委員会事務局運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 教育長ほか職員旅費<br>被服費・事務経費<br>石狩教育研修センター組合分担金<br>その他分担金・負担金 | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金、会議録作成支援委託 | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金、会議録作成支援委託 | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金、会議録作成支援委託 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | ◎教育委員会事務局を円滑に運営する。 | | | | | 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金 |
| | | | | | 評価指標 | — | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 教育施策を着実に推進している。 | | | 教育委員会の運営を円滑に推進している。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 7,013 | 7,013 | 7,013 | | | | | | | | | 6,489 |

| 9-00-104<br>教職員永年勤続表彰<br>（教育委員会事務局運営経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。 | 伝達式（教職員永年勤続表彰）の実施 | 伝達式（教職員永年勤続表彰）の実施 | 伝達式（教職員永年勤続表彰）の実施 | 北海道教育委員会に代わり。永年勤務した教職員に対して、業績を称える式典を実施。 | | | ◎永年勤務した教職員に対して、その業績を称え、今後の活躍を期待する。 | | | | | 伝達式（教職員永年勤続表彰者11名）を8月に実施 |
| | | | | | 評価指標 | 表彰者数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 永年勤続表彰伝達式を実施。 | | | 永年勤務した教職員に対して、道教委からの賞状を伝達し、これまでの業績を称えるとともに、今後のさらなる活躍を期待する伝達式を実施。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 3 | 3 | 3 | | | | | | | | | 3 |

教育振興経費

| 9-00-105<br>「きたひろしまの教育」作成<br>（教育振興経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を編集・製本・発行する。 | 発行に係る用紙代・製本代・郵送代 | 発行に係る用紙代・製本代・郵送代 | 発行に係る用紙代・製本代・郵送代 | 市の教育理念の達成と、教育基本計画推進のため、毎年のデータを蓄積する。 | | | 本誌に掲載するデータが教育の各分野で利用されるよう、教育活動全般にわたる視点をもって編集・発行する。 | | | | | 300冊6月発行に係る用紙代・製本代 |
| | | | | | 評価指標 | — | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 各種データ等を更新し、学校統合事業の内容を掲載して作成した。 | | | 本市の教育に係る広範な情報を掲載し、各分野で利活用された。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 79 | 79 | 79 | | | | | | | | | 75 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

| 9-00-106 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 創る | 続ける | 点検する | ◎ | | | | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北広島市教育施策審議会<br><br>（教育振興経費） | 学識者２名、学校関係者２名、社会教育関係者２名、公募１名で構成し、教育施策に関する審議及び教育委員会の事務事業に関する点検評価を行う。<br><br>平成２３年１１月設置 | 年間6回会議を開催 | 年間6回会議を開催<br>改選年 | 年間6回会議を開催 | 教育基本計画を着実に推進するため、教育委員会の事務事業を客観的に点検する。 | | | 教育委員会の事務事業に関する点検評価は、教育基本計画の進行管理と見直し、及び教育政策の着実な推進に必要であり、教育活動全般にわたる視点が必要である。 | | | | | 5回審議会を開催<br>点検評価報告書への意見<br>教育推進計画（H28～29）の検討 |
| | | | | | 評価指標 | 会議開催回数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 平成２６年度点検評価に対する意見等を得た。教育推進計画（平成２８～３０年度）の策定を諮問し、答申を得た。 | | | ２６年度点検評価及び教育推進計画（平成２８～３０年度）に関する審議を中心に活動した。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 312 | 312 | 312 | | | | | | | | | 300 |

| 9-00-107 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会負担金<br><br>（教育振興経費） | 小中学校で使用する教科用図書を採択するため、第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加する。 | 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会への参加 | 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会への参加 | 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会への参加<br>臨時分（採択調査負担金）<br>Ｈ３１年度より使用する小学校用図書採択 | 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会を通して教科書用図書を選定する必要がある。 | | | ◎小中学校で使用する教科用図書を採択するには、第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加する必要がある。 | | | | | 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加することにより、地域の特性を踏まえ、公平で透明性のある教科書採択事務を進めることができた。 |
| | | | | | 評価指標 | 協議会への参加状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 第一地区教科用図書採択委員会協議会に参加した。 | | | 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加することにより、地域の特性を踏まえ、公平で透明性のある教科書採択事務を進めることができた。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 0 | 0 | 198 | | | | | | | | | 112 |

教員住宅管理経費

| 9-00-108 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教員住宅管理<br><br>（教員住宅管理経費） | 校長・教頭管理者住宅、教員住宅に関する経費 | 校長・教頭管理者住宅電話料<br>教員住宅修繕料 | 校長・教頭管理者住宅電話料<br>教員住宅修繕料 | 校長・教頭管理者住宅電話料<br>教員住宅修繕料 | 市の教育施策を継続し、着実に進める。 | | | ◎校長、教頭に対し、学校の管理を迅速に行うため、市内に住宅を提供する。また、一般教職員等に対し住宅を提供する。 | | | | | 校長・教頭管理者住宅電話料<br>教員住宅修繕料 |
| | | | | | 評価指標 | 入居状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 管理者住宅、教員住宅の維持管理、修繕を行っている。 | | | 老朽化に伴う修繕、安全の確保に努めている。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 2,446 | 2,446 | 2,446 | | | | | | | | | 8,000 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

## 小学校管理経費

| 9-00-109 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小学校運営経費<br>（小学校管理経費） | 事務補助員の任用<br>業務主事の旅費<br>消耗品費<br>印刷製本費 | 小学校運営経費 | 小学校運営経費 | 小学校運営経費 | 学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | | | ◎学習環境の充実のため、学校運営にかかる補助員の配置、印刷経費等ランニングコストについては節減喚起、各学校に取り組んでもらう。 | | | | | 小学校運営経費 |
| | | | | | 評価指標 | ― | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | | | | |
| | | | | | 経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。 | | | 学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 26,111 | 26,111 | 26,111 | | | | | | | | | 26,049 |

| 9-00-110 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小学校管理経費<br>（学校教育課関係分）<br>（小学校管理経費） | 全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料<br>H25から水質検査は学校管理費で実施 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理。 | | | 共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図る必要がある。 | | | | | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 |
| | | | | | 評価指標 | 印刷物の発注及び水質検査実施状況 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | | | | |
| | | | | | 指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成した。 | | | 共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 75 | 75 | 75 | | | | | | | | | 75 |

## 中学校管理経費

| 9-00-111 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中学校運営経費<br>（中学校管理経費） | 事務補助員の任用<br>業務主事の旅費<br>消耗品費<br>印刷製本費 | 中学校運営経費 | 中学校運営経費 | 中学校運営経費 | 学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。 | | | ◎学習環境の充実のため、学校運営にかかる補助員の配置、印刷経費等ランニングコストについては節減喚起、各学校に取り組んでもらう。 | | | | | 中学校運営経費 |
| | | | | | 評価指標 | ― | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | A | | | | |
| | | | | | 経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。 | | | 学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 教育総務課 | 事業費（千円） | 19,359 | 19,359 | 19,359 | | | | | | | | | 19,423 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く / 励む / 挑む<br>平成27年度の評価 | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 / 社会貢献人材育成 / 産学官民の連携 / 地域の教育力 / 総合的な教育施策<br>平成27年度の評価 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|

| 9-00-112<br>中学校管理経費<br>（学校教育課関係分）<br>（中学校管理経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料<br>H25から水質検査は学校管理費で実施 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 | 指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理 | 共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図る必要である。 | 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付 |
| | | | | | 評価指標：印刷物の発注及び水質検査実施状況 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成した。 | 平成27年度の評価：A<br>共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 学校教育課 | 事業費（千円） | 82 | 82 | 82 | | | 82 |

社会教育経費

| 9-00-113<br>社会教育事務経費<br>（社会教育経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 社会教育関係団体登録事務<br>その他事務経費<br>生涯学習協会負担金 他 | 社会教育関係団体登録事務<br>その他事務経費<br>生涯学習協会負担金他 | 社会教育関係団体登録事務<br>その他事務経費<br>生涯学習協会負担金他 | 社会教育関係団体登録事務<br>その他事務経費<br>生涯学習協会負担金他 | 社会教育関係団体登録等に係る事務手続きを円滑に進める。 | 社会教育事業の実施のための事務手続き等を円滑に進める。 | 社会教育関係団体登録事務<br>その他事務経費<br>生涯学習協会負担金他 |
| | | | | | 評価指標：― | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>適切な事務処理に努めた。 | 平成27年度の評価：A<br>状況に応じて適切に事務手続きを進めた。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 191 | 191 | 191 | | | 83 |

| 9-00-114<br>社会教育委員<br>（社会教育経費） | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす / 続ける / 点検する | ◎ / ○ | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 社会教育法に基づき委嘱<br>生涯学習に関する諸計画の立案・助言を行う<br>全道管内協議会への参加 | 社会教育委員11名の報酬<br>道社連協研修大会<br>他 | 社会教育委員11名の報酬<br>道社連協研修大会<br>他 | 社会教育委員11名の報酬<br>道社連協研修大会<br>他 | 平成27年度より新たな2カ年の任期により協議を進める。 | 市民と行政を結ぶ役割を担っている社会教育委員から、社会教育に関する提言等をいただき、具体的施策に反映していく。 | 社会教育委員11名の報酬<br>道社連協研修大会<br>根室開催 |
| | | | | | 評価指標：会議開催数、大会参加者数 | | |
| | | | | | 平成27年度の評価：A<br>具体的な協議内容を提示し、活発な議論が進められるよう努めた。 | 平成27年度の評価：A<br>研修会への派遣や会議運営に工夫をし、会議において活発な議論がなされるよう進め、適切に意見が反映されるよう進めることが必要である。 | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 462 | 462 | 462 | | | 207 |

| 事業名<br>（担当課） | 事業内容 | 年度計画 | 期待されるアクション<br>懐く | 励む | 挑む | 特に必要とする視点<br>生涯学習環境整備 | 社会貢献人材育成 | 産学官民の連携 | 地域の教育力 | 総合的な教育施策 | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 平成27年度の評価 | | | 平成27年度の評価 | | | | | |

保健体育事務経費

| 9-00-115 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| スポーツ推進審議会<br><br>（保健体育事務経費） | スポーツの振興に関する事項について調査・審議し教育委員会に建議する | 審議会委員5名<br>報酬<br>費用弁償 | 審議会委員5名<br>報酬<br>費用弁償 | 審議会委員5名<br>報酬<br>費用弁償 | 本市のスポーツ振興に係る方策等について意見を求める。 | | | 審議会の意見の反映。 | | | | | 審議会２回開催 |
| | | | | | 評価指標 | 会議開催数 | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | スポーツ賞受賞候補者の諮問を行い答申を得た。 | | | 答申のとおりの受賞者の決定となった。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 128 | 128 | 128 | | | | | | | | | 54 |

| 9-00-116 | 事業内容 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | めざす | 続ける | 点検する | ◎ | | | | | 平成27年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保健体育事務経費<br><br>（保健体育事務経費） | 借上車経費<br>その他事務費 | 借上車経費<br>その他事務費 | 借上車経費<br>その他事務費 | 借上車経費<br>その他事務費 | スポーツ関連事業の運営に欠かせない経費。<br>借上車の更新も必要。 | | | スポーツ関連事業の円滑な運営に欠かせない借上車の運行管理。 | | | | | 借上車経費<br>その他事務費 |
| | | | | | 評価指標 | — | | | | | | | |
| | | | | | 平成27年度の評価 | A | | 平成27年度の評価 | | | | A | |
| | | | | | 予定どおり事業を実施することができた。 | | | 事業を実施するうえで、最適な環境を整備できた。 | | | | | |
| 経常経費 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | | | | | | 継続 |
| 社会教育課 | 事業費（千円） | 595 | 595 | 595 | | | | | | | | | 615 |

# Ⅳ　施策の成果・目標指標

## 政策1 「生きる力」を育む学校教育の推進

### 施策1 幼児教育の振興・充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 幼児教育、障がい児入園の支援 | 市が幼稚園の教職員研修、教材費、障がい児入園に対して助成している割合 | 幼 | 100%<br>(H27) | → | 幼稚園助成実績 |
| 幼稚園、保育園、小学校の連携 | 小学校への円滑な接続を図るために幼稚園や保育所と連携・協力した取組を行っている小学校の割合 | 小 | 100%<br>(H27) | → | 教育活動等に関する調査（道教委） |
| 幼保小連携事業の参加者数 | 「幼保小連携アクションプラン」事業への参加者数 | 幼・保・小<br>市民 | 419人<br>(H27) | ↗ | 教育総務課集計 |

### 施策2 豊かな心を育む教育の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 考え議論する道徳授業への実践と積み上げ | 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合 | 小 | 96.5%<br>(H27) | 100% | 学校教育の推進方針 |
| | | 中 | 91.1%<br>(H27) | 100% | |
| | 考え議論する道徳授業の実践交流を行った学校の割合 | 小・中 | H28から | 90% | 学校教育の推進方針 |

### 施策3 確かな学力を育てる教育の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 課題提示とまとめや振り返りによる授業展開 | 授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示され、授業の最後に学習の内容を振り返る活動が行われている学校の割合 | 小 | 82.7%<br>(H27) | 90% | 学校教育の推進方針 |
| | | 中 | 64.4%<br>(H27) | 75% | |
| | 課題提示、振り返りを意識した授業づくりのための校内研修を実施している学校の割合 | 小・中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| 中学校区でのスタンダードの策定と実践 | 児童生徒アンケートにおいて、中学校区スタンダードを意識した生活を送っていると回答した児童・生徒の割合 | 小・中 | H28から | 70% | 学校教育の推進方針 |
| | 学校アンケートにおいて、スタンダードの家庭・地域への普及啓発に取り組んだと回答した学校の割合 | 小・中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |

### 施策4 健やかな体を育てる教育の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 体力向上の推進 | 授業以外でも自主的に運動したいと回答した小学校5年生の割合 | 小5男 | 73.6%<br>(H27) | 80% | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（道教委・文科省） |
| | | 小5女 | 65.4%<br>(H27) | 70% | |
| 望ましい食習慣の推進 | 「朝食を毎日食べていますか」の設問に対して、「食べている」と回答した児童・生徒の割合 | 小 | 93.7%<br>(H27) | 100% | 全国学力・学習状況調査（道教委・文科省） |
| | | 中 | 96.8%<br>(H27) | 100% | |

施策5 ＩＣＴの活用による教育の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| ICT等を活用した授業実践と改善 | 電子黒板、タブレット、実物投影機などICT機器を活用した授業が行われていると回答した児童生徒の割合 | 小･中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| | 小学校教育用タブレット月別使用回数の全校平均 | 小 | 4.1回<br>(H27.6～2月少ない学校) | 10回以上 | 学校教育の推進方針 |
| | 中学校デジタル教科書月別利用回数の全校平均 | 中 | 1回<br>(H26少ない学校) | 20回以上 | 学校教育の推進方針 |

施策6 特別支援教育の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 児童生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育支援の実施 | 特別な支援を必要とする児童生徒に教育的な支援行っている学校の割合 | 小･中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| | 特別支援コーディネーターによる校内支援会議を実施している学校の割合 | 小･中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |

施策7 社会の変化や課題に対応した教育の推進

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| キャリア教育の推進と「きたひろ夢ノート」の実践検証 | 小中の接続を意識したキャリア教育の指導計画の整備を行っている学校の割合 | 小･中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| | 「夢ノートの活用」が図られている学校の割合 | 小･中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| 外国語（英語）教育の充実 | 外国語活動にかかわって中学校教員による出前授業や合同での指導案作成など、中学校と連携している小学校の割合 | 小 | 100%<br>(H27) | → | 教育活動等に関する調査（道教委） |
| 防災教育の充実 | 地震などの発生を想定した防災訓練を実施している学校の割合 | 小･中 | 100%<br>(H27) | → | 公立･小･中学校の体育･保健･安全に関する調査（道教委） |

**政策2　信頼され、魅力ある学校づくりの推進**

施策8 開かれた学校づくりの推進

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 地域への学校資源の提供 | 年間指導計画（各教科の進度を示す計画表）の保護者等へ公表している小・中学校の割合 | 小 | 44.4%（H27） | ↗ | 教育活動等に関する調査（道教委） |
| | | 中 | 57.1%（H27） | ↗ | |
| | コミュニティ・スクールに指定されている小・中学校数 | 小・中 | 2校（H27） | ↗ | ｺﾐｭﾆﾃｨ・ｽｸｰﾙ(学校運営協議会制度)等の指定・検討状況等調査(文科省) |

施策9 教育環境の整備

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 9年間を見とおした指導計画の立案・作成 | 小中学校で連携して「教科等の指導」、「その他教育活動の指導計画」の見直しを行った学校の割合 | 小・中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| | 校内に小中連携組織を設置した学校の割合 | 小・中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| 学校区での授業交流と合同研修の実施 | 中学校区内で小中合同の授業交流を行った学校の割合 | 小・中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |
| | 「小中一貫についての合同研修会を実施した学校の割合 | 小・中 | H28から | 100% | 学校教育の推進方針 |

**政策3　やさしく支えあう教育連携の推進**

施策10 家庭の教育力向上への支援内容の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 家庭、地域と連携を図った学習・生活習慣の確立 | 家族とｽﾏｰﾄﾌｫﾝ、ﾃﾚﾋﾞ、ｹﾞｰﾑなどの使い方や見方、やり方について約束をしている児童・生徒の割合 | 小・中 | H28から | 70% | 学校教育の推進方針 |
| | 家庭学習を小学校6年生は1時間以上、中学校3年生は 1時間30分以上実施している児童・生徒の割合 | 小 | 64.2%（H27） | 80% | 学校教育の推進方針<br>社会教育の推進方針 |
| | | 中 | 64.0%（H27） | 80% | |
| 「子ども朝活」事業の実施（地区）数 | 子どもの生活習慣づくり事業「子ども朝活」事業を実施している地区数 | 市民 | 1地区（H27） | 5地区 | 社会教育の推進方針 |

施策11 教育相談体制の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 不登校児童生徒割合 | 不登校を理由として30日以上の欠席をした児童生徒の全児童生徒に対する割合 | 小・中 | 0.59%（H26） | ↘ | 社会教育の推進方針 |
| 復帰した児童生徒の割合 | 不登校となった児童生徒が学校へ復帰した児童生徒数 | 小・中 | 11.8%（H26） | ↗ | 社会教育の推進方針 |

施策12 地域が支える健全育成活動の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 青少年健全育成活動への参加者 | 青少年健全育成連絡協議会などの健全育成活動への参加者数 | 市民 | 1,698人（H26） | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 非行・問題行動等の報告数 | 市内各小中学生による非行・問題行動等の1年間の合計報告数 | 小・中 | 6件（H26） | ↘ | 社会教育の推進方針 |
| 不審者等の事案数 | 市内での変質者・不審者等の1年間の発生件数 | ― | 25件（H26） | ↘ | 社会教育の推進方針 |

## 政策4　学びあい、教えあう社会教育の推進

### 施策13 市民の学習活動への支援内容の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生涯学習活動の機会の充実に対する市民の満足度 | 市民意識調査による現状の満足度 | 市民 | 52.6%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 元気フェスティバル来場者数 | 学習成果の発表の場である元気フェスティバルに来場した人数（実行委員会関係者を含む来場者数（概算） | 市民 | 3,000人<br>(H27) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 生涯学習振興会設置数 | 学びを通したコミュニティの活性化、人づくりのため地域住民が参画する生涯学習振興会の設置数 | 市民 | 4箇所<br>(H27) | 5箇所 | 社会教育の推進方針<br>※総合計画指標 |

### 施策14 地域や世代を見据えた学習機会の充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国際交流事業参加者数 | 国際交流に関する事業に参加した人数 | 高校生 | 34人<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| フレンドリーセンター運営事業の定員充足率 | 障がい児者に学び、交流する場を提供しているフレンドリーセンター事業への定員充足率 | 障がい児者 | 81.8%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

### 施策15　施設の充実による学習環境の整備

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 公民館の利用者数 | 中央公民館、西の里公民館の利用人数 | 市民 | 32,538人<br>(H25) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| レクリエーションの森の利用者数 | 林間学園・レクリエーションの森を利用した人数 | 市民 | 29,214人<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

## 政策5　郷土愛を育む教育活動の推進

### 施策16　エコミュージアム構想の展開

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| まるごときたひろ博物館員数 | 市民大学修了者を「まるごときたひろ博物館員」に認定。 | 市民 | 93人<br>(H27) | 140人 | 社会教育の推進方針 |
| サテライトの指定数 | サテライト候補地を指定地とする件数 | サテライト | 0件<br>(H26) | 5件 | 社会教育の推進方針 |

### 施策17　文化財の保存と活用

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市の歴史や文化に対する意識の浸透に対する市民の満足度 | 市民意識調査による現状の満足度 | 市民 | 51.7%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 旧島松駅逓所年間来観者数 | 開館期間中の来館者数 | 市民ほか | 7,142人<br>(H27) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

## 政策6　生涯にわたる読書活動の推進

### 施策18　図書館サービスの充実

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 図書活動に親しむ機会や環境の充実に対する市民満足度 | 市民意識調査による現状の満足度 | 市民 | 65.9<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 図書館の年間貸出冊数 | 市民一人当たりへの年間貸出冊数（図書館・地区図書館） | 市民 | 8.4冊<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 図書館利用登録者の市民割合 | 図書館の館外貸出登録をしている市民の割合で、図書館のサービスの住民に浸透度 | 市民 | 41.0%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

### 施策19　子どもの読書活動推進

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 「小豆」設置園の割合 | 幼児図書巡回事業「小豆」の幼稚園・保育園に対する割合 | 幼・保 | 21.0%<br>(H27) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 「豆次郎」の利用状況 | 「豆次郎」の一人1ヶ月あたりの利用冊数 | 小学校 | 10冊<br>(H27.8～12) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 図書館で活動するボランティア団体数 | 図書館で活動する関係ボランティア団体数 | 市民 | 10団体<br>(H27) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

## 政策7　芸術文化活動の振興

### 施策20　個性豊かな地域文化の振興

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 芸術や文化に触れ親しむ機会の充実に対する市民満足度 | 市民意識調査による現状の満足度 | 市民 | 59.3%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 芸術文化ホール利用者数 | 芸術文化ホール（ホール・楽屋・ギャラルー・活動室・練習室）の利用者数 | 市民 | 95,433人<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 文化賞等の受賞者数 | 優れた芸術文化の活動による、文化賞等の受賞者数 | 市民 | 9件<br>(H27) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

### 施策21　市民等との連携による芸術文化活動の展開

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運営委員会事業参加者数 | 芸術文化ホール運営委員会主催事業への参加者数 | 市民 | 8,562人<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| 運営委員会主催事業の定員充足率 | 芸術文化ホール運営委員会主催事業の定員の充足率 | 市民 | 73%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| ボランティア登録者数 | 芸術文化ホールを支えるボランティアの登録者数 | 市民 | 34人<br>(H27) | 50人 | 社会教育の推進方針 |

## 政策8　健康づくりとスポーツ活動の推進

### 施策22　健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運動・スポーツが好きな児童生徒の割合 | 児童（小学校5年生）、生徒（中学2年生）に対するアンケートの結果 | 小5 | 小96.7%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| | | 中2 | 中87.6%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会や環境の充実に対する市民満足度 | 市民意識調査による現状の満足度 | 市民 | 10団体<br>(H27) | ↗ | 社会教育の推進方針 |
| スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の定員充足率 | 市教育委員会が主催するスポーツ大会、スポーツ教室・講習会への定員充足率 | 市民 | 82.3%<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

### 施策23　競技スポーツの振興

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| スポーツ大会への出場支援数 | 全道・全国・国際大会への出場支援の件数 | 市民 | 37件（125人）<br>(H26) | ↗ | 社会教育の推進方針 |

### 施策24　スポーツ施設の整備と運営

| 成果指標 | 指標の概要 | 対象 | 基準値 | 目標値 | 指標の根拠 |
|---|---|---|---|---|---|
| 体育施設の利用者数 | 総合体育館、各地区体育館、プール、テニスコート、緑葉公園野球場、自然の森キャンプ場、相撲場の利用者数 | 市民 | 280,472人<br>(H26) | 290,000人 | 市総合計画<br>社会教育の推進方針 |

北広島市教育基本計画(2011-2020)
推進計画《平成 28～30 年度》

◆◇◆◇◆

【担当】教育部教育総務課
☎ ０１１－３７２－３３１１

**[表紙写真]**

史跡旧島松駅逓所の池に咲く「ハス」
北広島フォトクラブ　松田 光浩 氏　撮影（2008 年 8 月）

**[解　説]**

駅逓所の「ハス」は、中山久蔵が道南の大野町（現在の北斗市）から、水稲「赤毛」の種もみとともにレンコン（蓮根）を食用にと持ち込み、明治６年（1873 年）に久蔵宅の池（通称ハス池）で栽培を始めたことに由来する。

「ハス」は越冬が難しく、寒冷地に生息するのは珍しい。

久蔵が栽培したハスも一時的に姿を消したが、平成 3 年（1991 年）にハス根を再び移植し、復元された。例年、８月上旬から咲き始め、鮮やかなピンク色の花が訪れる人の心を和ませている。

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **第3章　大志をいだき学ぶまち　～人と文化を育む８つの政策と２４の施策～** | | | | | | |
| **政策１　「生きる力」を育む学校教育の推進** | | | | | | |
| **施策1　幼児教育の振興・充実** | | | | | | |
| 1　多様な体験を重視した特色ある幼児教育を奨励するとともに、障がい児の幼稚園への入園を支援します。 | | | | | | |
| 2　家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。 | | | | | | |
| 3　教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動を支援します。 | | | | | | |
| 200　幼稚園就園奨励費事業 | 児童家庭課 | 93,792 | 78,090 | 79,342 | 79,342 | 継続 |
| 私立幼稚園に通園する市内在住園児の保護者に入園料、保育料等の減免措置を行う。幼稚園の設置者に対し減免措置分を支援する。 | | | | | | |
| 201　幼稚園就園準備支援事業 | 児童家庭課 | ＜1,148＞ | 1,342 | 1,148 | 1,148 | 継続 |
| 幼稚園が実施する満2歳児を対象とした子育て支援事業の参加に係る保護者負担を支援する。 | | | | | | |
| 202　幼稚園協会連携事業 | 教育総務課 | 160 | 160 | 162 | 162 | 継続 |
| 市内私立幼稚園８園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。 | | | | | | |
| 203　幼稚園振興事業 | 教育総務課 | 6,886 | 6,886 | 6,977 | 6,977 | 継続 |
| 幼児教育の振興と保護者の負担軽減を図るため、幼稚園教員研修、幼児教育における教材教具、障がい児教育における教材教具並びに人件費等の経費を助成する。 | | | | | | |
| 376　幼保小連携推進事業 | 学校教育課 | 0 | 100 | 110 | 110 | 継続 |
| 幼児教育から学校教育への移行にあたり、幼稚園、保育園、小学校が抱える問題点を整理するための懇話会を設置し、スムーズな移行を図るための連携、懇話及び研修を行う。 | | | | | | |
| **施策2　豊かな心を育む教育の充実** | | | | | | |
| 1　人を思いやる心や人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。 | | | | | | |
| 2　基本的な倫理観や思いやりの心などを育む教育を推進します。 | | | | | | |
| 3　いじめ、不登校やさまざまな問題に適切な対応をするとともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。 | | | | | | |
| 4　豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。 | | | | | | |
| 250　心の教室相談事業 | 学校教育課 | 6,219 | 6,050 | 6,198 | 6,198 | 継続 |
| 児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図るとともに、いじめや不登校の未然防止と早期把握を図るため、小中学校に心の教室相談員を配置する。 | | | | | | |
| 252　創意工夫展・書写展事業 | 学校教育課 | 183 | 175 | 177 | 177 | 継続 |
| 児童生徒の科学技術に対する興味関心を高め、創意・創造性を育成するとともに、日本伝統の毛筆・硬筆を通じて個性の伸長と豊かな情操の涵養を図るため、創意工夫展及び書写展を開催する。 | | | | | | |
| 301　学校教育振興事業 | 教育総務課 | 7,842 | 7,842 | 7,982 | 7,982 | 継続 |
| 児童生徒の「生きる力」を育み、自ら課題を見つけ、主体的、創造的に取組む資質を養う総合学習や、学校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ事業を推進する。 | | | | | | |
| 302　地域に根ざした特色ある学校教育推進事業《旧：心の教育推進事業》郷土資料教材化事業を統合 | 学校教育課 | 34 | 403 | 5,452 | 403 | 統合 |
| 児童･生徒に基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、自尊感情や思いやり、ｷｬﾘｱ教育など、社会科、道徳を中心にした「生きる力」を育む教育の充実に取り組む。 | | | | | | |
| 303　学校図書館活用事業 | 学校教育課 | 15,299 | 16,771 | 15,770 | 15,770 | 継続 |
| 学校図書センターを中心とし、ネットワークを活用した蔵書の有効活用を図るとともに、学校司書を各小中学校に巡回配置し、選書や図書館の環境整備等、学校図書館の活性化を図る。 | | | | | | |
| **施策3　確かな学力を育てる教育の充実** | | | | | | |
| 1　基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。 | | | | | | |
| 2　総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。 | | | | | | |
| 3　学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。 | | | | | | |
| 4　学力検査等の結果を生かした指導方法の工夫改善を進めます。 | | | | | | |
| 306　学力向上推進事業 | 学校教育課 | 5,367 | 5,367 | 5,474 | 5,474 | 継続 |
| 市全体の学習状況を捉え、本市の課題を明らかにするとともに、子どもの学習意欲を高める指導内容や個に応じた指導方法の工夫・改善について研究、実践に取り組み、学力向上の指導の充実を図る。 | | | | | | |
| 304　学校教育相談員活用事業 | 学校教育課 | 2,381 | 2,403 | 2,421 | 2,421 | 継続 |
| 学校を取り巻く環境は非常に複雑化してきており、課題も指摘されていることから、それらの課題を的確に取り組んでいくために、専門的知識や経験豊富な教員経験者を配置する。 | | | | | | |
| 経常　小学校教育振興経費 | 教育総務課 | 8,112 | 13,811 | 13,811 | 13,811 | 継続 |
| 小学校教育振興経費　教材・教具教育環境の整備　経常分13,746千円　臨時分 65千円 | | | | | | |
| 経常　中学校教育振興経費 | 教育総務課 | 10,934 | 17,061 | 17,061 | 17,061 | 継続 |
| 中学校教育振興経費　教材・教具教育環境の整備　経常分11,606千円　臨時分5,455千円（吹奏楽部楽器購入等） | | | | | | |
| **施策4　健やかな体を育てる教育の充実** | | | | | | |
| 1　健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組を推進します。 | | | | | | |
| 2　食の正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、家庭や地域と連携した食育を推進します。 | | | | | | |
| 3　安全で安心な給食を提供するため、施設・設備の整備を促進するとともに、食物アレルギーや異物混入に対する取組を進めます。 | | | | | | |
| 4　児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。 | | | | | | |
| 207　学校給食衛生管理事業 | 給食センター | 3,850 | 4,403 | 7,862 | 8,022 | 継続 |
| 食品等の安全衛生管理が最も重要であることから、施設設備機器類を整備、更新するとともに微生物検査等を実施し、徹底した衛生管理を実施して安全で安心な給食を提供する。 | | | | | | |
| 208　食に関する指導の推進事業 | 給食センター | 90 | 62 | 64 | 64 | 継続 |
| 児童・生徒が生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。 | | | | | | |
| 350　学校給食費公会計化事業 | 給食センター | 0 | 9,555 | 4,627 | 4,627 | 継続 |
| 適正で透明な会計処理及び給食費収納に係る教職員の事務負担の軽減のため、学校給食費の公会計化を実施。給食費収納管理システムを構築し、収納管理体制を整備する。 | | | | | | |
| 223　中学校体育連盟支援事業 | 教育総務課 | 5,323 | 5,323 | 5,411 | 5,411 | 継続 |
| 北広島市中学校体育連盟が実施する市内、管内大会を通じて、中学生の体位、体力の向上、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成を図るため、同連盟に事業費を交付する。 | | | | | | |
| 225　全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業 | 教育総務課 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 継続 |
| 中学校の生徒が、日本及び北海道中学校体育連盟主催大会に出場する場合や、予選大会を経て全道規模以上の文化部活動大会等に出場する費用の一部を助成する。 | | | | | | |
| 377　子どもの体力向上推進研究事業 | 学校教育課 | 0 | 440 | 440 | 440 | 新規 |
| 義務教育9年間を修了するにふさわしい生活習慣、運動能力・体力の育成に向けて、幼保小中連携した体育授業や学校教育活動全体の充実を図る。 | | | | | | |
| 経常　学校保健事業 | 学校教育課 | 14,352 | 14,645 | 14,645 | 14,645 | 継続 |
| 児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、定期健康診断や定期歯科検診等の各種検診事業を実施する。小学校9,214千円　中学校5,431千円 | | | | | | |
| 経常　スポーツ振興センター負担金等 | 学校教育課 | 4,612 | 4,561 | 4,561 | 4,561 | 継続 |
| 学校管理下において児童生徒に事故（けが）があった場合の医療費等への補償に対応する。学校スポーツ振興センターへの加入　小学校2,885千円　中学校1,706千円 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常　北広島市小・中学校給食運営委員会経費 | 給食センター | 714 | 872 | 554 | 198 | 継続 |
| 学校給食の運営を適正かつ円滑に行うため教職員・保護者及び学校医等から助言を受ける。運営委員13名　委員会5回開催　小学校436千円　中学校436千円 | | | | | | |
| 経常　学校給食施設維持管理経費 | 給食センター | 14,651 | 11,307 | 10,142 | 10,142 | 継続 |
| 学校給食を提供するための施設維持管理経費　小学校1,669千円　臨時2,106千円　営繕1,188千円　中学校3,590千円　臨時2,754千円 | | | | | | |
| 経常　学校給食運営経費 | 給食センター | 256,022 | 247,542 | 256,022 | 256,022 | 継続 |
| 学校給食を提供するための運営経費　栄養士3名・ボイラー技士2名　小学校8校　中学校6校　札幌養護学校1校　小109,603千円　中137,939千円 | | | | | | |
| 経常　北海道学校給食研究協議会負担金 | 給食センター | 37 | 36 | 37 | 37 | 継続 |
| 学校給食に係る調査研究及び情報交換行い学校給食の向上を図るための北海道給食研究協議会運営経費 | | | | | | |
| **施策5　ＩＣＴ活用による教育の充実** | | | | | | |
| 1　学びの充実を図るため、積極的にＩＣＴを活用するとともに、指導方法・指導体制の工夫改善を進めます。 | | | | | | |
| 2　教員のＩＣＴ活用指導力向上のための研修等を充実します。 | | | | | | |
| 212　学校ＩＣＴ環境整備事業 | 教育総務課 | 66,906 | 71,416 | 73,483 | 76,868 | 継続 |
| 情報処理能力の向上、ICTを活用した授業による学力の向上、校務処理の効率化を図るため、教育用、校務用PC、周辺機器等の計画的な更新を行う。 | | | | | | |
| **施策6　特別支援教育の充実** | | | | | | |
| 1　通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。 | | | | | | |
| 2　特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。 | | | | | | |
| 3　特別支援学校や関係機関との連携を充実します。 | | | | | | |
| 209　特別支援教育就学奨励費援助事業 | 学校教育課 | 2,155 | 2,107 | 2,265 | 1,976 | 継続 |
| 特別支援学級への就学を奨励するとともに、保護者の負担を軽減するため学用品費等を支援する。また、通級指導教室児童を対象に通学費の支援を行う。 | | | | | | |
| 211　特別支援教育推進事業 | 学校教育課 | 36,646 | 38,626 | 42,462 | 42,462 | 継続 |
| 特別な支援を必要とする子どもたちの教育的ニーズに対応していくため、特別支援教育支援員・特別支援学級介助員を配置する。 | | | | | | |
| 経常　教育支援委員会 | 学校教育課 | 652 | 652 | 652 | 652 | 継続 |
| 特別支援教育を必要とする児童生徒の就学について、調査、検討するため就学指導委員会を開催する。委員１６名 | | | | | | |
| 経常　特別支援教育アドバイザーの配置 | 学校教育課 | 5,111 | 4,994 | 4,994 | 4,994 | 継続 |
| 障がい児教育の専門的な知識を有する人材を学校教育課に２名配置する。（非常勤） | | | | | | |
| 経常　特別支援教育関連協議会 | 学校教育課 | 76 | 76 | 76 | 76 | 継続 |
| 知的障がい及び言語障がい教育の振興を図るため、北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会へ参加する。 | | | | | | |
| **施策7　社会の変化や課題に対応した教育の推進** | | | | | | |
| 1　成長の足跡を確かめ、夢や目標に向かって挑戦する人材育成を目指す「きたひろ夢ﾉｰﾄ」の実践を充実させるとともに、望ましい社会性や職業観･勤労観を育成するキャリア教育を推進します。 | | | | | | |
| 2　国際化に対応するため、英語教育に取り組むとともに、外国語指導助手(ALT)の活用など、コミュニケーション能力の育成を図ります。 | | | | | | |
| 3　子どもの権利をはじめとした人権教育や環境、福祉、平和、防災教育を充実・発展させるための取組を推進します。 | | | | | | |
| 4　姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。 | | | | | | |
| 213　外国語指導助手活用事業 | 学校教育課 | 15,446 | 15,647 | 15,711 | 15,877 | 継続 |
| 児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力育成の向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手を派遣し、外国語授業等の充実を図る。 | | | | | | |
| 213　外国語指導助手活用事業【拡大】 | 学校教育課 | | 0 | 7,037 | 7,037 | 拡大 |
| 学習指導要領の改訂による小学校中学年への外国語活動の位置づけや高学年における教科化に向けた円滑な実施を図るため、増時数に伴う外国語指導助手の配置を拡大する。（2名） | | | | | | |
| 228　郷土資料教材化事業　⇒　「地域に根ざした特色ある学校教育推進事業」へ統合 | 学校教育課 | 2,587 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 社会科副読本の編集委員会の開催及び改訂版の作成、郷土資料教材化編集委員会の開催のデジタル教材の更新 | | | | | | |
| 300　姉妹都市子ども大使交流事業 | 教育総務課 | 2,806 | 3,274 | 3,302 | 3,302 | 継続 |
| 小中学生による姉妹都市東広島市との相互訪問により、両市の友好親善を深めるとともにふるさと意識を高める。広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式等への参列。 | | | | | | |
| **政策２　信頼され、魅力ある学校づくりの推進** | | | | | | |
| **施策8　開かれた学校づくりの推進** | | | | | | |
| 1　学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント･サイクルによる学校改善を推進します。 | | | | | | |
| 2　家庭や地域の教育的ニーズを把握するとともに、学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、情報の共有化を図ります。 | | | | | | |
| 3　学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、広報活動を充実します。 | | | | | | |
| 4　子どもたちにとって、より豊かで有意義な土曜日を実現する「土曜授業」を推進します。 | | | | | | |
| 215　学校評議員等運営支援事業 | 学校教育課 | 276 | 276 | 207 | 207 | 継続 |
| 地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、小・中学校で学校評議員を委嘱し、学校運営等に関して学校との意見交換を行い、特色ある教育活動の展開を図る。 | | | | | | |
| 353　コミュニティ・スクール推進事業【旧：コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業】 | 学校教育課 | 394 | 524 | 934 | 837 | 継続 |
| 地域に開かれ、地域とともにあある学校づくりを進めるため、西部地区のコミュニティ・スクールを継続するとともに、他中学校区での導入を検討する。 | | | | | | |
| **施策9　教育環境の整備** | | | | | | |
| 1　研修機会の充実や適切な教職員評価を通して、教職員の資質の向上を図ります。 | | | | | | |
| 2　適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。 | | | | | | |
| 3　老朽化学校施設の長寿命化や耐震化に取り組み、防災施設としての機能の充実を図るとともに、児童生徒数の増減に対応した学校施設の整備を推進します。 | | | | | | |
| 4　児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。 | | | | | | |
| 5　小中一貫教育等の新しい教育のあり方について検討を進めます。 | | | | | | |
| 6　家庭、地域と連携した学校支援地域本部の取組を推進します。 | | | | | | |
| 7　小・中・高等学校教育等への就学を支援します。 | | | | | | |
| 317　学校支援地域本部事業 | 社会教育課 | 7,872 | 8,869 | 7,935 | 7,935 | 継続 |
| 学校を地域全体で支える体制を整えていくため、学校支援地域本部を設置し、地域の住民等の参画による学校支援を推進する。 | | | | | | |
| 216　学校教育団体活動支援事業 | 教育総務課 | 4,630 | 4,780 | 4,703 | 4,703 | 継続 |
| 教職員の資質向上と教育内容及び学校経営の充実を図るため、教育関係団体で行う事業費の一部を支援する。 | | | | | | |
| 309　私立学校教育振興事業 | 教育総務課 | 1,350 | 1,500 | 1,371 | 1,371 | 継続 |
| 教育環境の充実を図るため、市内に本校を有する私立高等学校が行う教育活動を支援する。 | | | | | | |
| 217　理科教材等整備事業 | 教育総務課 | 3,248 | 3,272 | 3,272 | 3,272 | 継続 |
| 理科教育で必要となる教材教具を、小中学校に購入・更新し、教育の充実を図る。（各校２年に１回） | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 218　学校事務機器整備事業 | 教育総務課 | 745 | 2,023 | 3,726 | 3,726 | 継続 |
| 学校事務の効率化と学校経営の円滑化を図るため、必要となる事務機器を整備する。 | | | | | | |
| 220　児童生徒の通学費支援事業 | 学校教育課 | 2,569 | 2,805 | 3,153 | 3,153 | 継続 |
| 遠距離通学等で、公共交通機関を利用して市立小中学校に通学している児童・生徒及び自家用車による送迎を常としている児童生徒の保護者に通学に要する経費の一部を支援する。 | | | | | | |
| 221　要保護・準要保護児童生徒援助事業 | 学校教育課 | 125,160 | 125,156 | 124,800 | 121,747 | 継続 |
| 生活保護世帯（要保護）や経済的困窮世帯（準要保護）の児童・生徒に対し、就学に必要な経済的な援助を行うことで、平等に義務教育を受ける権利を保障する。 | | | | | | |
| 222　学校施設管理機器整備事業 | 教育総務課 | 412 | 1,174 | 2,103 | 2,103 | 継続 |
| 良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。 | | | | | | |
| 229　教師用指導書等整備事業 | 学校教育課 | 12,604 | 1,101 | 1,625 | 9,427 | 継続 |
| 教員に指導書及び教科書を配布し、指導方法の工夫改善及び学力の向上を図る。 | | | | | | |
| 231　学校放送設備整備事業 | 教育総務課 | 9,807 | 9,990 | 20,000 | 20,000 | 継続 |
| 教育活動の充実を図るため、老朽化した放送、視聴覚設備を時代に合った機器に整備する。 | | | | | | |
| 232　高等学校等入学準備金支給事業 | 学校教育課 | 2,400 | 2,780 | 2,600 | 2,600 | 継続 |
| 市内に住所を有し高等学校等に入学した生活困窮世帯の生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、入学時に必要となる経費の一部として、入学準備金を支援する。 | | | | | | |
| 233　奨学金支給事業 | 学校教育課 | 5,400 | 5,400 | 5,400 | 5,400 | 継続 |
| 経済的な理由によって高等学校等の就学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、等しく教育を受ける機会を与える。 | | | | | | |
| 233　小中一貫教育推進事業【平成27年度繰越明許費】 | 学校教育課 | | ＜942＞ | 500 | 100 | 新規 |
| 子どもを取り巻く社会環境の変化に伴う様々な教育課題に対応していくため、小中9年間で「連続した学び」を保障する一貫教育の推進。 | | | | | | |
| 240　学校施設空気環境測定事業 | 教育総務課 | 673 | 673 | 686 | 686 | 継続 |
| シックスクール対策の一環として、「学校環境衛生の基準」に基づき、教室内のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について空気中濃度測定を実施し、良好な衛生環境確保に努める。 | | | | | | |
| 226　北の台小学校校舎屋体大規模改造・屋体地震補強事業 | 教育総務課 | 319,150 | 0 | 0 | 0 | 終了 |
| 建築後37年以上経過しており、外壁や屋根面等老朽化が顕著なため、内外部の大規模改造工事に併せて、地震補強工事、非構造部材の耐震化工事、トイレ等の改修工事を実施する。 | | | | | | |
| 271　東部小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 1,030 | 19,530 | 0 | 0 | 継続 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | | | | | |
| 275　緑ヶ丘小学校校舎・講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 66,680 | 0 | 0 | 0 | 終了 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種へのに更新工事を実施する。 | | | | | | |
| 238　広葉中学校校舎・講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | ＜82,950＞ | 0 | 0 | 0 | 終了 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | | | | | |
| 257　東部中学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | | 0 | 279,200 | 186,300 | 継続 |
| 建築後26年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。H26実施設計委託　【工事期間をH29、H30の2カ年で実施】 | | | | | | |
| 276　大曲東小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | 1,050 | 33,820 | 0 | 継続 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | | | | | |
| 369　東部中学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 1,110 | 38,780 | 0 | 0 | 継続 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | | | | | |
| 370　大曲中学校北校舎棟大規模改造事業 | 教育総務課 | 149,327 | 0 | 0 | 0 | 終了 |
| 建築後42年以上が経過し、老朽化が顕著なため、北校舎棟の大規模改造工事を実施する。 | | | | | | |
| 360　学校施設非構造部材耐震化事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 見直し |
| 屋内体育館において、大規模改造工事の対象とならない小中学校8校について、目視点検等の結果を踏まえて天井等落下防止対策等を行う。【事業着手を平成31年度まで延期】 | | | | | | |
| 361　大曲中学校屋体大規模改造事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | 0 | ＜104,900＞ | 0 | 0 | 継続 |
| 建築後29年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。【H27繰越明許費】 | | | | | | |
| 379　西の里中学校屋体大規模改造事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | 0 | ＜112,300＞ | 0 | 0 | 継続 |
| 建築後28年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。【H27繰越明許費】 | | | | | | |
| 380　大曲東小学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | ＜61,470＞ | 128,190 | 0 | 0 | 継続 |
| 建築後24年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。 | | | | | | |
| 381　東部中学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | ＜83,880＞ | 169,800 | 0 | 0 | 継続 |
| 建築後26年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する | | | | | | |
| 363　西の里中学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | 0 | 0 | 1,310 | 見直し |
| 平成8年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。【事業着手を１年延期】 | | | | | | |
| 364　西の里小学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | 0 | 0 | 1,230 | 見直し |
| 平成6年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。【事業着手を１年延期】 | | | | | | |
| 375　小中学校周辺環境整備事業 | 教育総務課 | 8,659 | 6,102 | 12,567 | 6,465 | 継続 |
| 市内小中学校敷地内駐車場舗装やグレーチング等の外構工事、屋外物置などの付属建築物及び屋外施設（ﾃﾆｽｺｰﾄ、ﾌｪﾝｽ、防球ﾈｯﾄ等）更新。 | | | | | | |
| 338　大曲東小学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 9,300 | 新規 |
| 建築後24年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。 | | | | | | |
| 362　北の台小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 1,090 | 24,400 | 新規 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | | | | | |
| 382　大曲小学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 1,570 | 57,230 | 新規 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。 | | | | | | |
| 383　大曲中学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 8,900 | 新規 |
| 建築後37年から25年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。 | | | | | | |
| 経常　義務教育施設整備基金利息積立 | 教育総務課 | 157 | 157 | 157 | 157 | 継続 |
| 義務教育施設整備基金の利息を積立 | | | | | | |
| 経常　小学校管理経費 | 教育総務課 | 118,300 | 88,530 | 88,530 | 88,530 | 継続 |
| 施設維持管理（修繕費・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか）経常分88,494千円 | | | | | | |
| 経常　中学校管理経費 | 教育総務課 | 89,742 | 86,694 | 86,694 | 86,694 | 継続 |
| 施設維持管理（修繕費・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか）経常分70,093千円 臨時分3,261千円　営繕4,040千円 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 経常　中学校教育振興経費（学校教育課分） | 学校教育課 | 551 | 2,884 | 0 | 0 | 継続 |
| 平成２４年度から中学校の音楽科で必修となっている和楽器指導に必要な楽器（箏）を購入する。 | | | | | | |
| 経常　奨学生選考委員会 | 学校教育課 | 28 | 28 | 28 | 28 | 継続 |
| 奨学生を選考するため、奨学生選考委員会を開催する。選考委員７名 | | | | | | |
| 経常　北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会 | 学校教育課 | 48 | 48 | 48 | 48 | 継続 |
| 通学区域を設定及び変更するため、通学区域審議会を開催する。審議会委員１２名 | | | | | | |
| **政策３　やさしく支えあう教育連携の推進** | | | | | | |
| 施策10 家庭の教育力向上への支援内容の充実 | | | | | | |
| 1　あたたかな家庭づくりへの支援の充実を図ります。 | | | | | | |
| 2　ＰＴＡなどとの連携を図り、家庭の教育力向上に向けた支援を充実します。 | | | | | | |
| 3　家庭・学校・地域が一体となり、子どもたちの生活習慣を見直す取組を進めます。 | | | | | | |
| 255　北広島市ＰＴＡ連合会支援事業 | 学校教育課 | 325 | 325 | 325 | 325 | 継続 |
| 児童生徒の健全育成を進めるため、学校単位のＰＴＡの情報交換を図るとともに、保護者を対象とした研修会等を実施するＰＴＡ連合会の活動を支援する。 | | | | | | |
| 292　家庭教育支援事業 | 社会教育課 | 60 | 50 | 120 | 120 | 継続 |
| 家庭の教育力向上のため、関係する団体などと連携し、家庭教育支援に関する実践活動・交流活動を行う。 | | | | | | |
| 354　家庭教育支援事業【拡大】 | 社会教育課 | | 360 | 0 | 0 | 拡大 |
| 子どもたちの学力向上の基礎となる生活習慣づくりを進めるため、関係団体等との連携により、実践活動として「子ども朝活」事業を展開する。 | | | | | | |
| 施策11 教育相談体制の充実 | | | | | | |
| 1　いじめや不登校の問題を早期に解消するため、スクールカウンセラー、臨床心理士など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。 | | | | | | |
| 2　不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。 | | | | | | |
| 3　携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒や保護者に対して啓発を図るとともに、インターネット上などでの新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害や生活習慣の乱れを防ぐため、<br>ネットパトロールを実施します。 | | | | | | |
| 4　いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期解決の取組を強化します。 | | | | | | |
| 5　青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などとの連携を強化します。 | | | | | | |
| 249　不登校いじめ対策・教育相談事業 | 学校教育課 | 13,187 | 12,944 | 13,360 | 13,255 | 継続 |
| 保護者や学校、関係機関と連携して、ひきこもりや不登校の解消と未然防止を図る。児童生徒及びその保護者を対象に面談や家庭訪問による相談支援を行う。 | | | | | | |
| 311　青少年健全育成啓発事業　⇒　青少年健全育成事業に統合 | 学校教育課 | 336 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 青少年健全育成大会の開催、安全安心講演会の開催、子どもサポートセンターだより「きずな」の発行 | | | | | | |
| 施策12 地域が支える健全育成活動の充実 | | | | | | |
| 1　子どもサポートセンターの相談・支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。 | | | | | | |
| 2　各種大会や地域の安全・安心講座などを通じて全市的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。 | | | | | | |
| 3　児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動ができるよう「放課後子供教室」の充実を図ります。 | | | | | | |
| 253　青少年健全育成事業⇒「青少年健全育成連絡会議支援事業」と「青少年健全育成啓発事業」を統合 | 学校教育課 | 65 | 1,003 | 1,003 | 1,003 | 統合 |
| 青春メッセージ、子ども会議（アンビシャスフォーラム）を開催。学校・PTA、自治会、関係団体と連携し青少年健全育成大会を開催する。 | | | | | | |
| 254　青少年健全育成連絡協議会支援事業　⇒　青少年健全育成事業に統合 | 学校教育課 | 450 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 学校、家庭、地域が一体となり、地域で子どもたちを守り、育み、安全安心な地域環境づくりをめざすため、各地区の青少年健全育成連絡協議会の活動を支援する。 | | | | | | |
| 256　青少年安全対策事業 | 学校教育課 | 9,174 | 8,249 | 8,944 | 8,944 | 継続 |
| 青少年の非行防止を推進。スクールガードリーダーによる巡回指導。通学路安全指導員を配置。ネットパトロール。 | | | | | | |
| 251　成人式開催事業 | 社会教育課 | 683 | 683 | 696 | 696 | 継続 |
| 成人としての自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識できるよう、新成人を祝う成人式を実施する。 | | | | | | |
| 312　放課後子供教室事業　【継続事業内で新たな小学校で放課後子供教室を実施】 | 学校教育課 | 1,323 | 1,696 | 1,666 | 1,666 | 継続 |
| 放課後に小学校の余裕教室等を活用して、児童の活動拠点を設け、学習や体育活動等を行い子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 | | | | | | |
| 経常　青少年健全育成推進委員会　【青少年健全育成事業と統合】 | 学校教育課 | 120 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 青少年健全育成推進委員会の開催 | | | | | | |
| 経常　青少年健全育成経費 | 学校教育課 | 487 | 487 | 487 | 531 | 継続 |
| 北海道青少年育成協会負担金、借上車経費 | | | | | | |
| **政策４　学びあい、教えあう社会教育の推進** | | | | | | |
| 施策13 市民の学習活動への支援内容の充実 | | | | | | |
| 1　市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通したコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。 | | | | | | |
| 2　社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実を図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。 | | | | | | |
| 3　市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。 | | | | | | |
| 258　生涯学習市民活動支援事業 | 社会教育課 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 継続 |
| 学習機会の提供及び生涯学習に取り組む団体の育成を図るため、市民団体が企画実施する生涯学習に関する事業に支援を行う。 | | | | | | |
| 259　元気フェスティバル連携事業 | 社会教育課 | 675 | 675 | 675 | 675 | 継続 |
| 市民の生涯学習に対する理解や関心を深めるとともに、市民団体の交流や学習成果を生かす場として、元気フェスティバルを開催する。 | | | | | | |
| 313　生涯学習振興会支援事業 | 社会教育課 | 18,136 | 18,307 | 18,307 | 18,307 | 継続 |
| 生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、生涯学習振興会を支援する。 | | | | | | |
| 349　生涯学習振興会支援事業【拡大】 | 社会教育課 | | 0 | 5,521 | 5,521 | 拡大 |
| 生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、団地地区生涯学習振興会を設置する。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 施策14 地域や世代を見据えた学習機会の充実 | | | | | | |
| 1　各世代別での学習ニーズに応え、産・学・官・民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。 | | | | | | |
| 2　社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。 | | | | | | |
| 3　市民の多様な学習ニーズへの対応や、主体的な学習活動を支援するための情報提供に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。 | | | | | | |
| 4　市民の主体的な学習をサポートするため、ＩＴ予約システムなどによる社会教育施設や公共施設の利用情報のネットワーク化を図ります。 | | | | | | |
| 323　国際交流事業 | 社会教育課 | 1,404 | 392 | 1,404 | 392 | 見直し |
| 異文化への理解と国際感覚をもった人材を育てるため、国際交流協議会を支援する。 | | | | | | |
| 261　フレンドリーセンター運営事業 | 社会教育課 | 757 | 802 | 992 | 992 | 継続 |
| 障がい者が生涯学習活動を通じて、学び交流する場を提供する。 | | | | | | |
| 262　中央公民館活動推進事業 | 社会教育課 | 347 | 347 | 355 | 355 | 見直し |
| 市民やサークルなどの相互交流の場を提供し、市民の生涯学習に対する理解と関心を深める。生涯学習振興会と地区公民館活動連携事業を実施。 | | | | | | |
| 314　生涯学習支援情報システム整備事業 | 文化課 | 11,642 | 11,379 | 11,390 | 11,390 | 継続 |
| 図書館情報システム・施設予約管理システムを活用し、図書館及び生涯学習の拠点施設が持つ学習機能を充実させる。 | | | | | | |
| 356　フレンドリーセンター施設解体工事事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 建築後55年が経過し、老朽化が進んでいることから、施設の解体を行う。【公共施設等総合管理計画で検討】 | | | | | | |
| 施策15 施設の充実による学習環境の整備 | | | | | | |
| 1　生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。 | | | | | | |
| 2　市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、中央公民館など既存施設の有効活用を図ります。 | | | | | | |
| 3　学習や研修の機会を提供する施設の計画的な整備を進めます。 | | | | | | |
| 352　西の里公民館改修事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 建築後39年が経過し、耐震化の必要があることから、今後の施設の総合的な利用を検討しながら、耐震改修工事を実施する。【公共施設等総合管理計画で検討】 | | | | | | |
| 371　林間学園・レクリエーションの森整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 経年劣化によって腐食、破損しているアスレチック、管理棟、炉場、展望台等を計画的に改修を行う。【整備に向けた調査・検討】 | | | | | | |
| 経常　林間学園・レクリエーションの森開放事業 | 社会教育課 | 6,713 | 5,940 | 6,713 | 6,713 | 継続 |
| 自然体験、憩いの場として林間学園・レクリエーションの森を開放する。経常5,816千円　臨時897千円 | | | | | | |
| 経常　公民館管理事業 | 社会教育課 | 33,374 | 20,159 | 33,374 | 33,374 | 継続 |
| 市民が利用しやすい施設となるよう中央及び西の里公民館を管理、運営する。 | | | | | | |
| 経常　社会教育施設等草刈経費 | 社会教育課 | 500 | 438 | 500 | 500 | 継続 |
| 快適に利用できる施設となるよう社会教育施設等（駅西口広場・中央公民館・西の里公民館・レクの森）の草刈りを行う。 | | | | | | |
| 政策５　郷土愛を育む教育活動の推進 | | | | | | |
| 施策16 エコミュージアム構想の展開 | | | | | | |
| 1　文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。 | | | | | | |
| 2　市民参加による郷土学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。 | | | | | | |
| 3　エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。 | | | | | | |
| 4　重要な郷土資料の保全、住民活動の拠点、情報サービスの発信・提供、資料の展示、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。 | | | | | | |
| 266　エコミュージアム普及推進事業 | エコミュージアムセンター | 4,054 | 4,064 | 5,777 | 5,777 | 継続 |
| センターを拠点に、市内各地に存在する自然遺産や歴史遺産などを現地において保存・育成・展示し、魅力ある地域づくり・まちづくりを行政と市民の協働で推進する。 | | | | | | |
| 243　エコミュージアム普及推進事業 | エコミュージアムセンター | | 2,372 | 3,100 | 3,100 | 拡大 |
| サテライトと地域遺産を結ぶ発見の小路を表示する説明板、案内標柱等の設置や所蔵整理等を実施する。 | | | | | | |
| 267　旧島松駅逓所周辺整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| より多くの市民に観覧してもらい、駅逓所を身近に感じ取ってもらうことによって、開拓の歴史の理解を深めてもらうため、旧島松駅逓所の周辺の隣地の整備を行う。 | | | | | | |
| 施策17 文化財の保存と活用 | | | | | | |
| 1　史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。 | | | | | | |
| 2　郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集・保存を進めます。また、市文化財の指定を行い保存します。 | | | | | | |
| 3　郷土文化の伝承に対する支援を進めます。 | | | | | | |
| 333　郷土文化伝承支援事業 | エコミュージアムセンター | 212 | 212 | 212 | 212 | 継続 |
| 本市の郷土芸能を後世に伝えるため、保存・継承している団体を支援する。 | | | | | | |
| 268　文化財保存・活用事業 | エコミュージアムセンター | 5,920 | 6,524 | 5,924 | 5,924 | 継続 |
| 国指定文化財と北広島市文化財保護審議会が指定する市指定文化財、郷土の自然や歴史を後世に伝えるために適切な保存と活用を行う。 | | | | | | |
| 385　旧島松駅逓所大規模改修事業 | エコミュージアムセンター | 0 | 214 | 2,500 | 20,000 | 新規 |
| 補修工事から２５年が経過し、老朽化が顕著なため、国指定史跡旧島松駅逓所の大規模改修を実施する。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **政策６　生涯にわたる読書活動の推進** | | | | | | |
| **施策18 図書館サービスの充実** | | | | | | |
| 1　市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書館及び地区分館での図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。 | | | | | | |
| 2　地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。 | | | | | | |
| 3　図書館フィールドネットなどの市民との協働により、子どもから高齢者までの生涯を通した読書活動の充実をめざします。 | | | | | | |
| 269　図書館サービス提供事業 | 文化課 | 20,876 | 20,847 | 22,458 | 22,458 | 継続 |
| 図書館が行っている図書の貸出・リクエスト・予約やレファレンス・相互貸借などの基本的サービスのほか、利用価値の高い図書館サービスを提供する。 | | | | | | |
| 270　図書館フィールドネット連携事業 | 文化課 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 継続 |
| 図書館のボランティア団体で構成する北広島市図書館フィールドネット運営委員会を支援し、読書の普及を促進する。 | | | | | | |
| 経常　図書館運営 | 文化課 | 58,417 | 58,711 | 58,711 | 58,711 | 継続 |
| 図書館の施設維持管理、移動図書館車の運行 | | | | | | |
| 経常　図書館利用モニター | 文化課 | 27 | 27 | 27 | 27 | 継続 |
| 図書館サービスの水準を維持し、迅速な利用者要望を把握するため、匿名モニターによる対応チェックを定期的に行う。 | | | | | | |
| 経常　北広島市図書館協議会 | 文化課 | 128 | 128 | 128 | 128 | 継続 |
| 図書館法に定められる外部委員会として、図書館の運営等について館長に意見を述べるほか、教育委員会の諮問に答える。 委員１０名 | | | | | | |
| 経常　読書環境整備事業 | 文化課 | 556 | 397 | 397 | 397 | 継続 |
| 図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討 | | | | | | |
| **施策19 子どもの読書活動推進** | | | | | | |
| 1　市民との協働を踏まえながら、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。 | | | | | | |
| 2　学校図書館における蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園での絵本巡回事業「小豆（あずき）」の利用拡大を図ります。 | | | | | | |
| 経常　幼児読書活動推進事業 | 文化課 | 0 | 0 | 20 | 20 | 継続 |
| 子どもの読書推進計画に基づき、就学前の幼児に身近で図書館に親しむ取組みとして、幼児絵本の巡回配置「小豆」を実施する。 | | | | | | |
| **政策７　芸術文化活動の振興** | | | | | | |
| **施策20 個性豊かな地域文化の振興** | | | | | | |
| 1　優れた芸術文化活動に対して表彰を行うとともに、市民が主体的に取組む芸術文化活動を積極的に支援します。 | | | | | | |
| 2　各種公演や講座、体験教室など、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。 | | | | | | |
| 3　青少年が芸術文化に触れる機会の充実に向け、学校との積極的な連携を進めます。 | | | | | | |
| 4　芸術文化活動に主体的に取組んでいる市民団体やサークルを支援します。 | | | | | | |
| 5　芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。 | | | | | | |
| 272　文化賞・スポーツ賞等表彰事業【名称変更：スポーツ賞等表彰事業と統合】 | 文化課 | 0 | 631 | 539 | 539 | 統合 |
| 優秀な文化活動を行う市民（成人・青少年）及び団体や、スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手及びスポーツの振興に寄与した者に対し、その功績を顕彰する。 | | | | | | |
| 273　文化団体活動支援事業 | 文化課 | 640 | 640 | 640 | 640 | 継続 |
| 市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の発展のため、芸術文化活動を行う各種団体に各団体の芸術文化事業への支援を行う。 | | | | | | |
| 274　市民文化祭奨励事業 | 文化課 | 650 | 650 | 650 | 650 | 継続 |
| 市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の促進のため、市民の芸術文化活動を発表する機会の提供とその支援を行う。 | | | | | | |
| 278　文化施設修繕事業 | 文化課 | 21,330 | 25,472 | 27,347 | 30,000 | 継続 |
| 文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、耐用年数などを考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。 | | | | | | |
| 341　芸術文化ホール設備修繕事業 | 文化課 | 9,380 | 13,000 | 12,540 | 18,500 | 継続 |
| 客席、舞台、音響、照明設備等の安全性や芸術文化振興のための機能維持を図るため、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。 | | | | | | |
| 経常　文化施設維持管理 | 文化課 | 60,497 | 64,913 | 64,913 | 64,913 | 継続 |
| 芸術文化ホール・図書館の施設維持管理　経常33,229千円　臨時31,684千円 | | | | | | |
| 経常　芸術文化ホール管理 | 文化課 | 35,728 | 37,786 | 37,786 | 37,786 | 継続 |
| 芸術文化ホールの舞台設備運営、窓口業務、設備備品保守点検、借上車経費　　経常2,020千円、臨時35,766千円 | | | | | | |
| 経常　北広島市芸術文化振興審議会 | 文化課 | 124 | 117 | 117 | 117 | 継続 |
| 芸術文化の振興について教育委員会からの諮問に応じ調査審議する。委員6名 | | | | | | |
| **施策21 市民等との連携による芸術文化活動の展開** | | | | | | |
| 1　地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動を行う企業との共催、他の公共ホールなどとの連携を推進します。 | | | | | | |
| 2　芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。 | | | | | | |
| 3　市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。 | | | | | | |
| 279　芸術文化ホール運営委員会連携事業 | 文化課 | 11,835 | 11,719 | 11,882 | 11,882 | 継続 |
| 市と協働で芸術鑑賞型事業及び芸術創造事業を推進し、市民の主体的な芸術文化活動の活発化と資質向上を図るため、芸術文化ホール運営委員会を支援する。 | | | | | | |
| 280　花ホールスタッフの会支援等事業 | 文化課 | 320 | 320 | 320 | 320 | 継続 |
| 市及び運営委員会等が主催する事業のサポート活動やバーコーナーの運営など、芸術文化ホール（花ホール）を拠点に活動する花ホールスタッフの会を支援する。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **政策８　健康づくりとスポーツ活動の推進** | | | | | | |
| **施策22 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進** | | | | | | |
| 1　市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。 | | | | | | |
| 2　市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。 | | | | | | |
| 3　スポーツ推進委員や生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。 | | | | | | |
| 286　きたひろしま３０Ｋｍロードレース連携事業 | 社会教育課 | 300 | 300 | 324 | 324 | 継続 |
| 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進を図るため、きたひろしま30kmロードレースを開催する実行委員会へ補助金を交付する。 | | | | | | |
| 288　市民スポーツ活動推進事業 | 社会教育課 | 497 | 555 | 542 | 500 | 継続 |
| 子どもから高齢者、障がい者までさまざまな市民を対象に健康保持増進と生きがいや潤いのある生活を助長することを目的にｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動に親しむ機会を提供する。 | | | | | | |
| 経常　スポーツ推進委員 | 社会教育課 | 594 | 594 | 594 | 594 | 継続 |
| スポーツ振興のための実技指導、各大会の企画運営、管内協議会への参加 | | | | | | |
| **施策23 競技スポーツの振興** | | | | | | |
| 1　ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、スポーツアカデミーにおける事業に取り組みます。 | | | | | | |
| 2　国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。 | | | | | | |
| 3　市体育協会やスポーツ少年団本部等に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。 | | | | | | |
| 282　スポーツ大会出場支援事業 | 社会教育課 | 1,000 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 継続 |
| 市民の自発的なスポーツ活動の振興を図るため、国際、全国または全道規模のスポーツ大会に出場する選手等に対して、費用の一部を助成する。 | | | | | | |
| 284　体育協会活動支援事業 | 社会教育課 | 3,118 | 3,118 | 3,118 | 3,118 | 継続 |
| 市民の積極的なスポーツ活動と振興を図るため、ＮＰＯ法人北広島市体育協会の運営等を支援する。 | | | | | | |
| 285　スポーツ少年団育成事業 | 社会教育課 | 453 | 453 | 453 | 453 | 継続 |
| 青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団を支援する。 | | | | | | |
| 290　スポーツアカデミー事業 | 社会教育課 | 1,098 | 784 | 1,109 | 1,109 | 継続 |
| 全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業を実施する。 | | | | | | |
| 290　スポーツアカデミー事業 | 社会教育課 | 1,098 | 394 | 224 | 224 | 拡大 |
| 中学校部活動の支援として、アスリート派遣等の事業を実施する。 | | | | | | |
| 321　スポーツ賞等表彰事業　【文化賞・スポーツ賞等表彰事業に統合】 | 文化課 | 526 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 優秀な成績を収めた選手及びスポーツの振興に寄与した者を顕彰することにより、市民のスポーツ活動を助長する。 | | | | | | |
| 287　姉妹都市スポーツ交流事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 休止 |
| 本市と東広島市の生徒が相互に行き来し、スポーツ交流を実施することにより、友好・親善を深めるとともに、生徒の心身の健全育成を図る。 | | | | | | |
| 291　全国中学生空手道選抜大会連携事業 | 社会教育課 | 4,500 | 0 | 0 | 0 | 終了 |
| 本市を全国にＰＲするとともに、空手道を通じた青少年の健全育成を図るため、全国中学生空手道選抜大会を開催する。 | | | | | | |
| **施策24 スポーツ施設の整備と運営** | | | | | | |
| 1　市民が安心して利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。 | | | | | | |
| 2　日常的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業（全小中学校）をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。 | | | | | | |
| 3　運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ・レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。 | | | | | | |
| 293　学校施設（体育館）開放事業 | 社会教育課 | 5,112 | 5,264 | 5,273 | 5,273 | 継続 |
| 市民の健康維持及び体力向上に資するため、小中学校の体育館を開放してスポーツ活動の場を提供する。 | | | | | | |
| 206　西の里ファミリー体育館改修事業 | 社会教育課 | 214,380 | 0 | 0 | 0 | 終了 |
| 老朽化が著しいことから、屋根や外壁、暖房施設等の改修を行う。 | | | | | | |
| 206　大曲ファミリー体育館改修事業 | 社会教育課 | 0 | 6,100 | 208,500 | 0 | 継続 |
| 建築後31年が経過し、老朽化が進むとともに、給排水・電気・暖房等の設備の経年劣化が進んでいることから、改修を実施する。 | | | | | | |
| 322　運動広場整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 市民のスポーツ・レクリエーションや市民の集い・交流・健康づくりの場として運動広場を整備する。【整備に向けた調査・検討】 | | | | | | |
| 372　自然の森キャンプ場整備事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 駐車場が不足していることから、駐車場を整備する。【整備に向けた調査・検討】 | | | | | | |
| 経常　体育施設管理事業 | 社会教育課 | 106,994 | 97,132 | 97,132 | 97,132 | 継続 |
| 総合体育館、緑葉公園体育施設、住民プール、地区体育館、自然の森キャンプ場の管理を行う。経常94,000千円　臨時3,132千円 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：査定額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額<br>27年度 | 当初予算額<br>28年度 | 計画事業費<br>29年度 | 計画事業費<br>30年度 | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 政策１～８を支える経常経費 | | | | | | |
| 経常経費 | | | | | | |
| 教育委員会運営経費 | | | | | | |
| 経常　教育委員に関する経費 | 教育総務課 | 3,095 | 3,064 | 3,064 | 3,064 | 継続 |
| 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置 教育委員会会議の開催、教育委員の報酬など | | | | | | |
| 教育委員会事務局運営経費 | | | | | | |
| 経常　学校業務主事に関する経費 | 教育総務課 | 31,868 | 31,837 | 31,837 | 31,837 | 継続 |
| 学校業務主事14名任用 | | | | | | |
| 経常　教育委員会事務局運営経費 | 教育総務課 | 6,489 | 7,013 | 7,013 | 7,013 | 継続 |
| 教育長ほか職員旅費 被服費・事務経費 石狩教育研修センター組合分担金 その他分担金・負担金　会議録制作支援委託 | | | | | | |
| 経常　教職員永年勤続表彰 | 学校教育課 | 3 | 3 | 3 | 3 | 継続 |
| 北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。 | | | | | | |
| 教育振興経費 | | | | | | |
| 経常　「きたひろしまの教育」作成 | 教育総務課 | 79 | 79 | 79 | 79 | 継続 |
| 教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を編集・製本・発行する。 | | | | | | |
| 経常　北広島市教育施策審議会 | 教育総務課 | 349 | 312 | 312 | 312 | 継続 |
| 学識者２名、学校関係者２名、社会教育関係者２名、公募１名で構成し、教育施策に関する審議及び教育委員会の事務事業に関する点検評価を行う。 | | | | | | |
| 経常　第一地区教科用図書採択教育委員会協議会負担金 | 学校教育課 | 112 | 0 | 0 | 198 | 継続 |
| 小中学校で使用する教科用図書を採択するため、第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加する。（採択に関する調査負担金） | | | | | | |
| 教員住宅管理経費 | | | | | | |
| 経常　教員住宅管理 | 教育総務課 | 2,446 | 2,446 | 2,446 | 2,679 | 継続 |
| 校長・教頭管理者住宅、教員住宅に関する経費 | | | | | | |
| 小学校管理経費 | | | | | | |
| 経常　小学校運営経費 | 教育総務課 | 22,993 | 26,111 | 26,111 | 26,111 | 継続 |
| 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 | | | | | | |
| 経常　小学校管理経費（学校教育課関係分） | 学校教育課 | 75 | 75 | 75 | 75 | 継続 |
| 全学校共通で使用する印刷物の作成、及び入学通知書の郵便料 | | | | | | |
| 中学校管理経費 | | | | | | |
| 経常　中学校運営経費 | 教育総務課 | 17,086 | 19,359 | 19,359 | 19,359 | 継続 |
| 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 | | | | | | |
| 経常　中学校管理経費　（学校教育課関係分） | 学校教育課 | 79 | 82 | 82 | 82 | 継続 |
| 全学校共通で使用する印刷物の作成、及び入学通知書の郵便料 | | | | | | |
| 社会教育経費 | | | | | | |
| 経常　社会教育事務経費 | 社会教育課 | 81 | 191 | 191 | 191 | 継続 |
| 社会教育団体登録事務経費　その他事務経費 | | | | | | |
| 経常　社会教育委員 | 社会教育課 | 547 | 462 | 462 | 462 | 継続 |
| 社会教育法に基づき委嘱 生涯学習に関する諸計画の立案・助言 全道管内協議会への参加 | | | | | | |
| 保健体育事務経費 | | | | | | |
| 経常　スポーツ推進審議会 | 社会教育課 | 128 | 128 | 128 | 128 | 継続 |
| スポーツの振興に関する事項について調査・審議し、教育委員会に建議 | | | | | | |
| 経常　保健体育事務経費 | 社会教育課 | 602 | 595 | 595 | 595 | 継続 |
| 借上車経費及びその他事務費 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **第3章　大志をいだき学ぶまち　～人と文化を育む８つの政策と２４の施策～** | | | | | | |
| **政策１　「生きる力」を育む学校教育の推進** | | | | | | |
| **施策1　幼児教育の振興・充実** | | | | | | |
| 1　多様な体験を重視した特色ある幼児教育を奨励するとともに、障がい児の幼稚園への入園を支援します。 | | | | | | |
| 2　家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。 | | | | | | |
| 3　教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動への支援を行います。 | | | | | | |
| 200　幼稚園就園奨励費事業 | 児童家庭課 | 93,792 | 79,342 | 79,342 | 79,342 | 継続 |
| 私立幼稚園に通園する市内在住園児の保護者に、入園料、保育料等の減免措置を行う幼稚園の設置者に対し、文部科学省が示す補助限度額と同額の補助を実施する。 | | | | | | |
| 201　幼稚園就園準備支援事業 | 児童家庭課 | ＜1,148＞ | 1,148 | 1,148 | 1,148 | 継続 |
| 幼稚園の実施する満2歳児を対象とした子育て支援事業に参加する保護者の負担軽減を行い、幼児教育への参加を側面から支援する。 | | | | | | |
| 202　幼稚園協会連携事業 | 教育総務課 | 160 | 160 | 162 | 162 | 継続 |
| 市内私立幼稚園８園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。 | | | | | | |
| 203　幼稚園振興事業 | 教育総務課 | 6,886 | 6,886 | 6,977 | 6,977 | 継続 |
| 幼児教育の振興と保護者の負担軽減を図るため、幼稚園教員研修、教材教具の整備並びに障がい児の受け入れに係る人件費等の経費を助成する。 | | | | | | |
| 376　幼保小連携推進事業 | 教育総務課 | 0 | 110 | 110 | 0 | 継続 |
| 家庭、幼稚園、保育園での子育てから、社会生活を営む上での基礎を身につける小学校への育ちの変化にスムーズに移行できるように、各関係機関との連携や家庭への情報提供を行う。 | | | | | | |
| 377　子どもの体力向上推進研究事業 | 学校教育課 | 0 | 440 | 440 | 440 | 新規 |
| 幼・保・小・中と連携した体力づくりや運動習慣、基本的な生活習慣をつくる。小学校低学年における運動嫌いを少なくするため外部指導者の派遣を行う。 | | | | | | |
| **施策2　豊かな心を育む教育の充実** | | | | | | |
| 1　人を思いやる心や人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。 | | | | | | |
| 2　基本的な倫理観や思いやりの心などを育む教育を推進します。 | | | | | | |
| 3　いじめ、不登校や様々な問題に適切な対応をするとともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。 | | | | | | |
| 4　豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。 | | | | | | |
| 301　学校教育振興事業 | 教育総務課 | 7,842 | 7,842 | 7,982 | 7,982 | 継続 |
| 総合学習や学校の創意工夫を生かした特色ある学校づくり事業等を通して、子どもたちの「生きる力」や、自ら課題を見つけ、主体的、創造的に取り組む資質を養う。 | | | | | | |
| 252　創意工夫展・書写展事業 | 学校教育課 | 183 | 175 | 177 | 177 | 継続 |
| 科学技術への興味関心を高め、児童生徒の創意・創造性を育成するため創意工夫展を開催する。日本伝統の毛筆・硬筆を通じて児童生徒の豊かな情操を養うため書写展を開催する。 | | | | | | |
| 302　地域に根ざした特色ある学校教育推進事業⇒旧：心の教育推進事業、「郷土資料教材化事業」を統合 | 学校教育課 | 34 | 403 | 5,452 | 403 | 継続 |
| 心の教育推進事業と郷土資料教材化事業を統合し、学校教育推進方針を軸とした学校教育推進事業を進める。 | | | | | | |
| 250　心の教室相談事業 | 学校教育課 | 6,219 | 6,198 | 6,198 | 6,198 | 継続 |
| 小中学校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間400時間）し、児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図るとともに、いじめや不登校の未然防止と早期把握に努める。 | | | | | | |
| 303　学校図書館活用事業 | 学校教育課 | 15,299 | 15,770 | 15,770 | 15,770 | 継続 |
| 学校図書の購入・更新事業、学校図書ネットワークシステム借上げ、学校図書業務委託、図書司書の配置 | | | | | | |
| 344　学校図書館活用事業【拡大】 | 学校教育課 | | 0 | 0 | 0 | 拡大不採択 |
| 学校図書館の充実や、教育活動の支援の充実を図るため、学校規模の大きい中学校には学校司書を1名配置とするため、学校司書を1名増員する。学校司書については現行のまま | | | | | | |
| **施策3　確かな学力を育てる教育の充実** | | | | | | |
| 1　基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。 | | | | | | |
| 2　総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。 | | | | | | |
| 3　学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。 | | | | | | |
| 4　学力検査等の結果を生かした授業方法の改善に努めます。 | | | | | | |
| 304　学校教育相談員活用事業 | 学校教育課 | 2,381 | 2,421 | 2,421 | 2,421 | 継続 |
| 学校を取り巻く環境は非常に複雑化してきており、課題も指摘されていることから、それらの課題を的確に取り組んでいくために、専門的知識や経験豊富な教員経験者を配置する。 | | | | | | |
| 306　学力向上推進事業 | 学校教育課 | 5,367 | 5,367 | 5,474 | 5,474 | 継続 |
| 標準学力検査の実施、全国学力・学習状況調査の参加、学力向上プロジェクト推進委員会(仮）の開催 | | | | | | |
| 経常　小学校教育振興経費 | 教育総務課 | 8,112 | 8,112 | 8,112 | 8,112 | 継続 |
| 小学校教育振興経費（教材・教具等）（経常分8,047・臨時分65） | | | | | | |
| 経常　中学校教育振興経費 | 教育総務課 | 10,934 | 10,934 | 10,934 | 10,934 | 継続 |
| 中学校教育振興経費（教材・教具等）（経常分7,926・臨時分3,008） | | | | | | |
| **施策4　ＩＣＴ活用による教育の充実** | | | | | | |
| 1　確かな学力をより効果的に育成するため、ＩＣＴの積極的な活用など指導方法・指導体制の工夫改善を図ります。 | | | | | | |
| 2　教員のＩＣＴ活用指導力向上のための研修等を充実します。 | | | | | | |
| 212　学校ICT環境整備事業　⇒H28校務支援システム導入 | 教育総務課 | 66,906 | 78,134 | 73,483 | 76,868 | 見直し |
| 情報化社会へ適応するための情報処理能力の向上、ICTを活用した授業による学力の向上、校務処理の効率化を図るため、教育用、校務用PC、周辺機器等の計画的な更新を行う。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **施策5　健やかな体を育てる教育の充実** | | | | | | |
| 1　健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組みを推進します。 | | | | | | |
| 2　望ましい食習慣を身につけ、家庭や地域と連携した食育を推進します。 | | | | | | |
| 3　安全で安心な給食を提供する取組みを進めるとともに、施設・設備の整備を進めます。 | | | | | | |
| 4　児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。 | | | | | | |
| 223　中学校体育連盟支援事業 | 教育総務課 | 5,323 | 5,323 | 5,411 | 5,411 | 継続 |
| 北広島市中学校体育連盟が実施する市内、管内大会を通じて、中学生の体位、体力の向上、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成を図るため、同連盟に事業費を交付する。 | | | | | | |
| 225　全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業 | 教育総務課 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 継続 |
| 中学校の生徒が、日本及び北海道中学校体育連盟主催大会に出場する場合や、予選大会を経て全道規模以上の文化部活動大会等に出場する場合にその派遣に要する費用の一部を助成する。 | | | | | | |
| 208　食に関する指導の推進事業 | 給食センター | 90 | 64 | 64 | 64 | 継続 |
| 給食や関連する教科等を通して自分で健康を考える力を育み、将来にわたって健康な生活が送れるように食の指導の充実を図る。 | | | | | | |
| 207　学校給食衛生管理事業 | 給食センター | 3,850 | 7,702 | 7,862 | 8,022 | 継続 |
| 給食用食品の微生物検査・理化学検査の実施、給食施設・設備の更新 | | | | | | |
| 350　学校給食費公会計化事業 | 給食センター | 0 | 9,983 | 4,627 | 4,627 | 継続 |
| 適正で透明な会計処理及び給食費収納に係る教職員の事務負担の軽減のため、現在は私会計で運営している学校給食費を平成28年4月から公の市会計に組み込む。 | | | | | | |
| 経常　学校保健事業 | 学校教育課 | 14,352 | 14,352 | 14,352 | 14,352 | 継続 |
| 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催　（小・中） | | | | | | |
| 経常　スポーツ振興センター負担金等 | 学校教育課 | 4,612 | 4,612 | 4,612 | 4,612 | 継続 |
| 学校管理下中の児童生徒の事故に対する医療費等への補償対応　（小・中） | | | | | | |
| 経常　北広島市小・中学校給食運営委員会経費 | 給食センター | 714 | 554 | 198 | 198 | 継続 |
| 学校給食の運営を行うための助言を受ける委員会　委員13名　（小・中） | | | | | | |
| 経常　学校給食施設維持管理経費 | 給食センター | 14,651 | 10,142 | 10,142 | 10,142 | 継続 |
| 学校給食を提供する為の施設維持管理経費　（小・中） | | | | | | |
| 経常　学校給食運営経費 | 給食センター | 256,022 | 256,022 | 256,022 | 256,022 | 継続 |
| 学校給食を提供する為の運営経費　栄養士・ボイラー技士等の報酬ほか(小・中) | | | | | | |
| 経常　北海道学校給食研究協議会負担金 | 給食センター | 37 | 37 | 37 | 37 | 継続 |
| 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行い学校給食の向上を図る　道内市町村が会員 | | | | | | |
| **施策6　特別支援教育の充実** | | | | | | |
| 1　通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。 | | | | | | |
| 2　特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。 | | | | | | |
| 3　特別支援学校や関係機関との連携を充実します。 | | | | | | |
| 209　特別支援教育就学奨励費援助事業 | 学校教育課 | 2,155 | 2,222 | 2,265 | 1,976 | 継続 |
| 特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の負担を軽減するため、学用品費等を支援する。　また、通級教室児童を対象に通学費援助も行う。 | | | | | | |
| 211　特別支援教育推進事業 | 学校教育課 | 36,646 | 42,462 | 42,462 | 42,462 | 継続 |
| 特別支援学級児童生徒支援へ介助員配置、通常学級児童支援の特別支援教育支援員の配置、各研修事業の実施 他　H28年度まですべての小中学校に配置 | | | | | | |
| 経常　就学指導委員会 | 学校教育課 | 652 | 652 | 652 | 652 | 継続 |
| 特別支援教育を必要とする児童生徒の就学について調査検討する委員会を開催 | | | | | | |
| 経常　特別支援教育アドバイザーの配置 | 学校教育課 | 5,111 | 5,111 | 5,111 | 5,111 | 継続 |
| 障がい児教育の専門的な知識を有する人材を学校教育課に２名配置する。（非常勤） | | | | | | |
| 経常　特別支援教育関連協議会 | 学校教育課 | 76 | 76 | 76 | 76 | 継続 |
| 障がい児教育の振興を図るため、北海道障害児教育連盟、北海道言語障害児研究協議会への参加 | | | | | | |
| **施策7　社会の変化や課題に対応した教育の推進** | | | | | | |
| 1　国際化に対応するため、外国語指導助手（ALT)のもと、コミュニケーション能力の育成を図ります。 | | | | | | |
| 2　情報活用能力の育成や情報モラル教育を推進します。 | | | | | | |
| 3　市の共通実践課題として、環境、福祉、人権、平和教育を位置づけ、より充実・発展させるための取組みを推進します。 | | | | | | |
| 4　姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。 | | | | | | |
| 5　望ましい社会性や勤労観・職業観を育成するキャリア教育を推進します。 | | | | | | |
| 213　外国語指導助手活用事業 | 学校教育課 | 15,446 | 15,680 | 15,711 | 15,877 | 継続 |
| 英語指導助手を4名任用し、中学校の外国語授業及び小学校の外国語活動に派遣し、担当教師とともにチーム・ティーチングで授業を実施する。 | | | | | | |
| 378　外国語指導助手活用事業【拡大】 | 学校教育課 | | 0 | 7,037 | 7,037 | 拡大 |
| 新学習指導要領が前倒しになる予定を受け、平成29年度から移行措置となる小学校外国語活動の小学校3年生からの支援を行う為、外国語指導助手を2名増員する。 | | | | | | |
| 228　郷土資料教材化事業　⇒　「地域に根ざした特色ある学校教育推進事業」へ統合 | 学校教育課 | 2,587 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 社会科副読本の編集委員会の開催及び改訂版の作成、郷土資料教材化編集委員会の開催のデジタル教材の更新 | | | | | | |
| 300　姉妹都市子ども大使交流事業 | 教育総務課 | 2,806 | 2,806 | 2,855 | 2,855 | 継続 |
| 小中学生による姉妹都市東広島市との相互訪問により、両市の友好親善を深めるとともにふるさと意識を高める。広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式等への参列。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策２　信頼され、魅力ある学校づくりの推進** | | | | | | |
| **施策8　開かれた学校づくりの推進** | | | | | | |
| 1　家庭や地域の教育的ニーズに対応した教育活動を推進します。 | | | | | | |
| 2　学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント・サイクルによる学校改善を推進します。 | | | | | | |
| 3　学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、広報活動を充実します。 | | | | | | |
| 4　地域の方々の教育活動への参加や学校資源を地域へ提供するなど学校と地域の双方向の連携を推進します。 | | | | | | |
| 215　学校評議員等運営支援事業 | 学校教育課 | 276 | 276 | 207 | 207 | 継続 |
| 学校評議員（各5名）、学校関係者評価委員（各8名）の委嘱 他、 運営費交付金1校23,000円 | | | | | | |
| 353　コミュニティ・スクール推進事業【旧：コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業】 | 学校教育課 | 394 | 455 | 934 | 837 | 継続 |
| H25コミュニティ・スクール導入調査研究を実施以降、継続実施と他中学校区に広げていく。 | | | | | | |
| **施策9　教育環境の整備** | | | | | | |
| 1　研修機会の充実や適切な教職員評価を通じて、教職員の資質の向上を図ります。 | | | | | | |
| 2　適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。 | | | | | | |
| 3　教育施設の老朽化や、児童生徒数の増減に対応した施設の整備を推進します。 | | | | | | |
| 4　児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。 | | | | | | |
| 5　二学期制や小中一貫教育等の新しい教育システムについて検討を進めます。 | | | | | | |
| 6　家庭、地域による学校への支援を支える取組みを推進します。 | | | | | | |
| 7　小・中・高等学校教育等への就学を支援します。 | | | | | | |
| 216　学校教育団体活動支援事業 | 教育総務課 | 4,630 | 4,780 | 4,703 | 4,703 | 継続 |
| 教職員の資質の向上と教育内容及び学校経営の充実を図るため、教育関係団体が行う活動の経費の一部を助成する。 | | | | | | |
| 229　教師用指導書等整備事業 | 学校教育課 | 12,604 | 2,167 | 1,625 | 9,427 | 継続 |
| 小中学校用教科書が全面改訂に伴う教師用教科書、指導書の整備　（小　中） | | | | | | |
| 240　学校施設空気環境測定事業 | 教育総務課 | 673 | 673 | 686 | 686 | 継続 |
| シックスクール対策の一環として、「学校環境衛生上の基準」に基づき、教室内のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について空気中濃度測定を実施し、良好な衛生環境確保に努める。 | | | | | | |
| 218　学校事務機器整備事業 | 教育総務課 | 745 | 3,661 | 3,726 | 3,726 | 継続 |
| 学校事務の効率化、児童生徒の確かな学力の定着・向上、保護者・地域との連携を図るために、学習プリントや保護者・地域へ配布する印刷物作成に必要な事務機器等を整備する。 | | | | | | |
| 231　学校放送設備整備事業 | 教育総務課 | 9,807 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 継続 |
| 学校の放送設備や視聴覚設備の老朽化に伴う整備や時代に合った設備に更新することにより、設備を有効に活用し、教育活動の充実を図る。 | | | | | | |
| 217　理科教材等整備事業 | 教育総務課 | 3,248 | 3,272 | 3,272 | 3,272 | 継続 |
| 国の補助を受け、理科教育で必要となる教材教具を小中学校に購入・更新し、教育の充実を図る。 | | | | | | |
| 222　学校施設管理機器整備事業 | 教育総務課 | 412 | 2,066 | 2,103 | 2,103 | 継続 |
| 良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。 | | | | | | |
| 236　緑陽中学校校舎・屋体地震補強・大規模改造事業⇒学校の適正配置の方針が確定した段階で実施 | 教育総務課 | 81,507 | 0 | 0 | 15,815 | 継続保留 |
| 昭和52年度に建設され、築後38年余が経過し老朽化が進んでいることから、校舎棟の大規模改造工事と耐震化の必要な体育館の地震補強工事及び大規模改造工事を合せて実施する。 | | | | | | |
| 271　東部小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 1,030 | 21,650 | 0 | 0 | 継続 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新する。H28講堂防機能音復旧工事 | | | | | | |
| 360　学校施設非構造部材耐震化事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 市内小中学校体育館の非構造部材（吊り天井、照明器具、ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ等）について耐震改修を実施。H25調査　事業を延長。H31実施設計委託　H32以降工事、工事監理委託 | | | | | | |
| 257　東部中学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | | 0 | 279,200 | 186,300 | 見直し |
| 築後25年が経過し老朽化が進んでいるため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。H26実施設計委託　工事期間をH29、H30の2カ年で実施 | | | | | | |
| 276　大曲東小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | 1,030 | 33,820 | 0 | 継続 |
| 温度保持換気設備機器等の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新する。H28実施設計委託　H29工事及び工事監理委託 | | | | | | |
| 363　西の里中学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | 0 | 1,310 | 53,870 | 継続 |
| 平成8年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。H29実施設計委託　H30工事及び工事監理委託 | | | | | | |
| 364　西の里小学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | 0 | 1,230 | 42,930 | 継続 |
| 平成6年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。H29実施設計委託　H30工事及び工事監理委託 | | | | | | |
| 369　東部中学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 1,110 | 32,400 | 0 | 0 | 継続 |
| 温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。H27実施設計委託　H28工事及び工事監理委託 | | | | | | |
| 375　小中学校周辺環境整備事業 | 教育総務課 | 8,659 | 11,664 | 6,465 | 6,465 | 継続 |
| 市内小中学校敷地内にある駐車場舗装やｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞなどの外構工事、屋外物置などの付属建築物及び屋外施設(遊具、ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ散水栓、ﾃﾆｽｺｰﾄ、ﾌｪﾝｽ、防球ﾈｯﾄ等)を計画的に更新する。 | | | | | | |
| 361　大曲中学校屋体大規模改造事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | 0 | 104,900 | 0 | 0 | 継続 |
| 屋内体育館は、昭和62年度に改築され、築後28年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |
| 379　西の里中学校屋体大規模改造事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | 0 | 112,300 | 0 | 0 | 継続 |
| 昭和63年度に改築され、築後27年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |
| 380　大曲東小学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | 0 | 173,000 | 0 | 0 | 継続 |
| 平成3年度に新築され、築後24年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |
| 381　東部中学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業（旧：屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業を分割） | 教育総務課 | 0 | 237,000 | 0 | 0 | 継続 |
| 平成元年度に新築され、築後26年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |
| 362　北の台小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 1,090 | 新規 |
| 平成9年度講堂に更新した温度保持換気設備機器類の更新を実施する。H30:実施設計　H31：工事・工事監理 | | | | | | |
| 382　大曲小学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 1,570 | 新規 |
| 平成11年度校舎に更新した温度保持換気設備機器類の更新を実施する。H30:実施設計　H31：工事・工事監理 | | | | | | |
| 338　大曲東小学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 9,300 | 新規 |
| 平成3年度に新築され、築後24年が経過し、老朽化が顕著であるため、校舎の大規模改造工事を実施する。H30:実施設計　H31～H32：工事・工事監理 | | | | | | |
| 383　大曲中学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | 0 | 0 | 8,900 | 新規 |
| 築後37年から25年が経過し（北校舎を除く）老朽化が顕著であるため、校舎の大規模改造工事を実施する。H30:実施設計　H31～H32：工事・工事監理 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| 317　学校支援地域本部事業 | 社会教育課 | 7,872 | 7,935 | 7,935 | 7,935 | 継続 |
| 地域住民や学校支援ボランティアなどによる学校支援をより効果的に行うための体制を充実するため、「学校支援コーディネーター」を２名配置し、効果的に学校を支援する。 | | | | | | |
| 359　学校支援地域本部事業【拡大】 | 社会教育課 | | 1,856 | 1,856 | 1,856 | 拡大保留 |
| 学校を地域で支える体制の充実を図るため、学校支援コーディネーターを非常勤化する。⇒非常勤職員の配置については、総務部の人員配置により査定 | | | | | | |
| 220　児童生徒の通学費支援事業 | 学校教育課 | 2,569 | 3,153 | 3,153 | 3,153 | 継続 |
| 遠距離通学等で、公共交通機関を利用して市立小中学校に通学している児童・生徒及び自家用車による送迎を常としている児童生徒の保護者に通学に要する経費の一部を支援する。 | | | | | | |
| 232　高等学校等入学準備金支給事業 | 学校教育課 | 2,400 | 2,800 | 2,600 | 2,600 | 継続 |
| 市内に住所を有し高等学校等に入学した生活困窮世帯の生徒の保護者の経済的負担軽減のため、入学時に必要となる経費の一部として、入学準備金を支給する。20,000円支給 | | | | | | |
| 221　要保護・準要保護児童生徒援助事業 | 学校教育課 | 125,160 | 127,012 | 124,800 | 121,747 | 継続 |
| 生活保護世帯（要保護）や経済的困窮世帯（準要保護）の児童生徒に対し、就学に必要な経済的な援助を行うことで、平等に義務教育を受ける権利を保障する。 | | | | | | |
| 233　奨学金支給事業 | 学校教育課 | 5,400 | 5,400 | 5,400 | 5,400 | 継続 |
| 経済的な理由によって高等学校等の就学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、等しく教育を受ける機会を与える。月額5,000円支給。 | | | | | | |
| 309　私立学校教育振興事業 | 教育総務課 | 1,350 | 1,350 | 1,371 | 1,371 | 継続 |
| 本市に本校を有する私立高等学校が行う教育活動を支援することにより、私立学校の教育環境の充実と保護者への負担軽減を図る。 | | | | | | |
| 経常　義務教育施設整備基金利息積立 | 教育総務課 | 157 | 157 | 157 | 157 | 継続 |
| 義務教育施設整備基金の利息を積立 | | | | | | |
| 経常　小学校管理経費 | 教育総務課 | 118,300 | 110,160 | 110,160 | 110,160 | 継続 |
| 施設維持管理（修繕費・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか）（経常分110,160・臨時分4,746・営繕基金3,394） | | | | | | |
| 経常　中学校管理経費 | 教育総務課 | 89,742 | 86,694 | 86,694 | 86,694 | 継続 |
| 施設維持管理（修繕費・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか）（経常分86,694・臨時分2,665・営繕基金383） | | | | | | |
| 経常　中学校教育振興経費（学校教育課分） | 学校教育課 | 551 | 551 | 551 | 551 | 継続 |
| 和楽器（箏）の借上げ | | | | | | |
| 経常　奨学生選考委員会 | 学校教育課 | 28 | 28 | 28 | 28 | 継続 |
| 奨学生を選考するための委員会開催 | | | | | | |
| 経常　北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会 | 学校教育課 | 48 | 48 | 48 | 48 | 継続 |
| 通学区域を設定及び変更するため、通学区域審議会を開催する。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色：新規、
緑：拡大、青：見直し
紫色：内示額

【単位：千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策３　やさしく支えあう教育連携の推進** | | | | | | |
| 施策10 家庭の教育力向上への支援内容の充実 | | | | | | |
| 1　あたたかな家庭づくりへの支援 | | | | | | |
| 2　地域を取り巻く社会環境の変化や氾濫する情報への対応など、家庭の教育力向上のための学習機会や市民・関係団体と連携し、家庭教育を支援する柔軟なネットワークを充実します。 | | | | | | |
| 292　家庭教育支援事業 | 社会教育課 | 60 | 120 | 120 | 120 | 継続 |
| 子どもたちの学力向上の基礎となる生活習慣づくりを進めるため、家庭教育支援に関する実践活動を実施 | | | | | | |
| 354　家庭教育支援事業【拡大】 | 社会教育課 | | 0 | 0 | 0 | 拡大不採択 |
| 「子ども朝活」事業を市内各地で展開する。⇒子ども朝活のあり方や運営方法について検討が必要。 | | | | | | |
| 255　北広島市ＰＴＡ連合会支援事業 | 学校教育課 | 325 | 325 | 325 | 325 | 継続 |
| 児童生徒の健全育成を進めるため、学校単位のＰＴＡの連携を図り、保護者等を対象とした研修会等を実施するＰＴＡ連合会の活動を支援する。 | | | | | | |
| 施策11 教育相談体制の充実 | | | | | | |
| 1　いじめ・不登校の問題を早期に解消するため、訪問指導アドバイザー（臨床心理士）、訪問相談員（メンタルフレンド）、スクールカウンセラー（道費）など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。 | | | | | | |
| 2　不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。 | | | | | | |
| 3　インターネット上での新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害を防ぐため、携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒・保護者に対して啓発を図ります。 | | | | | | |
| 4　青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などと連携を強化していきます。 | | | | | | |
| 249　不登校いじめ対策・教育相談事業 | 学校教育課 | 13,187 | 13,333 | 13,360 | 13,255 | 継続 |
| 適応指導教室の運営、指導員2名の配置。訪問指導アドバイザー(臨床心理士）1名配置。教育相談員1名配置。訪問相談員１名配置。 | | | | | | |
| 311　青少年健全育成啓発事業　⇒　青少年健全育成事業と統合 | 学校教育課 | 336 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 青少年健全育成大会の開催、安全安心講演会の開催、子どもサポートセンターだより「きずな」の発行 | | | | | | |
| 施策12 地域が支える健全育成活動の充実 | | | | | | |
| 1　子どもサポートセンターの相談・支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。 | | | | | | |
| 2　各種大会や地域の安心安全講座などを通じて全市的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。 | | | | | | |
| 254　青少年健全育成連絡協議会支援事業　⇒　青少年健全育成事業に統合 | 学校教育課 | 450 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| 学校、家庭、地域が一体となり、地域で子どもたちを守り、育み、安全安心な地域環境づくりをめざすため、各地区の青少年健全育成連絡協議会の活動を支援する。 | | | | | | |
| 256　青少年安全対策事業　※不審者メール配信システムを新システムに移行 | 学校教育課 | 9,174 | 9,719 | 8,944 | 8,944 | 見直し |
| 専任指導員の配置による各種活動、不審者情報のメール発信、スクールガードリーダーによる通学路等の安全確認、通学路安全指導員を配置 など | | | | | | |
| 312　放課後子ども教室事業 | 学校教育課 | 1,323 | 1,716 | 1,666 | 1,666 | 継続 |
| 大曲小学校をモデル実施として、放課後や長期休業中に小学校の余裕教室等を活用し、児童の活動拠点を設け、学習支援等の活動を週1回程度行う。コーディネーター等を配置 | | | | | | |
| 251　成人式開催事業 | 社会教育課 | 683 | 696 | 696 | 696 | 継続 |
| 成人としての自覚と責任を促すとともに、祝福・激励の機会として成人式を実施する。 | | | | | | |
| 253　青少年健全育成事業⇒「青少年健全育成連絡会議支援事業」及び「青少年健全育成啓発事業」を統合 | 学校教育課 | 65 | 821 | 821 | 821 | 見直し |
| 青春メッセージの開催、青少年リーダー養成・体験交流の推進、健全育成大会、安全安心講演会、センターだより「きずな」発行、地区協議会への補助事業、健全育成活動の展開 | | | | | | |
| 経常　青少年健全育成推進委員会 | 学校教育課 | 120 | 120 | 120 | 120 | 継続 |
| 青少年の健全育成に関し調査審議 | | | | | | |
| 経常　青少年健全育成経費 | 学校教育課 | 531 | 531 | 531 | 531 | 継続 |
| 5地区広域指導連絡協議会、北海道青少年育成協会負担金、借上車経費 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策４　学びあい、教えあう社会教育の推進** | | | | | | |
| 施策13 市民の学習活動への支援内容の充実 | | | | | | |
| 1　市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通したコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。 | | | | | | |
| 2　社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実を図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。 | | | | | | |
| 3　市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。 | | | | | | |
| 258　生涯学習市民活動支援事業 | 社会教育課 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 継続 |
| 市民団体が主体的に企画実施する生涯学習に関する事業へ財政的な支援を行い、市民に多様な学習機会を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体を育成する。 | | | | | | |
| 259　元気フェスティバル連携事業 | 社会教育課 | 675 | 675 | 675 | 675 | 継続 |
| 市民の生涯学習に対する理解や関心を深めるとともに、市民及び団体の交流を促進する。 | | | | | | |
| 313　生涯学習振興会支援事業 | 社会教育課 | 18,136 | 18,307 | 18,307 | 18,307 | 継続 |
| 生涯学習の振興や地域づくり・ｺﾐｭﾆﾃｨ活動の要として、各地区における住民主導の組織「生涯学習振興会」に対する支援を行い地域の生涯学習の推進を図る。 | | | | | | |
| 349　生涯学習振興会支援事業【拡大】 | 社会教育課 | | 5,521 | 5,521 | 5,521 | 拡大 |
| 団地地区生涯学習振興会の設置と振興会交付金の見直しを行う。　⇒事業周知については、広報折り込みではなく、町内会回覧などを活用。 | | | | | | |
| 施策14 地域や世代を見据えた学習機会の充実 | | | | | | |
| 1　各世代別での学習ニーズに応え、産･学･官･民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。 | | | | | | |
| 2　社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。 | | | | | | |
| 3　市民の多様な学習ニーズに的確に対応することや、主体的な学習活動を支援するため、教育情報提供システム「学び舎・楓」の充実に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。 | | | | | | |
| 4　市民の主体的な学習をサポートするため、IT予約システムなどにより、社会教育施設や公共施設のネットワーク化を図ります。 | | | | | | |
| 323　国際交流事業 | 社会教育課 | 1,404 | 392 | 1,404 | 392 | 継続 |
| 地域に根ざした国際交流事業の実施を通して、市民レベルの相互理解と友好親善を目的に活動する、北広島国際交流協議会を支援する。 | | | | | | |
| 261　フレンドリーセンター運営事業 | 社会教育課 | 757 | 992 | 992 | 992 | 継続 |
| 障がい者が生涯学習を通じて、学び、交流する場を提供する。市民の主体的な学習活動を積極的に支援するとともに、学習・発表の機会や活動の場を提供する。 | | | | | | |
| 262　中央公民館活動推進事業 | 社会教育課 | 347 | 355 | 355 | 355 | 継続 |
| 市民の主体的な学習活動を積極的に支援するとともに、ｻｰｸﾙや団体の学習成果発表の場を提供する。中央公民館指定管理制度導入後の事業の継続について方向性を検討。 | | | | | | |
| 314　生涯学習支援情報システム整備事業 | 文化課 | 11,642 | 11,390 | 11,390 | 11,390 | 継続 |
| 生涯学習支援情報システムを運用し、図書館及び市内公共施設が持つ学習機能の充実を図るとともに、使用料の管理など安全で安心できる施設運営を補助する。 | | | | | | |
| 施策15 施設の充実による学習環境の整備 | | | | | | |
| 1　生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。 | | | | | | |
| 2　市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、既存施設の有効活用を図ります。 | | | | | | |
| 3　学習や研修の機会を提供する公民館施設の充実を図るとともに、地域コミュニティの拠点として計画的な整備を進めます。 | | | | | | |
| 352　西の里公民館改修事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 平成21年度の耐震診断の結果、構造耐震指標値（Is)が0.470で、耐震改修促進法で定められた基準値0.6を下回っていることから、耐震改修工事を実施する。⇒保留 | | | | | | |
| 356　フレンドリーセンター施設解体工事事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| フレンドリーセンターの老朽化に伴い、施設の取壊工事を行う。⇒保留 | | | | | | |
| 371　林間学園・レクリエーションの森整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 施設の老朽化が進んでいることから、安全・快適に利用していただくための整備方針について検討する。 | | | | | | |
| 経常　林間学園・レクリエーションの森開放事業 | 社会教育課 | 6,713 | 6,713 | 6,713 | 6,713 | 継続 |
| 林間学園・レクリエーションの森の管理運営 | | | | | | |
| 経常　公民館管理事業 | 社会教育課 | 33,374 | 33,374 | 33,374 | 33,374 | 継続 |
| 中央及び西の里公民館の管理運営 | | | | | | |
| 経常　社会教育施設等草刈経費 | 社会教育課 | 500 | 500 | 500 | 500 | 継続 |
| 社会教育施設等（駅西口広場、中央及び西の里公民館、レクリエーションの森）の草刈りの実施 | | | | | | |
| **政策５　郷土愛を育む教育活動の推進** | | | | | | |
| 施策16 エコミュージアム構想の展開 | | | | | | |
| 1　文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。 | | | | | | |
| 2　郷土に関する学習や、体験学習を通して、郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を培い、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。 | | | | | | |
| 3　エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。 | | | | | | |
| 4　重要な郷土資料を保全し、市民参加、情報サービスの発信・提供、資料の展示等、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。 | | | | | | |
| 266　エコミュージアム普及推進事業 | ｴｺﾐｭｰｼﾞｱﾑｾﾝﾀｰ | 4,054 | 5,268 | 5,777 | 5,777 | 継続 |
| センターを拠点に、市内各地に存在する自然遺産や歴史遺産などを現地において保存・育成・展示し、魅力ある地域づくり・まちづくりを行政と市民の協働で推進する。 | | | | | | |
| 243　エコミュージアム普及推進事業 | ｴｺﾐｭｰｼﾞｱﾑｾﾝﾀｰ | | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 拡大 |
| 地域遺産を表示する説明板、案内標柱等を設置。所蔵資料整理等のための業務委託。 | | | | | | |
| 267　旧島松駅逓所周辺整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| より多くの市民に観覧してもらい、駅逓所を身近に感じ取ってもらうことによって、開拓の歴史の理解を深めてもらうため、旧島松駅逓所の周辺の隣地の整備を行う。 | | | | | | |
| 385　旧島松駅逓所大規模改修事業 | ｴｺﾐｭｰｼﾞｱﾑｾﾝﾀｰ | 0 | 2,000 | 2,500 | 20,000 | 新規 |
| 国指定史跡である旧島松駅逓所を老朽化させずに将来へ受け継いでいくため、建物及び敷地内の池、見本田、記念碑、植栽、柵などを修繕する。 | | | | | | |
| 施策17 文化財の保存と活用 | | | | | | |
| 1　史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。 | | | | | | |
| 2　郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集保存を進めます。また、市文化財の指定を行い、保存します。 | | | | | | |
| 3　郷土文化、伝承事業に対する支援を進めます。 | | | | | | |
| 268　文化財保存・活用事業 | ｴｺﾐｭｰｼﾞｱﾑｾﾝﾀｰ | 5,920 | 5,868 | 5,924 | 5,924 | 継続 |
| 駅逓所及び東記念館郷土資料室の維持管理・開館事業、水稲赤毛種保存会交付金 他 北広島市文化財保護審議会の開催 | | | | | | |
| 333　郷土文化伝承支援事業 | ｴｺﾐｭｰｼﾞｱﾑｾﾝﾀｰ | 212 | 212 | 212 | 212 | 継続 |
| 北広島の郷土芸能の一つとして後世に伝えるため、保存・継承していくことを支援する。広島音頭保存会・広島ふるさと太鼓保存会等の補助金交付 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策６　生涯にわたる読書活動の推進** | | | | | | |
| 施策18 図書館サービスの充実 | | | | | | |
| 1　市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。 | | | | | | |
| 2　地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。 | | | | | | |
| 3　図書館フィールドネットなどの市民との協働により、乳幼児から高齢者までの生涯を通した読書活動の充実をめざします。 | | | | | | |
| 4　図書館や北広島団地住民センター、西の里公民館の図書室などの整備・拡充を図ります。 | | | | | | |
| 269　図書館サービス提供事業 | 文化課 | 20,876 | 22,050 | 22,458 | 22,458 | 継続 |
| 図書、記録、郷土資料、視聴覚資料などの収集。情報検索データベースを利用したレファレンスサービス等の提供。宅配サービス提供。光ステーションを活用。 | | | | | | |
| 270　図書館フィールドネット連携事業 | 文化課 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 継続 |
| 図書館のボランティア団体で構成する北広島市図書館フィールドネット運営委員会を支援し、各種読書普及事業を通して市民の読書への関心・興味を高める。 | | | | | | |
| 経常　図書館運営 | 文化課 | 58,417 | 61,066 | 61,066 | 61,066 | 継続 |
| 図書館の施設維持管理、移動図書館車の運行（経常・臨時） | | | | | | |
| 経常　図書館利用モニター | 文化課 | 27 | 27 | 27 | 27 | 継続 |
| 図書館サービスの匿名モニターによる把握に関する経費 | | | | | | |
| 経常　北広島市図書館協議会 | 文化課 | 128 | 128 | 128 | 128 | 継続 |
| 図書館法に定める外部委員会、図書館運営等意見、諮問　委員10名 | | | | | | |
| 経常　読書環境整備事業 | 文化課 | 556 | 300 | 300 | 300 | 継続 |
| 図書サービス備品の更新。団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向け検討 | | | | | | |
| 施策19 子どもの読書活動推進 | | | | | | |
| 1　市民との協働を踏まえながら、新たな「北広島市子どもの読書活動推進計画」を策定し（H23策定済）、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。 | | | | | | |
| 2　学校図書館においては蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園とのネットワーク化を推進します。 | | | | | | |
| 経常　幼児読書活動推進事業 | 文化課 | 0 | 20 | 20 | 20 | 継続 |
| 幼稚園・保育園に対しての幼児絵本の巡回事業を実施 | | | | | | |
| **政策７　芸術文化活動の振興** | | | | | | |
| 施策20 個性豊かな地域文化の振興 | | | | | | |
| 1　芸術文化創造プランを策定し（H23策定済）、芸術文化の創造を担う人材の育成と活動の場の創出を進めます。 | | | | | | |
| 2　優れた芸術文化活動に対する顕彰を行うとともに、市民が主体的に取り組む芸術文化活動を積極的に支援します。 | | | | | | |
| 3　ワークショップやセミナーなど、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。 | | | | | | |
| 4　芸術文化活動に主体的に取り組んでいる市民団体やサークルを支援します。 | | | | | | |
| 5　芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。 | | | | | | |
| 272　文化賞等表彰事業　⇒スポーツ賞・文化賞等表彰事業に統合 | 文化課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 統合 |
| １１月３日の文化の日に、優秀な文化活動を行う市民（成人・青少年）や団体の顕彰を行う。 | | | | | | |
| 274　市民文化祭奨励事業 | 文化課 | 650 | 650 | 650 | 650 | 継続 |
| 市民の芸術文化活動を発表する機会の提供とその支援を行う。市民総合文化祭・地区文化祭（4地区）への交付金交付 | | | | | | |
| 273　文化団体活動支援事業 | 文化課 | 640 | 640 | 640 | 640 | 継続 |
| 芸術文化活動を行う各種団体に対し、各団体の芸術文化事業への支援を実施する。 | | | | | | |
| 278　文化施設修繕事業 | 文化課 | 21,330 | 33,228 | 27,347 | 30,000 | 見直し |
| 各機器等の耐用年数なども考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所を計画的に修繕。練習室床修繕・文化施設内椅子修繕を追加 | | | | | | |
| 341　芸術文化ホール設備修繕事業 | 文化課 | 9,380 | 13,000 | 12,540 | 18,500 | 継続 |
| 文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、各機器等の耐用年数なども考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所を計画的に修繕する。 | | | | | | |
| 384　児童・生徒全国文化大会参加支援事業　⇒芸術文化振興審議会からの答申をもって事業化を検討 | 文化課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 新規不採択 |
| 北海道内で優秀な成績を収め、北海道代表として全国大会に出場する児童・生徒へ、大会出場に関する経費（参加旅費等）の一部を補助する。 | | | | | | |
| 経常　文化施設維持管理 | 文化課 | 60,497 | 60,497 | 60,497 | 60,497 | 継続 |
| 芸術文化ホール、図書館の施設の管理、清掃、警備等の経費　（経常　臨時　） | | | | | | |
| 経常　芸術文化ホール管理 | 文化課 | 35,728 | 35,728 | 35,728 | 35,728 | 継続 |
| 芸術文化ホールの舞台設備運営、窓口業務、設備備品保守点検、借上車経費 | | | | | | |
| 経常　北広島市芸術文化振興審議会 | 文化課 | 124 | 124 | 124 | 124 | 継続 |
| 芸術文化の振興について教育委員会からの諮問に応じ調査審議　委員10名 | | | | | | |
| 施策21 市民等との連携による芸術文化活動の展開 | | | | | | |
| 1　地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動（メセナ）を行う企業との共催、他の公共ホールなどとの連携を推進します。 | | | | | | |
| 2　芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。 | | | | | | |
| 3　市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。 | | | | | | |
| 279　芸術文化ホール運営委員会連携事業 | 文化課 | 11,835 | 11,882 | 11,882 | 11,882 | 継続 |
| 芸術文化ホール運営委員会に交付金を交付し、市と協働で芸術鑑賞型事業及び芸術創造事業を展開する。また、常勤の事務局員を配置し、主体的な活動を促進する。 | | | | | | |
| 280　花ホールスタッフの会支援等事業 | 文化課 | 320 | 320 | 320 | 320 | 継続 |
| 芸術文化ホールを拠点に活動する花ホールスタッフの会に交付金を交付し、主催する鑑賞事業のサポート活動やバーコーナー運営、貸館サポート活動を展開する。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策８　健康づくりとスポーツ活動の推進** | | | | | | |
| **施策22 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進** | | | | | | |
| 1　市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。 | | | | | | |
| 2　市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。 | | | | | | |
| 3　スポーツ推進委員や地区生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。 | | | | | | |
| 286　きたひろしま３０Kmロードレース連携事業 | 社会教育課 | 300 | 324 | 324 | 324 | 継続 |
| 健康で生きがいのあるスポーツ活動の促進を図るためにきたひろしま30kmロードレースを開催する実行委員会と連携する。 | | | | | | |
| 288　市民スポーツ活動推進事業 | 社会教育課 | 497 | 600 | 542 | 500 | 継続 |
| 市民だれもが、生涯にわたりｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ活動をはじめ、児童生徒・障がいのある人のｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動の支援を推進する。 | | | | | | |
| 365　市民スポーツ活動推進事業【拡大】 | 社会教育課 | | 0 | 0 | 0 | 拡大不採択 |
| 事業の見直しを行い、スポーツ・健康づくり事業を展開する。⇒事務事業評価において、各種大会への補助の必要性を検討することとしており、その中で拡大を検討 | | | | | | |
| 386　ゴロッケー普及推進事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 新規不採択 |
| 北広島生まれの軽スポーツ「ゴロッケー」を普及・推進するとともに、本市の魅力として情報発信する。⇒シティセールスとの連携による知名度向上手法等について検討。 | | | | | | |
| 387　スポーツ地域活性化事業　⇒行政組織の再編に合わせて検討（観光・イベント課） | 社会教育課 | 0 | 2,944 | 2,444 | 2,644 | 新規保留 |
| スポーツによる市の魅力を発信するとともにまちの活性化を図るため、全国・全道大会、スポーツ合宿の誘致などを進めるとともに、スポーツ・健康づくり活動を展開する。 | | | | | | |
| 経常　スポーツ推進委員 | 社会教育課 | 594 | 594 | 594 | 594 | 継続 |
| スポーツ振興のための実技指導、各大会の企画運営、管内協議会への参加 | | | | | | |
| **施策23 競技スポーツの振興** | | | | | | |
| 1　ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、北広島少年スポーツアカデミーにおける選手の強化育成や底辺拡大、指導者の養成に取り組むとともに、中学校部活動への支援などを行います。 | | | | | | |
| 2　国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。 | | | | | | |
| 3　市体育協会やスポーツ少年団本部に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。 | | | | | | |
| 290　スポーツアカデミー事業 | 社会教育課 | 1,098 | 1,109 | 1,109 | 1,109 | 継続 |
| 全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業を実施する。 | | | | | | |
| 390　スポーツアカデミー事業【拡大】 | 社会教育課 | | 0 | 0 | 0 | 拡大不採択 |
| ジュニアスポーツ選手の育成強化を図るため、中学校部活動支援などを拡大する。⇒スポーツ団体との連携方法について検討が必要 | | | | | | |
| 287　姉妹都市スポーツ交流事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 事業休止 |
| 姉妹都市の友好・親善を深めるため、スポーツ交流を行う。平成26年度から事業休止　2016推進計画より非表示とする。 | | | | | | |
| 282　スポーツ大会出場支援事業 | 社会教育課 | 1,000 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 継続 |
| スポーツ大会出場者への助成。スポーツとレクリエーションの判別がつきにくい大会が数多く開催されるようになってきたことから、規則の改正を実施。 | | | | | | |
| 321　スポーツ賞・文化賞等表彰事業（旧：スポーツ賞等表彰事業　※文化賞等表彰事業を統合） | 文化課 | 526 | 539 | 539 | 539 | 継続 |
| 優秀な成績を収めた選手及びスポーツの振興に寄与した者を顕彰することにより、市民のスポーツ活動を助長する。 | | | | | | |
| 284　体育協会活動支援事業 | 社会教育課 | 3,118 | 3,118 | 3,118 | 3,118 | 継続 |
| 本市のスポーツの普及・振興を図るため、北広島市体育協会の運営費及び事業費に対し、補助金を交付する。 | | | | | | |
| 285　スポーツ少年団育成事業 | 社会教育課 | 453 | 453 | 453 | 453 | 継続 |
| 青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団の運営費及び事業費に対し、スポーツ少年団本部を通じて補助金を交付する。 | | | | | | |
| **施策24 スポーツ施設の整備と運営** | | | | | | |
| 1　市民が安心して利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。 | | | | | | |
| 2　日常的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。 | | | | | | |
| 3　運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ・レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。 | | | | | | |
| 206　大曲ファミリー体育館改修事業 | 社会教育課 | 0 | 6,100 | 208,500 | 0 | 継続 |
| 建築後31年が経過し、雨漏り、天井材の落下が見られるとともに、給排水・電気・暖房等の設備の経年劣化が進んでいることから、改修工事を実施する。 | | | | | | |
| 293　学校施設（体育館）開放事業 | 社会教育課 | 5,112 | 5,273 | 5,273 | 5,273 | 継続 |
| 市民の健康維持及び体力向上に資するため、小中学校１４校の体育館の開放を行いスポーツ活動の場を提供する。 | | | | | | |
| 367　学校施設（体育館）開放事業【拡大】 | 社会教育課 | | 0 | 0 | 0 | 拡大不採択 |
| 有料化に伴い、管理体制を充実させることから、事業を拡大する。⇒委託については、現在の運用体制の見直しなどを行ったうえ、必要性について検討。 | | | | | | |
| 322　運動広場整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 市民のスポーツレクリエーションや市民の集い・交流・健康づくりの場として運動広場を整備する。平成27年度実施の国土交通省補助事業による調査結果を踏まえ、整備に向けた調査・検討を行う。 | | | | | | |
| 388　住民プール改修事業 | 社会教育課 | 0 | 540 | 0 | 0 | 新規 |
| 住民プールの老朽化が著しいことから、計画的な改修を行う。⇒年度ごとの事業費の平準化を念頭に改修計画を策定 | | | | | | |
| 389　緑葉公園体育施設改修事業 | 社会教育課 | 0 | 54 | 0 | 0 | 新規 |
| 緑葉公園体育施設改の老朽化が著しいことから、計画的な改修を行う。⇒年度ごとの事業費の平準化を念頭に改修計画を策定 | | | | | | |
| 372　自然の森キャンプ場整備事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 駐車場が不足していることから、駐車場を整備する。 | | | | | | |
| 経常　体育施設管理事業 | 社会教育課 | 106,994 | 98,445 | 98,445 | 98,445 | 継続 |
| 総合体育館・緑葉公園等管理、住民プール管理、地区体育館管理、自然の森キャンプ場管理、各施設修繕費（経常　臨時） | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（内示ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
紫色：内示額

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 内示額 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| 政策１～８を支える経常経費 | | | | | | |
| 経常経費 | | | | | | |
| 教育委員会運営経費 | | | | | | |
| 経常　教育委員に関する経費 | 教育総務課 | 3,095 | 3,095 | 3,095 | 3,095 | 継続 |
| 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置 教育委員会会議の開催、教育委員の報酬など | | | | | | |
| 教育委員会事務局運営経費 | | | | | | |
| 経常　学校業務主事に関する経費 | 教育総務課 | 31,868 | 31,868 | 31,868 | 31,868 | 継続 |
| 学校業務主事14名任用 | | | | | | |
| 経常　教育委員会事務局運営経費 | 教育総務課 | 6,489 | 6,489 | 6,489 | 6,489 | 継続 |
| 教育長ほか職員旅費 被服費・事務経費 石狩教育研修センター組合分担金 その他分担金・負担金　会議録制作支援委託 | | | | | | |
| 経常　教職員永年勤続表彰 | 学校教育課 | 3 | 3 | 3 | 3 | 継続 |
| 北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。 | | | | | | |
| 教育振興経費 | | | | | | |
| 経常　「きたひろしまの教育」作成 | 教育総務課 | 79 | 79 | 79 | 79 | 継続 |
| 教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を300冊発行 | | | | | | |
| 経常　北広島市教育施策審議会 | 教育総務課 | 349 | 308 | 308 | 308 | 継続 |
| 教育施策の関する審議及び教育委員会の事務事業に関する点検評価を行う。委員7名　H25改選 | | | | | | |
| 経常　第一地区教科用図書採択教育委員会協議会負担金 | 学校教育課 | 112 | 0 | 0 | 0 | 継続 |
| 小中学校で使用する教科用図書を採択するため、第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加する。（採択に関する調査負担金） | | | | | | |
| 教員住宅管理経費 | | | | | | |
| 経常　教員住宅管理 | 教育総務課 | 2,679 | 2,679 | 2,679 | 2,679 | 継続 |
| 校長・教頭管理者住宅、教員住宅に関する経費 | | | | | | |
| 小学校管理経費 | | | | | | |
| 経常　小学校運営経費 | 教育総務課 | 22,993 | 22,993 | 22,993 | 22,993 | 継続 |
| 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 | | | | | | |
| 経常　小学校管理経費（学校教育課関係分） | 学校教育課 | 75 | 75 | 75 | 75 | 継続 |
| 全学校共通で使用する印刷物の作成、及び入学通知書の郵便料 | | | | | | |
| 中学校管理経費 | | | | | | |
| 経常　中学校運営経費 | 教育総務課 | 17,086 | 17,086 | 17,086 | 17,086 | 継続 |
| 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 | | | | | | |
| 経常　中学校管理経費　（学校教育課関係分） | 学校教育課 | 79 | 79 | 79 | 79 | 継続 |
| 全学校共通で使用する印刷物の作成、及び入学通知書の郵便料 | | | | | | |
| 社会教育経費 | | | | | | |
| 経常　社会教育事務経費 | 社会教育課 | 81 | 81 | 81 | 81 | 継続 |
| 社会教育団体登録事務経費　その他事務経費 | | | | | | |
| 経常　社会教育委員 | 社会教育課 | 547 | 547 | 547 | 547 | 継続 |
| 社会教育法に基づき委嘱 生涯学習に関する諸計画の立案・助言 全道管内協議会への参加 | | | | | | |
| 保健体育事務経費 | | | | | | |
| 経常　スポーツ推進審議会 | 社会教育課 | 128 | 128 | 128 | 128 | 継続 |
| スポーツの振興に関する事項について調査・審議し、教育委員会に建議 | | | | | | |
| 経常　保健体育事務経費 | 社会教育課 | 602 | 602 | 602 | 602 | 継続 |
| 借上車経費及びその他事務費 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **第3章　大志をいだき学ぶまち　～人と文化を育む８つの政策と２４の施策～** | | | | | | |
| **政策１　「生きる力」を育む学校教育の推進** | | | | | | |
| **施策1　幼児教育の振興・充実** | | | | | | |
| 1　多様な体験を重視した特色ある幼児教育を奨励するとともに、障がい児の幼稚園への入園を支援します。 | | | | | | |
| 2　家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。 | | | | | | |
| 3　教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動への支援を行います。 | | | | | | |
| 200　幼稚園就園奨励費事業 | 児童家庭課 | 93,792 | 93,976 | 93,976 | | 継続 |
| 入園料・保育料の減免措置を行う私立幼稚園に助成 対象児童見込み数800名　基準単価変更 | | | | | | |
| 201　幼稚園就園準備支援事業（H26繰越明許費） | 児童家庭課 | ＜1,148＞ | 1,148 | 1,148 | | 継続 |
| 子育て支援事業の参加費を助成 対象児童見込み数230名 | | | | | | |
| 202　幼稚園協会連携事業 | 教育総務課 | 160 | 160 | 160 | | 継続 |
| 私立幼稚園協会補助 | | | | | | |
| 203　幼稚園振興事業 | 教育総務課 | 6,886 | 6,886 | 6,886 | | 継続 |
| 教材費補助・職員研修･障がい児の受入に係る経費の助成 | | | | | | |
| 376　幼保小連携推進事業 | 教育総務課 | 0 | 110 | 110 | 110 | 新規 |
| 北広島市幼児教育の連携に関する懇話会を開催。幼稚園･保育園･小学校の連携に関する研修会等の開催により、幼児教育から小学校へのスムーズな移行について検討する。 | | | | | | |
| 377　子どもの体力向上推進研究事業 | 学校教育課 | 0 | 440 | 440 | 440 | 新規 |
| 幼・保・小・中と連携した体力づくりや運動習慣、基本的な生活習慣をつくる。小学校低学年における運動嫌いを少なくするため外部指導者の派遣を行う。 | | | | | | |
| **施策2　豊かな心を育む教育の充実** | | | | | | |
| 1　人を思いやる心や人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。 | | | | | | |
| 2　基本的な倫理観や思いやりの心などを育む教育を推進します。 | | | | | | |
| 3　いじめ、不登校や様々な問題に適切な対応をするとともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。 | | | | | | |
| 4　豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。 | | | | | | |
| 301　学校教育振興事業 | 教育総務課 | 7,842 | 7,534 | 7,534 | | 継続 |
| 小学校：総合学習推進事業、郷土学習推進 他、　中学校：学校行事等推進事業、インターンシップ事業 他 | | | | | | |
| 252　創意工夫展・書写展事業 | 学校教育課 | 183 | 183 | 183 | | 継続 |
| 創意工夫展・書写展の開催 | | | | | | |
| 302　心の教育推進事業　⇒　「地域に根ざした特色ある学校教育推進事業」（新規）へ統合 | 学校教育課 | 34 | | | | 統合 |
| 福祉読本編集員会の開催と改訂版作成、道徳教育用準教科書の購入　（小　中） | | | | | | |
| 250　心の教室相談事業 | 学校教育課 | 6,219 | 6,292 | 6,292 | | 継続 |
| 小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置（1人当たり年間400時間） | | | | | | |
| 303　学校図書館活用事業 | 学校教育課 | 15,299 | 15,770 | 15,770 | | 継続 |
| 学校図書の購入・更新事業、学校図書ネットワークシステム借上げ、学校図書業務委託、図書司書の配置 | | | | | | |
| 拡大　学校図書館活用事業【拡大】 | 学校教育課 | | 1,003 | 1,003 | 1,003 | 拡大 |
| 学校図書館の充実や、教育活動の支援の充実を図るため、学校規模の大きい中学校には学校司書を1名配置とするため、学校司書を1名増員する。 | | | | | | |
| 新規　地域に根ざした特色ある学校教育推進事業 | 学校教育課 | 0 | 403 | 5,452 | 403 | 新規 |
| 心の教育推進事業と郷土資料教材化事業を統合し、学校教育推進方針を軸とした学校教育推進事業を進める。 | | | | | | |
| **施策3　確かな学力を育てる教育の充実** | | | | | | |
| 1　基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。 | | | | | | |
| 2　総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。 | | | | | | |
| 3　学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。 | | | | | | |
| 4　学力検査等の結果を生かした授業方法の改善に努めます。 | | | | | | |
| 304　学校教育相談員活用事業 | 学校教育課 | 2,381 | 2,506 | 2,506 | | 継続 |
| 学校教育相談員を配置し、学校課題に対する指導・助言 | | | | | | |
| 306　学力向上推進事業 | 学校教育課 | 5,367 | 5,367 | 5,367 | | 継続 |
| 標準学力検査の実施、全国学力・学習状況調査の参加、学力向上プロジェクト推進委員会(仮）の開催 | | | | | | |
| 経常　小学校教育振興経費 | 教育総務課 | 8,112 | 8,112 | 8,112 | | 継続 |
| 小学校教育振興経費（教材・教具等）（経常分8,047・臨時分65） | | | | | | |
| 経常　中学校教育振興経費 | 教育総務課 | 10,934 | 10,934 | 10,934 | | 継続 |
| 中学校教育振興経費（教材・教具等）（経常分7,926・臨時分3,008） | | | | | | |
| **施策4　ＩＣＴ活用による教育の充実** | | | | | | |
| 1　確かな学力をより効果的に育成するため、ＩＣＴの積極的な活用など指導方法・指導体制の工夫改善を図ります。 | | | | | | |
| 2　教員のＩＣＴ活用指導力向上のための研修等を充実します。 | | | | | | |
| 212　学校ICT環境整備事業 | 教育総務課 | 66,906 | 78,133 | 73,482 | 76,868 | 見直し |
| 購入済みPCの償還、校務用PC更新、教育用アプリケーションの購入、校務用コンピュータ等学校ICT機器の保守管理 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **施策5　健やかな体を育てる教育の充実** | | | | | | |
| 1　健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組みを推進します。 | | | | | | |
| 2　望ましい食習慣を身につけ、家庭や地域と連携した食育を推進します。 | | | | | | |
| 3　安全で安心な給食を提供する取組みを進めるとともに、施設・設備の整備を進めます。 | | | | | | |
| 4　児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。 | | | | | | |
| 223　中学校体育連盟支援事業 | 教育総務課 | 5,323 | 5,323 | 5,323 | | 継続 |
| 中体連春季大会、中体連秋季大会、石狩管内中体連の開催 | | | | | | |
| 225　全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業 | 教育総務課 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | | 継続 |
| 交通費･宿泊費・借上げ料・参加負担金の全額補助、中体連選手強化費を廃止 | | | | | | |
| 208　食に関する指導の推進事業 | 給食センター | 58 | 564 | 61 | | 継続 |
| 食指導に関する事業の実施、家庭・地域と連携を図った取組みの充実 | | | | | | |
| 373　食に関する指導の推進事業【拡大】 | 給食センター | 32 | 128 | 128 | | 継続 |
| 栄養教諭による食に関する指導の実施。食物アレルギーに対して正しい理解を促すために、講師を招いて市民向けの講演会を実施。平成２８年度において「食の課題と指導の手引」の改定・印刷。 | | | | | | |
| 207　学校給食衛生管理事業 | 給食センター | 3,850 | 7,702 | 7,862 | | 継続 |
| 給食用食品の微生物検査・理化学検査の実施、給食施設・設備の更新 | | | | | | |
| 351　学校給食衛生管理事業【拡大】 | 給食センター | 7,440 | 1,277 | 10,451 | | 継続 |
| 食品の安全衛生管理に対し千歳保健所より指導のあった高性能断熱食缶を整備。H28スライサー等更新、H29自動食器洗浄機の更新 | | | | | | |
| 350　学校給食費公会計化事業 | 給食センター | 0 | 0 | 10,122 | 4,666 | 見直し |
| 給食費収納管理システムを構築し、市会計に組み込み学校給食費運用する。収納管理システムの構築を1年先送りし、平成29年度から着手する。 | | | | | | |
| 経常　学校保健事業 | 学校教育課 | 14,352 | 14,352 | 14,352 | | 継続 |
| 各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催　（小・中） | | | | | | |
| 経常　スポーツ振興センター負担金等 | 学校教育課 | 4,612 | 4,612 | 4,612 | | 継続 |
| 学校管理下中の児童生徒の事故に対する医療費等への補償対応　（小・中） | | | | | | |
| 経常　北広島市小・中学校給食運営委員会経費 | 給食センター | 714 | 554 | 198 | | 継続 |
| 学校給食の運営を行うための助言を受ける委員会　委員13名　（小・中） | | | | | | |
| 経常　学校給食施設維持管理経費 | 給食センター | 14,651 | 10,142 | 10,142 | | 継続 |
| 学校給食を提供する為の施設維持管理経費　（小・中） | | | | | | |
| 経常　学校給食運営経費 | 給食センター | 256,022 | 256,022 | 256,022 | | 継続 |
| 学校給食を提供する為の運営経費　栄養士・ボイラー技士等の報酬ほか(小・中) | | | | | | |
| 経常　北海道学校給食研究協議会負担金 | 給食センター | 37 | 37 | 37 | | 継続 |
| 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行い学校給食の向上を図る　道内市町村が会員 | | | | | | |
| **施策6　特別支援教育の充実** | | | | | | |
| 1　通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。 | | | | | | |
| 2　特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。 | | | | | | |
| 3　特別支援学校や関係機関との連携を充実します。 | | | | | | |
| 209　特別支援教育就学奨励費援助事業 | 学校教育課 | 2,155 | 2,222 | 2,265 | | 継続 |
| 学用品費・通学用品費等の所定の援助　（小・中） | | | | | | |
| 211　特別支援教育推進事業 | 学校教育課 | 36,646 | 42,462 | 42,462 | | 継続 |
| 特別支援学級児童生徒支援へ介助員配置、通常学級児童支援の特別支援教育支援員の配置、各研修事業の実施 他　H28年度まですべての小中学校に配置 | | | | | | |
| 経常　就学指導委員会 | 学校教育課 | 652 | 652 | 652 | | 継続 |
| 特別支援教育を必要とする児童生徒の就学について調査検討する委員会を開催 | | | | | | |
| 経常　特別支援教育アドバイザーの配置 | 学校教育課 | 5,111 | 5,111 | 5,111 | | 継続 |
| 障がい児教育の専門的な知識を有する人材を学校教育課に２名配置する。（非常勤） | | | | | | |
| 経常　特別支援教育関連協議会 | 学校教育課 | 76 | 76 | 76 | | 継続 |
| 障がい児教育の振興を図るため、北海道障害児教育連盟、北海道言語障害児研究協議会への参加 | | | | | | |
| **施策7　社会の変化や課題に対応した教育の推進** | | | | | | |
| 1　国際化に対応するため、外国語指導助手（ALT)のもと、コミュニケーション能力の育成を図ります。 | | | | | | |
| 2　情報活用能力の育成や情報モラル教育を推進します。 | | | | | | |
| 3　市の共通実践課題として、環境、福祉、人権、平和教育を位置づけ、より充実・発展させるための取組みを推進します。 | | | | | | |
| 4　姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。 | | | | | | |
| 5　望ましい社会性や勤労観・職業観を育成するキャリア教育を推進します。 | | | | | | |
| 213　外国語指導助手活用事業 | 学校教育課 | 15,446 | 15,688 | 15,720 | | 継続 |
| 英語指導助手を4名任用し、中学校の外国語授業及び小学校の外国語活動に派遣し、担当教師とともにチーム・ティーチングで授業を実施 | | | | | | |
| 拡大　外国語指導助手活用事業【拡大】 | 学校教育課 | | | 7,037 | 7,037 | 拡大 |
| 新学習指導要領が前倒しになる予定を受け、平成29年度から移行措置となる小学校外国語活動の小学校3年生からの支援を行う為、外国語指導助手を2名増員する。 | | | | | | |
| 212　学校ICT環境整備事業 | 教育総務課 | 66,906 | 78,221 | 86,635 | | 継続 |
| 購入済みPCの償還、校務用PC更新、教育用アプリケーションの購入、校務用コンピュータ等学校ICT機器の保守管理 | | | | | | |
| 228　郷土資料教材化事業　⇒　「地域に根ざした特色ある学校教育推進事業」（新規）へ統合 | 学校教育課 | 2,587 | | | | 統合 |
| 社会科副読本の編集委員会の開催及び改訂版の作成、郷土資料教材化編集委員会の開催のデジタル教材の更新 | | | | | | |
| 300　姉妹都市子ども大使交流事業 | 教育総務課 | 2,806 | 2,806 | 2,806 | | 継続 |
| 東広島市、広島市へ小中学生の派遣及び東広島市の小中学生の受入れ及び相互交流　平和を尊ぶ心の育成 | | | | | | |
| 拡大　姉妹都市子ども大使交流事業【拡大】 | 教育総務課 | | 448 | 496 | 496 | 拡大 |
| 「ひろしま子ども平和の集い」に引き続き参加するため、引率教諭1名増加等の必要経費を措置する | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策２　信頼され、魅力ある学校づくりの推進** | | | | | | |
| 施策8　開かれた学校づくりの推進 | | | | | | |
| 1　家庭や地域の教育的ニーズに対応した教育活動を推進します。 | | | | | | |
| 2　学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント・サイクルによる学校改善を推進します。 | | | | | | |
| 3　学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、広報活動を充実します。 | | | | | | |
| 4　地域の方々の教育活動への参加や学校資源を地域へ提供するなど学校と地域の双方向の連携を推進します。 | | | | | | |
| 215　学校評議員等運営支援事業 | 学校教育課 | 276 | 276 | 276 | | 継続 |
| 学校評議員（各5名）、学校関係者評価委員（各8名）の委嘱 他、 運営費交付金1校23,000円 | | | | | | |
| 353　コミュニティ・スクール~~の導入促進に関する調査研究推進~~事業【事業名変更】 | 学校教育課 | 394 | 508 | 508 | | 継続 |
| H25コミュニティ・スクール導入調査研究を実施以降、継続実施と他地区への導入検討 | | | | | | |
| 拡大　コミュニティ・スクール推進事業【拡大】 | 学校教育課 | | | 479 | 382 | 拡大 |
| 現在西部中学校区で行なっているコミュニティスクールを、他の中学校区に広げていく。 | | | | | | |
| 施策9　教育環境の整備 | | | | | | |
| 1　研修機会の充実や適切な教職員評価を通じて、教職員の資質の向上を図ります。 | | | | | | |
| 2　適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。 | | | | | | |
| 3　教育施設の老朽化や、児童生徒数の増減に対応した施設の整備を推進します。 | | | | | | |
| 4　児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。 | | | | | | |
| 5　二学期制や小中一貫教育等の新しい教育システムについて検討を進めます。 | | | | | | |
| 6　家庭、地域による学校への支援を支える取組みを推進します。 | | | | | | |
| 7　小・中・高等学校教育等への就学を支援します。 | | | | | | |
| 216　学校教育団体活動支援事業 | 教育総務課 | 4,630 | 4,430 | 4,430 | | 継続 |
| 教育研究会、校長会、教頭会 への補助金、進路指導協議会への交付金 | | | | | | |
| 拡大　学校教育団体活動支援事業【拡大】 | 教育総務課 | | 150 | 0 | 0 | 拡大 |
| 双葉、緑ヶ丘小の開校５周年記念事業の一環として、両校で「研究中心校発表会」が開催されるため、本発表会の運営に必要な経費を増額する | | | | | | |
| 229　教師用指導書等整備事業 | 学校教育課 | 12,604 | 4,334 | 1,625 | | 継続 |
| 小中学校用教科書が全面改訂に伴う教師用教科書、指導書の整備　（小　中） | | | | | | |
| 240　学校施設空気環境測定事業 | 教育総務課 | 673 | 673 | 673 | | 継続 |
| 小中学校、１校につき3教室程度ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定分析　（小383 中290） | | | | | | |
| 218　学校事務機器整備事業 | 教育総務課 | 745 | 2,730 | 2,730 | | 継続 |
| 大型事務機保守委託及び修繕、 大型事務機器の購入　（小450中295） | | | | | | |
| 拡大　学校事務機器整備事業【拡大】 | 教育総務課 | | 931 | 996 | 996 | 拡大 |
| 学習プリントや保護者・地域へ配布する印刷物作成に必要な事務機器等を整備 | | | | | | |
| 231　学校放送設備整備事業 | 教育総務課 | 9,807 | 20,000 | 20,000 | | 継続 |
| 学校放送設備の更新　H27更新（事業費は次年度調整） | | | | | | |
| 217　理科教材等整備事業 | 教育総務課 | 3,248 | 3,272 | 3,272 | | 継続 |
| 理科教材等備品の購入　（小1,680 中1,568） | | | | | | |
| 222　学校施設管理機器整備事業 | 教育総務課 | 412 | 1,100 | 1,100 | | 継続 |
| 草刈機、除雪機の保守管理・修繕（小231中181） | | | | | | |
| 拡大　学校施設管理機器整備事業【拡大】 | 教育総務課 | | 966 | 1,003 | 1,003 | 拡大 |
| 耐用年数を経過した草刈機、除雪機を更新する | | | | | | |
| 226　北の台小学校校舎屋体大規模改造・屋体地震補強事業 | 教育総務課 | 379,150 | | | | 終了 |
| H25実施設計委託　H26屋体大規模改造及び地震補強工事　H27校舎大規模改造工事 | | | | | | |
| 236　緑陽中学校校舎・屋体地震補強・大規模改造事業 | 教育総務課 | 81,507 | | | | 継続 |
| 今後の学校のあり方を検討することとしたため、実施年度を1年先送りし、平成30年度からの実施とする。 | | | | | | |
| 238　広葉中学校校舎・講堂防音機能復旧事業（H26繰越明許費） | 教育総務課 | ＜82,950＞ | | | | 終了 |
| H26実施設計委託　H27校舎棟・屋体棟の温度保持換気設備機器の更新工事 | | | | | | |
| 271　東部小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 1,030 | 24,473 | | | 継続 |
| H27実施設計委託業務　H28講堂防機能音復旧工事 | | | | | | |
| 275　緑ヶ丘小学校校舎・講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 66,680 | | | | 終了 |
| H26実施設計委託業務　H27校舎・講堂防音機能復旧工事 | | | | | | |
| 360　学校施設非構造部材耐震化事業 | 教育総務課 | 0 | | | | 継続 |
| 市内小中学校体育館の非構造部材（吊り天井、照明器具、ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ等）について耐震改修を実施。H25調査　事業を延長。H31実施設計委託　H32以降工事、工事監理委託 | | | | | | |
| 361　屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 | 教育総務課 | 316,074 | | | | 分割 |
| ※各校単位で新規事業化 | | | | | | |
| 257　東部中学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | | | 279,200 | 186,300 | 見直し |
| 平成元年度に建築され、老朽化が顕著であるため、校舎の大規模改造工事を実施する。H26実施設計委託　工事期間をH29,H30の2カ年で実施 | | | | | | |
| 276　大曲東小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | 1,110 | 35,320 | | 継続 |
| 平成3年度に新設した温度保持換気設備機器類の更新を実施する。H28実施設計委託　H29工事及び工事監理委託 | | | | | | |
| 363　西の里中学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | | 1,280 | | 継続 |
| 平成8年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。H29実施設計委託　前年度査定により時期を変更し実施 | | | | | | |
| 364　西の里小学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | | | 1,200 | | 継続 |
| 平成6年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。H29実施設計委託　前年度査定により時期を変更し実施 | | | | | | |
| 369　東部中学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 1,110 | 35,320 | | | 継続 |
| 温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。H27実施設計委託　H28工事及び工事監理委託 | | | | | | |
| 370　大曲中学校北校舎棟大規模改造事業 | 教育総務課 | 149,327 | | | | 継続 |
| 旧校舎の老朽化が顕著であるため、校舎の大規模改造工事を実施する。H26実施設計委託　H27工事及び工事監理委託 | | | | | | |
| 375　小中学校周辺環境整備事業 | 教育総務課 | 8,659 | 11,664 | 1,545 | | 継続 |
| 市内小学校敷地内の遊具・駐車場整備 | | | | | | |
| 拡大　小中学校周辺環境整備事業【拡大】 | 教育総務課 | | | 4,892 | 4,892 | 拡大 |
| グレーチングなどの外構工事、屋外物置などの付属建築物及び屋外施設（ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ散水栓、ﾃﾆｽｺｰﾄ、ﾌｪﾝｽ、防球ﾈｯﾄ、樹木の剪定等）を更新 | | | | | | |
| 新規　大曲中学校屋体大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | 104,900 | | | 新規 |
| 屋内体育館は、昭和62年度に改築され、築後28年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |
| 新規　西の里中学校屋体大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | 112,300 | | | 新規 |
| 昭和63年度に改築され、築後27年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| 新規　大曲東小学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 | 教育総務課 | 0 | 173,000 | | | 新規 |
| 平成3年度に新築され、築後24年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |
| 新規　東部中学校屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 | 教育総務課 | 0 | 237,000 | | | 新規 |
| 平成元年度に新築され、築後26年が経過し、老朽化が顕著であるため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。H28:工事・工事監理 | | | | | | |
| 新規　北の台小学校講堂防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 0 | | | 1,090 | 新規 |
| 平成9年度講堂に更新した温度保持換気設備機器類の更新を実施する。H30:実施設計　H31：工事・工事監理 | | | | | | |
| 新規　大曲小学校校舎防音機能復旧事業 | 教育総務課 | 0 | | | 1,570 | 新規 |
| 平成11年度校舎に更新した温度保持換気設備機器類の更新を実施する。H30:実施設計　H31：工事・工事監理 | | | | | | |
| 新規　大曲東小学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | | | 9,300 | 新規 |
| 平成3年度に新築され、築後24年が経過し、老朽化が顕著であるため、校舎の大規模改造工事を実施する。H30:実施設計　H31～H32：工事・工事監理 | | | | | | |
| 新規　大曲中学校校舎大規模改造事業 | 教育総務課 | 0 | | | 8,900 | 新規 |
| 築後37年から25年が経過し、老朽化が顕著であるため、校舎の大規模改造工事を実施する。H30:実施設計　H31～H32：工事・工事監理 | | | | | | |
| 317　学校支援地域本部事業 | 社会教育課 | 7,872 | 7,935 | 7,935 | | 継続 |
| 地域住民等の参画による学校支援の推進 | | | | | | |
| 拡大　学校支援地域本部事業【拡大】 | 社会教育課 | | 1,856 | 1,856 | 1,856 | 拡大 |
| 学校を地域で支える体制の充実を図るため、学校支援コーディネーターを非常勤化する。 | | | | | | |
| 220　児童生徒の通学費支援事業 | 学校教育課 | 2,569 | 2,809 | 2,809 | | 継続 |
| バス定期券購入額の1/2助成、自家用車送迎の交通費助成　（小　中） | | | | | | |
| 232　高等学校等入学準備金支給事業 | 学校教育課 | 2,400 | 2,800 | 2,800 | | 継続 |
| 経済的困窮世帯の生徒に対し、高等学校等の入学時に必要となる経費の一部助成として20,000円を支給 | | | | | | |
| 221　要保護・準要保護児童生徒援助事業 | 学校教育課 | 125,160 | 127,012 | 122,356 | | 継続 |
| 経済的困窮世帯の児童生徒の学用品費、医療費等の援助を実施。生活保護基準の見直しによる影響が認定基準に及ばないよう援助を実施 | | | | | | |
| 233　奨学金支給事業 | 学校教育課 | 5,400 | 5,400 | 5,400 | | 継続 |
| 能力があるにもかかわらず、経済的な理由で高等学校等への就学困難な学生に対し、学費等の一部援助として月額5,000円を支給。道の新たな給付型奨学金制度により見直し。 | | | | | | |
| 309　私立学校教育振興事業 | 教育総務課 | 1,350 | 1,350 | 1,350 | | 継続 |
| 札幌日大高校へ1,350千円を補助 | | | | | | |
| 経常　義務教育施設整備基金利息積立 | 教育総務課 | 157 | 157 | 157 | | 継続 |
| 義務教育施設整備基金の利息を積立 | | | | | | |
| 経常　小学校管理経費 | 教育総務課 | 118,300 | 110,160 | 110,160 | | 継続 |
| 施設維持管理（修繕費・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか）（経常分110,160・臨時分4,746・営繕基金3,394） | | | | | | |
| 経常　中学校管理経費 | 教育総務課 | 89,742 | 86,694 | 86,694 | | 継続 |
| 施設維持管理（修繕費・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか）（経常分86,694・臨時分2,665・営繕基金383） | | | | | | |
| 経常　中学校教育振興経費（学校教育課分） | 学校教育課 | 551 | 551 | 551 | | 継続 |
| 和楽器（箏）の借上げ | | | | | | |
| 経常　奨学生選考委員会 | 学校教育課 | 28 | 28 | 28 | | 継続 |
| 奨学生を選考するための委員会開催 | | | | | | |
| 経常　北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会 | 学校教育課 | 48 | 48 | 48 | | 継続 |
| 通学区域を設定及び変更するため、通学区域審議会を開催する。 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策３　やさしく支えあう教育連携の推進** | | | | | | |
| 施策10 家庭の教育力向上への支援内容の充実 | | | | | | |
| 1　あたたかな家庭づくりへの支援 | | | | | | |
| 2　地域を取り巻く社会環境の変化や氾濫する情報への対応など、家庭の教育力向上のための学習機会や市民・関係団体と連携し、家庭教育を支援する柔軟なネットワークを充実します。 | | | | | | |
| 292　家庭教育支援事業 | 社会教育課 | 60 | 60 | 60 | | 継続 |
| 子どもたちの学力向上の基礎となる生活習慣づくりを進めるため、家庭教育支援に関する実践活動を実施 | | | | | | |
| 拡大　家庭教育支援事業【拡大】 | 社会教育課 | | 360 | 450 | 450 | 拡大 |
| 「子ども朝活」事業を市内各地で展開する | | | | | | |
| 255　北広島市ＰＴＡ連合会支援事業 | 学校教育課 | 325 | 325 | 325 | | 継続 |
| 市PTA連合会への支援として、交流会・研修会の開催、全道・管内研修会への参加、健全育成活動の推進など　H25管内研修会等の開催地 | | | | | | |
| 施策11 教育相談体制の充実 | | | | | | |
| 1　いじめ・不登校の問題を早期に解消するため、訪問指導アドバイザー（臨床心理士）、訪問相談員（メンタルフレンド）、スクールカウンセラー（道費）など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。 | | | | | | |
| 2　不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。 | | | | | | |
| 3　インターネット上での新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害を防ぐため、携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒・保護者に対して啓発を図ります。 | | | | | | |
| 4　青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などと連携を強化していきます。 | | | | | | |
| 249　不登校いじめ対策・教育相談事業 | 学校教育課 | 13,187 | 13,057 | 13,067 | | 継続 |
| 適応指導教室の運営、指導員2名の配置。訪問指導アドバイザー(臨床心理士）1名配置。教育相談員1名配置。訪問相談員１名配置。 | | | | | | |
| 374　不登校いじめ対策・教育相談事業【拡大】 | 学校教育課 | 458 | 292 | 292 | | 継続 |
| いじめ等問題対策委員会にかかる経費などの経常経費を本事業に取り込み一括で計上。 | | | | | | |
| 311　青少年健全育成啓発事業　⇒　青少年健全育成事業と統合 | 学校教育課 | 336 | | | | 統合 |
| 青少年健全育成大会の開催、安全安心講演会の開催、子どもサポートセンターだより「きずな」の発行 | | | | | | |
| 施策12 地域が支える健全育成活動の充実 | | | | | | |
| 1　子どもサポートセンターの相談・支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。 | | | | | | |
| 2　各種大会や地域の安心安全講座などを通じて全市的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。 | | | | | | |
| 254　青少年健全育成連絡協議会支援事業　⇒　青少年健全育成事業と統合 | 学校教育課 | 450 | | | | 統合 |
| 6地区の青少年健全育成連絡協議会への補助事業、健全育成活動の展開、　（1協議会75､000円） | | | | | | |
| 256　青少年安全対策事業　※不審者メール配信システムを見直し | 学校教育課 | 9,174 | 9,719 | 8,944 | 8,944 | 見直し |
| 専任指導員の配置による各種活動、不審者情報のメール発信、スクールガードリーダーによる通学路等の安全確認、通学路安全指導員を配置　など | | | | | | |
| 312　放課後子ども教室事業 | 学校教育課 | 1,323 | 1,041 | 1,041 | | 継続 |
| 大曲小学校をモデル実施として、放課後や長期休業中に小学校の余裕教室等を活用し、児童の活動拠点を設け、学習支援等の活動を週1回程度行う。コーディネーター等を配置 | | | | | | |
| 拡大　放課後子ども教室事業【拡大】 | 学校教育課 | | 675 | 625 | 625 | 拡大 |
| 児童の居場所づくりため、小学校の余裕教室等で学習活動や体育活動を実施する。平成28年度から新たな小学校区で放課後子ども教室を開催する。 | | | | | | |
| 251　成人式開催事業 | 社会教育課 | 683 | 696 | 696 | | 継続 |
| 成人式の開催 | | | | | | |
| 253　青少年健全育成振興事業　⇒　事業名変更し事業番号311と254を本事業に統合 | 学校教育課 | 65 | 821 | 821 | 821 | 統合 |
| 青春メッセージの開催、青少年リーダー養成・体験交流の推進、健全育成大会、安全安心講演会、センターだより「きずな」発行、地区協議会への補助事業、健全育成活動の展開 | | | | | | |
| 経常　青少年健全育成推進委員会 | 学校教育課 | 120 | 120 | 120 | | 継続 |
| 青少年の健全育成に関し調査審議 | | | | | | |
| 経常　青少年健全育成経費 | 学校教育課 | 531 | 531 | 531 | | 継続 |
| 5地区広域指導連絡協議会、北海道青少年育成協会負担金、借上車経費 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策４　学びあい、教えあう社会教育の推進** | | | | | | |
| 施策13 市民の学習活動への支援内容の充実 | | | | | | |
| 1　市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通したコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。 | | | | | | |
| 2　社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実を図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。 | | | | | | |
| 3　市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。 | | | | | | |
| 258　生涯学習市民活動支援事業 | 社会教育課 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | 継続 |
| 市民団体が企画実施する生涯学習事業への支援 | | | | | | |
| 259　元気フェスティバル連携事業 | 社会教育課 | 675 | 675 | 675 | | 継続 |
| 元気フェスティバルの開催 | | | | | | |
| 313　生涯学習振興会支援事業 | 社会教育課 | 18,136 | 18,307 | 18,307 | | 継続 |
| 生涯学習振興会への支援 | | | | | | |
| 拡大　生涯学習振興会支援事業【拡大】 | 社会教育課 | | 6,491 | 6,491 | 6,491 | 拡大 |
| 団地地区生涯学習振興会の設置と振興会交付金の見直しを行う。 | | | | | | |
| 施策14 地域や世代を見据えた学習機会の充実 | | | | | | |
| 1　各世代別での学習ニーズに応え、産･学･官･民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。 | | | | | | |
| 2　社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。 | | | | | | |
| 3　市民の多様な学習ニーズに的確に対応することや、主体的な学習活動を支援するため、教育情報提供システム「学び舎・楓」の充実に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。 | | | | | | |
| 4　市民の主体的な学習をサポートするため、IT予約システムなどにより、社会教育施設や公共施設のネットワーク化を図ります。 | | | | | | |
| 323　国際交流事業 | 社会教育課 | 1,404 | 392 | 1,254 | | 継続 |
| 北広島国際交流協議会への支援。　交流派遣事業の個人負担を引き下げ実施。 | | | | | | |
| 261　フレンドリーセンター運営事業 | 社会教育課 | 757 | 992 | 992 | | 継続 |
| 障がい者が生涯学習活動を通じて、学び交流する場の提供 | | | | | | |
| 262　中央公民館活動推進事業 | 社会教育課 | 347 | 355 | 355 | | 継続 |
| 公民館まつり等の開催。施設の改修を終え、今後、生涯学習振興会との連携を検討し、事業の再開する。 | | | | | | |
| 314　生涯学習支援情報システム整備事業 | 文化課 | 11,642 | 11,390 | 11,390 | | 継続 |
| システム運用し、図書館及び生涯学習の拠点施設が持つ学習機能を充実させる。ｗｉ－ｆｉ化を行う。 | | | | | | |
| 施策15 施設の充実による学習環境の整備 | | | | | | |
| 1　生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。 | | | | | | |
| 2　市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、既存施設の有効活用を図ります。 | | | | | | |
| 3　学習や研修の機会を提供する公民館施設の充実を図るとともに、地域コミュニティの拠点として計画的な整備を進めます。 | | | | | | |
| 352　西の里公民館改修事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | | 継続 |
| 公共施設等総合管理計画で検討 | | | | | | |
| 356　フレンドリーセンター施設解体工事事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | | 継続 |
| 公共施設等総合管理計画で検討 | | | | | | |
| 371　林間学園・レクリエーションの森整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | | 継続 |
| 施設のあり方について検討（企画財政部へ移管） | | | | | | |
| 経常　林間学園・レクリエーションの森開放事業 | 社会教育課 | 6,713 | 6,713 | 6,713 | | 継続 |
| 林間学園・レクリエーションの森の管理運営 | | | | | | |
| 経常　公民館管理事業 | 社会教育課 | 33,374 | 33,374 | 33,374 | | 継続 |
| 中央及び西の里公民館の管理運営 | | | | | | |
| 経常　社会教育施設等草刈経費 | 社会教育課 | 500 | 500 | 500 | | 継続 |
| 社会教育施設等（駅西口広場、中央及び西の里公民館、レクリエーションの森）の草刈りの実施 | | | | | | |
| **政策５　郷土愛を育む教育活動の推進** | | | | | | |
| 施策16 エコミュージアム構想の展開 | | | | | | |
| 1　文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。 | | | | | | |
| 2　郷土に関する学習や、体験学習を通して、郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を培い、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。 | | | | | | |
| 3　エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。 | | | | | | |
| 4　重要な郷土資料を保全し、市民参加、情報サービスの発信・提供、資料の展示等、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。 | | | | | | |
| 266　エコミュージアム普及推進事業 | エコミュージアムセンター | 4,054 | 5,708 | 5,708 | | 継続 |
| エコミュージアム拠点施設等整備事業と統合。施設の維持・管理・運営に係る経費。 | | | | | | |
| 拡大　エコミュージアム普及推進事業 | エコミュージアムセンター | | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 拡大 |
| 所蔵資料の整理とシステム入力や旧島松駅逓所大規模改修に伴う非常勤職員を配置。市内各地にある地域遺産の説明板及び誘導案内板等を設置。 | | | | | | |
| 267　旧島松駅逓所周辺整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | | 継続 |
| 総合行政的な見地から、企画課を中心に整備計画を進めることとした。 | | | | | | |
| 新規　旧島松駅逓所大規模改修事業 | エコミュージアムセンター | 0 | 見積中 | 見積中 | 見積中 | 新規 |
| 国指定史跡である旧島松駅逓所を老朽化させずに将来へ受け継いでいくため、建物及び敷地内の池、見本田、記念碑、植栽、柵などを修繕する。 | | | | | | |
| 施策17 文化財の保存と活用 | | | | | | |
| 1　史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。 | | | | | | |
| 2　郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集保存を進めます。また、市文化財の指定を行い、保存します。 | | | | | | |
| 3　郷土文化、伝承事業に対する支援を進めます。 | | | | | | |
| 268　文化財保存・活用事業 | エコミュージアムセンター | 5,920 | 5,972 | 5,972 | | 継続 |
| 駅逓所及び東記念館郷土資料室の維持管理・開館事業、水稲赤毛種保存会交付金 他 北広島市文化財保護審議会の開催 | | | | | | |
| 333　郷土文化伝承支援事業 | エコミュージアムセンター | 212 | 212 | 212 | | 継続 |
| 広島音頭保存会・広島ふるさと太鼓保存会等の補助金交付 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策６　生涯にわたる読書活動の推進** | | | | | | |
| 施策18 図書館サービスの充実 | | | | | | |
| 1　市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。 | | | | | | |
| 2　地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。 | | | | | | |
| 3　図書館フィールドネットなどの市民との協働により、乳幼児から高齢者までの生涯を通した読書活動の充実をめざします。 | | | | | | |
| 4　図書館や北広島団地住民センター、西の里公民館の図書室などの整備・拡充を図ります。 | | | | | | |
| 269　図書館サービス提供事業 | 文化課 | 20,876 | 22,050 | 22,050 | | 継続 |
| 図書、記録、郷土資料、視聴覚資料の収集と図書館サービスの提供　　H24高齢者宅配サービス開始 | | | | | | |
| 270　図書館フィールドネット連携事業 | 文化課 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | 継続 |
| 図書館フィールドネット運営委員会への交付金交付 | | | | | | |
| 経常　図書館運営 | 文化課 | 58,417 | 61,066 | 61,066 | | 継続 |
| 図書館の施設維持管理、移動図書館車の運行（経常・臨時） | | | | | | |
| 経常　図書館利用モニター | 文化課 | 27 | 27 | 27 | | 継続 |
| 図書館サービスの匿名モニターによる把握に関する経費 | | | | | | |
| 経常　北広島市図書館協議会 | 文化課 | 128 | 128 | 128 | | 継続 |
| 図書館法に定める外部委員会、図書館運営等意見、諮問　委員10名 | | | | | | |
| 経常　読書環境整備事業 | 文化課 | 556 | 300 | 300 | | 継続 |
| 図書サービス備品の更新。団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向け検討 | | | | | | |
| 施策19 子どもの読書活動推進 | | | | | | |
| 1　市民との協働を踏まえながら、新たな「北広島市子どもの読書活動推進計画」を策定し（H23策定済）、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。 | | | | | | |
| 2　学校図書館においては蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園とのネットワーク化を推進します。 | | | | | | |
| 経常　幼児読書活動推進事業 | 文化課 | 0 | 20 | 20 | | 継続 |
| 幼稚園・保育園に対しての幼児絵本の巡回事業を実施 | | | | | | |
| **政策７　芸術文化活動の振興** | | | | | | |
| 施策20 個性豊かな地域文化の振興 | | | | | | |
| 1　芸術文化創造プランを策定し（H23策定済）、芸術文化の創造を担う人材の育成と活動の場の創出を進めます。 | | | | | | |
| 2　優れた芸術文化活動に対する顕彰を行うとともに、市民が主体的に取り組む芸術文化活動を積極的に支援します。 | | | | | | |
| 3　ワークショップやセミナーなど、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。 | | | | | | |
| 4　芸術文化活動に主体的に取り組んでいる市民団体やサークルを支援します。 | | | | | | |
| 5　芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。 | | | | | | |
| 272　文化賞等表彰事業 | 文化課 | 0 | 0 | 0 | | 継続 |
| 芸術文化振興審議会による文化賞等の選考　（表彰式に係る経費は社会教育課が所管） | | | | | | |
| 274　市民文化祭奨励事業 | 文化課 | 650 | 650 | 650 | | 継続 |
| 市民総合文化祭・地区文化祭（4地区）への交付金交付 | | | | | | |
| 273　文化団体活動支援事業 | 文化課 | 640 | 640 | 640 | | 継続 |
| 文化団体・音楽団体への補助金交付 | | | | | | |
| 278　文化施設修繕事業 | 文化課 | 21,330 | 33,228 | 27,347 | 30,000 | 見直し |
| 各機器等の耐用年数なども考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所を計画的に修繕。練習室床修繕・文化施設内椅子修繕を追加 | | | | | | |
| 341　芸術文化ホール設備修繕事業 | 文化課 | 9,380 | 13,000 | 12,540 | | 継続 |
| 芸術文化ホールの舞台装置等の設備整備 | | | | | | |
| 新規　児童・生徒全国文化大会参加支援事業 | 文化課 | 0 | 0 | 300 | 300 | 新規 |
| 北海道内で優秀な成績を収め、北海道代表として全国大会に出場する児童・生徒へ、大会出場に関する経費（参加旅費等）の一部を補助する。 | | | | | | |
| 経常　文化施設維持管理 | 文化課 | 60,497 | 60,497 | 60,497 | | 継続 |
| 芸術文化ホール、図書館の施設の管理、清掃、警備等の経費　（経常　臨時　） | | | | | | |
| 経常　芸術文化ホール管理 | 文化課 | 35,728 | 35,728 | 35,728 | | 継続 |
| 芸術文化ホールの舞台設備運営、窓口業務、設備備品保守点検、借上車経費 | | | | | | |
| 経常　北広島市芸術文化振興審議会 | 文化課 | 124 | 124 | 124 | | 継続 |
| 芸術文化の振興について教育委員会からの諮問に応じ調査審議　委員10名 | | | | | | |
| 施策21 市民等との連携による芸術文化活動の展開 | | | | | | |
| 1　地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動（メセナ）を行う企業との共催、他の公共ホールなどとの連携を推進します。 | | | | | | |
| 2　芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。 | | | | | | |
| 3　市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。 | | | | | | |
| 279　芸術文化ホール運営委員会連携事業 | 文化課 | 11,835 | 11,882 | 11,882 | | 継続 |
| 芸術鑑賞事業、芸術創作事業の実施 | | | | | | |
| 280　花ホールスタッフの会支援等事業 | 文化課 | 320 | 320 | 320 | | 継続 |
| 花ホールスタッフの会の活動への交付金の交付及び花ホールボランティアの育成 | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| **政策８　健康づくりとスポーツ活動の推進** | | | | | | |
| **施策22 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進** | | | | | | |
| 1　市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。 | | | | | | |
| 2　市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。 | | | | | | |
| 3　スポーツ推進委員や地区生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。 | | | | | | |
| 286　きたひろしま３０Ｋｍロードレース連携事業 | 社会教育課 | 300 | 0 | 0 | | 継続 |
| きたひろしま３０kmロードレースの開催。　参加料での実施を予定していたが、引き続き交付金事業として実施する。 | | | | | | |
| 拡大　きたひろしま３０Ｋｍロードレース連携事業【拡大】 | 社会教育課 | | 324 | 324 | 324 | 拡大 |
| 本市の魅力を発信するため参加記念品を提供する。 | | | | | | |
| 288　市民スポーツ活動推進事業 | 社会教育課 | 497 | 400 | 257 | | 継続 |
| 各種スポーツ大会等の開催及び支援 | | | | | | |
| 拡大　市民スポーツ活動推進事業【拡大】 | 社会教育課 | | 463 | 463 | 550 | 拡大 |
| 事業の見直しを行い、スポーツ・健康づくり事業を展開する。 | | | | | | |
| 新規　ゴロッケー普及推進事業 | 社会教育課 | 0 | 407 | 407 | 407 | 新規 |
| 北広島生まれの軽スポーツを普及・推進するとともに、本市の魅力として情報発信する。 | | | | | | |
| 新規　スポーツ地域活性化事業 | 社会教育課 | 0 | 2,944 | 2,444 | 2,644 | 新規 |
| 本市の魅力をＰＲするとともに、スポーツ・健康づくり活動を展開する。 | | | | | | |
| 経常　スポーツ推進委員 | 社会教育課 | 594 | 594 | 594 | | 継続 |
| スポーツ振興のための実技指導、各大会の企画運営、管内協議会への参加 | | | | | | |
| **施策23 競技スポーツの振興** | | | | | | |
| 1　ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、北広島少年スポーツアカデミーにおける選手の強化育成や底辺拡大、指導者の養成に取り組むとともに、中学校部活動への支援などを行います。 | | | | | | |
| 2　国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。 | | | | | | |
| 3　市体育協会やスポーツ少年団本部に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。 | | | | | | |
| 290　スポーツアカデミー事業 | 社会教育課 | 1,098 | 1,109 | 1,109 | | 継続 |
| ジュニアスポーツの選手強化、底辺拡大、指導者養成事業の実施 | | | | | | |
| 拡大　スポーツアカデミー事業【拡大】 | 社会教育課 | | 394 | 394 | 394 | 拡大 |
| ジュニアスポーツ選手の育成強化を図るため、中学校部活動支援などを拡大する。 | | | | | | |
| 291　全国中学生空手道選抜大会連携事業 | 社会教育課 | 4,500 | 事業終了 | | | 終了 |
| はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催 | | | | | | |
| 287　姉妹都市スポーツ交流事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 休止 |
| 平成26年度から事業休止 | | | | | | |
| 282　スポーツ大会出場支援事業 | 社会教育課 | 1,000 | 1,500 | 1,500 | | 継続 |
| スポーツ大会出場者への助成 | | | | | | |
| 321　スポーツ賞等表彰事業 | 社会教育課 | 526 | 539 | 539 | | 継続 |
| スポーツ賞等表彰式の開催 | | | | | | |
| 284　体育協会活動支援事業 | 社会教育課 | 3,118 | 3,118 | 3,118 | | 継続 |
| 北広島市体育協会への助成 | | | | | | |
| 285　スポーツ少年団育成事業 | 社会教育課 | 453 | 453 | 453 | | 継続 |
| スポーツ少年団本部への助成 | | | | | | |
| **施策24 スポーツ施設の整備と運営** | | | | | | |
| 1　市民が安心して利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。 | | | | | | |
| 2　日常的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。 | | | | | | |
| 3　運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ・レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。 | | | | | | |
| 294　西の里ファミリー体育館改修事業 | 社会教育課 | 214,380 | 0 | 0 | | 継続 |
| 改修工事の実施 | | | | | | |
| 206　大曲ファミリー体育館改修事業 | 社会教育課 | 0 | 165,715 | 0 | | 継続 |
| | | | | | | |
| 293　学校施設（体育館）開放事業 | 社会教育課 | 5,112 | 5,273 | 5,273 | | 継続 |
| 小中学校１４校の開放 | | | | | | |
| 拡大　学校施設（体育館）開放事業【拡大】 | 社会教育課 | | 1,793 | 1,793 | 1,793 | 拡大 |
| 有料化に伴い、管理体制を充実させることから、事業を拡大する。 | | | | | | |
| 322　運動広場整備事業 | 企画課 | 0 | 0 | 0 | | 継続 |
| 整備に向けた調査・検討（企画財政部へ移管） | | | | | | |
| 新規　住民プール改修事業 | 社会教育課 | 0 | 540 | | | 新規 |
| 老朽化が著しいことから、計画的な改修を行う。 | | | | | | |
| 新規　緑葉公園体育施設改修事業 | 社会教育課 | 0 | 54 | | | 新規 |
| 老朽化が著しいことから、計画的な改修を行う。 | | | | | | |
| 372　自然の森キャンプ場整備事業 | 社会教育課 | 0 | 0 | 0 | | 継続 |
| 整備に向けた調査・検討 | | | | | | |
| 拡大　自然の森キャンプ場整備事業【拡大】 | 社会教育課 | | ― | ― | ― | 拡大 |
| 駐車場が不足していることから隣地の賃貸借など、対応を検討する。 | | | | | | |
| 経常　体育施設管理事業 | 社会教育課 | 106,994 | 98,445 | 98,445 | | 継続 |
| 総合体育館・緑葉公園等管理、住民プール管理、地区体育館管理、自然の森キャンプ場管理、各施設修繕費（経常　臨時） | | | | | | |

# 教育推進計画事業一覧（要求ベース）

平成28年度版

色つきセルの事業区分
⇒ピンク色:新規、
緑:拡大、青:見直し
灰色：終了

【単位:千円】

| 教育基本計画における「施策」<br>推進計画事業名　（事業概要） | 担当課等 | 当初予算額 | 計画事業費 | | | 区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| 政策１～８を支える経常経費 | | | | | | |
| 経常経費 | | | | | | |
| 教育委員会運営経費 | | | | | | |
| 経常　教育委員に関する経費 | 教育総務課 | 3,095 | 3,095 | 3,095 | | 継続 |
| 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置 教育委員会会議の開催、教育委員の報酬など | | | | | | |
| 教育委員会事務局運営経費 | | | | | | |
| 経常　学校業務主事に関する経費 | 教育総務課 | 31,868 | 31,868 | 31,868 | | 継続 |
| 学校業務主事14名任用 | | | | | | |
| 経常　教育委員会事務局運営経費 | 教育総務課 | 6,489 | 6,489 | 6,489 | | 継続 |
| 教育長ほか職員旅費 被服費・事務経費 石狩教育研修センター組合分担金 その他分担金・負担金　会議録制作支援委託 | | | | | | |
| 経常　教職員永年勤続表彰 | 学校教育課 | | | | | 継続 |
| 北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。 | | | | | | |
| 教育振興経費 | | | | | | |
| 経常　「きたひろしまの教育」作成 | 教育総務課 | 79 | 79 | 79 | | 継続 |
| 教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を300冊発行 | | | | | | |
| 経常　北広島市教育施策審議会 | 教育総務課 | 349 | 308 | 308 | | 継続 |
| 教育施策の関する審議及び教育委員会の事務事業に関する点検評価を行う。委員7名　H25改選 | | | | | | |
| 経常　第一地区教科用図書採択教育委員会協議会負担金 | 学校教育課 | | | | | 継続 |
| 小中学校で使用する教科用図書を採択するため、第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加する。（採択に関する調査負担金） | | | | | | |
| 教員住宅管理経費 | | | | | | |
| 経常　教員住宅管理 | 教育総務課 | 2,679 | 2,679 | 2,679 | | 継続 |
| 校長・教頭管理者住宅、教員住宅に関する経費 | | | | | | |
| 小学校管理経費 | | | | | | |
| 経常　小学校運営経費 | 教育総務課 | 22,993 | 22,993 | 22,993 | | 継続 |
| 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 | | | | | | |
| 経常　小学校管理経費（学校教育課関係分） | 学校教育課 | | | | | 継続 |
| 全学校共通で使用する印刷物の作成、及び入学通知書の郵便料 | | | | | | |
| 中学校管理経費 | | | | | | |
| 経常　中学校運営経費 | 教育総務課 | 17,086 | 17,086 | 17,086 | | 継続 |
| 事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 | | | | | | |
| 経常　中学校管理経費　（学校教育課関係分） | 学校教育課 | | | | | 継続 |
| 全学校共通で使用する印刷物の作成、及び入学通知書の郵便料 | | | | | | |
| 社会教育経費 | | | | | | |
| 経常　社会教育事務経費 | 社会教育課 | 81 | 81 | 81 | | 継続 |
| 社会教育団体登録事務経費　その他事務経費 | | | | | | |
| 経常　社会教育委員 | 社会教育課 | 547 | 547 | 547 | | 継続 |
| 社会教育法に基づき委嘱 生涯学習に関する諸計画の立案・助言 全道管内協議会への参加 | | | | | | |
| 保健体育事務経費 | | | | | | |
| 経常　スポーツ推進審議会 | 社会教育課 | 128 | 128 | 128 | | 継続 |
| スポーツの振興に関する事項について調査・審議し、教育委員会に建議 | | | | | | |
| 経常　保健体育事務経費 | 社会教育課 | 602 | 602 | 602 | | 継続 |
| 借上車経費及びその他事務費 | | | | | | |

# 北広島市教育基本計画

(2011 - 2016 - 2020)

中間年度見直し版

「大志をいだき学ぶまち・きたひろしま」

北広島市教育委員会

# 北広島市の教育理念

すぐれた知性と　豊かな心と　たくましい身体をもって
自然と創造の調和を図り、進展する郷土社会へ貢献する。

（昭和 44 年 8 月 制定　昭和 60 年 3 月 改訂）

## 北広島市教育目標

1　北広島市民としての誇りと自覚を持つ人
2　協力して豊かなまちづくりに努める人
3　文化を高め生活の合理化を目指す人
4　健康な身体と豊かな心情や知性を持つ人
5　勤労を尊び生産を高める人

（昭和 44 年 8 月 設定）

## 学校教育目標

1　自主性を高め協力して豊かな郷土を築いていける人を育てる
2　思考力を深め科学的で合理的な生活を目指す人を育てる
3　情操を深め文化の創造につくす人を育てる
4　健康な心身を培い社会の進展に貢献する人を育てる
5　勤労の尊さを知り生産を高める実践的な人を育てる

（昭和 44 年 8 月 設定）

## 社会教育目標

1　豊かで住みよい郷土北広島をつくる
2　安定と調和のある家庭をつくる
3　希望に満ちた明るい青少年を育てる
4　健康な文化とスポーツの生活化に努める
5　近代的な施設、設備の充実をはかる

（昭和 44 年 8 月 設定）

# 目　次

第１章　「北広島市教育基本計画」中間年度の見直しについて
１　「北広島市教育推進計画」とは　・・・・・・・・・・・・　１
２　教育基本計画中間年度の見直しの背景　・・・・・・・・・　１
３　中間年度の見直しによる主な変更点・・・・・・・・・・・　２
４　計画の位置づけと体系　・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
５　計画の性格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
６　計画の期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
７　計画の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

第２章　新たな時代を担う人間像　～懐く・励む・挑む～
１　教育の動向と求められる人間像　・・・・・・・・・・・・　６
２　北広島のまちづくり・人づくり　・・・・・・・・・・・・　９

第３章　大志をいだき学ぶまち
～人と文化を育む８つの政策と 24 の施策～　・・・・　15
政策１　「生きる力」を育む学校教育の推進　・・・・・・・・　18
政策２　信頼され、魅力ある学校づくりの推進　・・・・・・・　23
政策３　やさしく支えあう教育連携の推進　・・・・・・・・・　27
政策４　学びあい、教えあう社会教育の推進　・・・・・・・・　30
政策５　郷土愛を育む教育活動の推進　・・・・・・・・・・・　33
政策６　生涯にわたる読書活動の推進　・・・・・・・・・・・　35
政策７　芸術文化活動の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・　37
政策８　健康づくりとスポーツ活動の推進　・・・・・・・・・　39

第４章　８つの政策と 24 の施策を推進する５つの視点　・・・　42

# 第１章「北広島市教育基本計画」中間年度の見直しについて

## １　「北広島市教育基本計画」とは

平成１８年（2006 年）１２月に改正された教育基本法において、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、政府が「教育振興基本計画」を定めることが規定されました。あわせて、地方公共団体は、国の計画を参酌し、地域の実情に応じ教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされました。

国は、平成２０年（2010 年）７月、教育振興基本計画（第１期）を策定し、向こう１０年間を通じてめざすべき教育の姿を明らかにしました。

本市では、平成２３年（2011 年）３月に、平成３２年度（2020 年）までの１０年間を計画期間とする「北広島市教育基本計画」（以下、「教育基本計画」）を策定し、今後の教育の目標や方向性を示しました。

## ２　教育基本計画中間年度の見直しの背景

教育基本計画では、「北広島市総合計画（第５次）」（以下、「市総合計画」）における「希望」、「交流」、「成長」の３つの都市像と、教育分野の基本目標である「人と文化を育むまち」に基づき、これまでの基本理念や基本姿勢を踏まえ、北広島市の教育についての基本的な方向を示し、着実に推進するための個別・具体の施策について体系的に整理し、計画的な教育施策を推進しています。

教育基本計画も策定から５年目を迎え、社会状況の変化や時代の要請、国・道の動向など、教育を取り巻く環境は時々刻々と変化しています。

また、国においては、少子化・高齢化の進展による社会全体の活力低下や、グローバル化の進展に伴う我が国の国際的な存在感の低下など、現下の様々な教育課題を踏まえ、平成２５年（2013 年）６月に「第２期

教育振興基本計画」（以下、第２期振興計画という。）を閣議決定し、教育行政の進むべき基本的方向性を示しています。このような状況のなか、１０年計画の前半５年間の政策と施策を検証するとともに、市総合計画の見直しとの整合性を図りながら、後半５年間の教育基本計画の見直し行いました。

## ３　中間年度の見直しによる主な変更点

見直しあたっては、現教育基本計画における教育施策の基本的方向は維持しつつ、時代の変化や課題に適切かつ速やかに対処するため、教育基本計画の具体的な展開を示している第３章の政策、施策部分ついて、これまでの取組みの検証で明らかになった課題や新たなニーズに対応する施策を加えるなど、必要な見直しを行なったほか、表現の修正を行っています。

また、市総合計画の教育分野である第２章「人と文化を育むまち」と整合性を図り、次項のとおり政策の標記を統一しました。このため、現行の教育基本計画の政策１「やさしく支えあう教育連携の推進」を政策３に、政策２「「生きる力」を育む学校教育の推進」を政策１に、政策３「信頼され、魅力ある学校づくりの推進」を政策２に変更しました。

さらに、現教育基本計画では、８つの政策に２３の施策を展開していましたが、新たに小中学校での情報教育の充実に向けた施策として、「ＩＣＴの活用による教育の充実」を加え、２４の施策を展開することとしました。

# 教育基本計画中間年度の見直しによる変更点

| 現行　23施策 |
| --- |
| **政策1　やさしく支えあう教育連携の推進** |
| 施策1　家庭の教育力向上への支援内容の充実 |
| 施策2　教育相談体制の充実 |
| 施策3　地域が支える健全育成活動の充実 |
| **政策2　「生きる力」を育む学校教育の推進** |
| 施策4　幼児教育の振興･充実 |
| 施策5　豊かな心を育む教育の充実 |
| 施策6　確かな学力を育てる教育の充実 |
| 施策7　健やかな体を育てる教育の充実 |
| 施策8　特別支援教育の充実 |
| 施策9　社会の変化や課題に対応した教育の推進 |
| **政策2　信頼され、魅力ある学校づくりの推進** |
| 施策10　開かれた学校づくりの推進 |
| 施策11　教育環境の整備 |
| **政策4　学びあい、教えあう社会教育の推進** |
| 施策12　市民の学習活動への支援内容の充実 |
| 施策13　地域や世代を見据えた学習機会の充実 |
| 施策14　施設の充実による学習環境の整備 |
| **政策5　郷土愛を育む教育活動の推進** |
| 施策15　エコミュージアム構想の展開 |
| 施策16　文化財の保存と活用 |
| **政策6　生涯にわたる読書活動の推進** |
| 施策17　図書館サービスの充実 |
| 施策18　子どもの読書活動推進 |
| **政策7　芸術文化活動の振興** |
| 施策19　個性豊かな地域文化の振興 |
| 施策20　市民等との連携による芸術文化活動の展開 |
| **政策8　健康づくりとスポーツ活動の推進** |
| 施策21　健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進 |
| 施策22　競技スポーツの振興 |
| 施策23　スポーツ施設の整備と運営 |

| 見直し後　24施策 |
| --- |
| **政策1　「生きる力」を育む学校教育の推進** |
| 施策1　幼児教育の振興･充実 |
| 施策2　豊かな心を育む教育の充実 |
| 施策3　確かな学力を育てる教育の充実 |
| 施策4　健やかな体を育てる教育の充実 |
| 施策5　ＩＣＴの活用による教育の充実【新規】 |
| 施策6　特別支援教育の充実 |
| 施策7　社会の変化や課題に対応した教育の推進 |
| **政策2　信頼され、魅力ある学校づくりの推進** |
| 施策8　開かれた学校づくりの推進 |
| 施策9　教育環境の整備 |
| **政策3　やさしく支えあう教育連携の推進** |
| 施策10　家庭の教育力向上への支援内容の充実 |
| 施策11　教育相談体制の充実 |
| 施策12　地域が支える健全育成活動の充実 |
| **政策4　学びあい、教えあう社会教育の推進** |
| 施策13　市民の学習活動への支援の充実 |
| 施策14　地域や世代を見据えた学習機会の充実 |
| 施策15　施設の充実による学習環境の整備 |
| **政策5　郷土愛を育む教育活動の推進** |
| 施策16　エコミュージアム構想の展開 |
| 施策17　文化財の保存と活用 |
| **政策6　生涯にわたる読書活動の推進** |
| 施策18　図書館サービスの充実 |
| 施策19　子どもの読書活動推進 |
| **政策7　芸術文化活動の振興** |
| 施策20　個性豊かな地域文化の振興 |
| 施策21　市民等との連携による芸術文化活動の展開 |
| **政策8　健康づくりとスポーツ活動の推進** |
| 施策22　健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進 |
| 施策23　競技スポーツの振興 |
| 施策24　スポーツ施設の整備と運営 |

## 4 教育基本計画の位置づけと体系

市総合計画と教育基本計画の位置づけを表わすと次のとおりです。

## ５ 計画の性格

この計画は、本市がめざす教育の推進と、国の第２期振興計画を参酌した、教育基本法第 17 条第 2 項に規定する地方公共団体が策定する教育振興のための施策に関する基本的な計画としての性格を併せ持つものです。

## ６ 計画の期間

この計画の期間は、平成 23 年（2011 年）から平成 32 年（2020 年）までの 10 年間とします。

## ７ 計画の推進

この計画に掲げる施策を着実に推進するため、「北広島市教育基本計画(2011－2020) 推進計画」（以下「教育推進計画」という。）を策定します。

教育推進計画は、毎年施策の点検評価を行い、その推進状況を広く情報提供するとともに、社会状況の変化や時代の要請、国・道の動向を踏まえて、毎年策定します。

# 第２章　新たな時代を担う人間像　～懐く・励む・挑む～

## １　教育の動向と求められる人間像

国の第２期振興計画では、「教育の使命は、「人格の完成」や「個性を尊厳」などの普遍的な理念を継承しつつ、平成１８年度に改正された教育基本法の理念を実現するため、「現下の社会経済情勢及び将来展望を十分に踏まえ、「教育立国」としてふさわしい教育の在り方を具体的に検討し、必要な政策を実行することが求められる。」としています。

また、「グローバル化や少子化・高齢化など社会の急激な変化により、社会生活の様々な側面に影響を及ぼしつつあるものと考えられ、我が国社会の各分野において早急な対応が迫られている。」とし、次の分野をあげています。

**◆我が国を取り巻く危機的状況**

**○少子化・高齢化の進展**

・生産年齢人口の減少（2060 年には、我が国の人口は 2010 年比約 3 割減の約 9 千万人まで減少。そのうち 4 割が 65 歳以上の高齢者。）
・経済規模縮小、税収減、社会保障費の拡大

**○グローバル化の進展**

・人・モノ・金・情報等の流動化
・「知識基盤社会」の本格的到来
・新興国の台頭等による国際競争の激化
・生産拠点の海外移転による産業空洞化

**○雇用環境の変容**

・終身雇用、年功序列等の変容
・企業内教育による人材育成機能の低下

**〇地域社会，家族の変容**

・地域社会等の繋がりや支え合いによるセーフティネット機能の低下

・価値観・ライフスタイルの多様化

**〇格差の再生産・固定化**

・経済格差の進行→教育格差→教育格差の再生産・固定化
（同一世代内、世代間）

**〇地球規模の課題への対応**

・環境問題、食料・エネルギー問題、民族・宗教紛争など様々な地球規模の課題に直面

・かつてのような物質的豊かさのみの追求という視点からの脱却し、持続可能な社会の構築に向けての取組み

さらに、この状況は、東日本大震災により、一層の顕在化・加速化している状況であるとしています。

一方で我が国の様々な強みとして、次のとおり掲げています。

〇多様な文化・芸術や優れた感性

〇科学技術「ものづくり」の基盤技術

〇勤勉性・協調性、思いやりの心

〇基礎的な知識技能の平均レベルの高さ

〇人の絆

また、震災による危機打開に向けた手がかりを教訓に、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の３つの理念の実現に向けた生涯学習社会の構築に向けて、各学校間や、学校教育と職業生活等との円滑な接続を重視し、生涯の各段階を貫く方向性として、「教育行政の４つの基本的方向性」を示しています。

## ◆教育行政の４つの基本的方向性

### １．社会を生き抜く力の養成

～多様で変化の激しい社会の中で個人の自立と
協働を図るための主体的・能動的な力～

成果目標１　生きる力の確実な育成（幼稚園～高校）
成果目標２　課題探求能力の修得（大学～）
成果目標３　自立・協働・創造に向けた力の修得（生涯全体）
成果目標４　社会的・職業的自立に向けた力の育成

### ２．未来への飛躍を実現する人材の養成

～変化や新たな価値を主導・創造し、
社会の各分野を牽引していく人材～

成果目標５　新たな価値を創造する人材、グローバル人材等の養成

### ３．学びのセーフティネットの構築

～誰もがアクセスできる多様な学習機会を～

成果目標６　意欲ある全ての者への学習機会の確保
成果目標７　安全・安心な教育研究環境の確保

### ４．絆づくりと活力あるコミュニティの形成

～社会が人を育み、人が社会をつくる好循環～

成果目標８　互助・共助による活力あるコミュニティの形成

本市の教育は、第２期振興計画における４つの基本的方向性をはじめ、国や北海道の教育施策との関連性を図りながら、一人ひとりが、生涯を通じて、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができる環境づくりをめざすものです。

## ２　北広島のまちづくり・人づくり

今後の教育には、第２期振興計画において求められている「自立・協働・創造に向けた一人ひとりの主体的な学び」の実践が必要です。

一方、本市では、市総合計画に基づき、今後の後半５年間、引き続き「希望都市」・「交流都市」・「成長都市」の３つの都市像をめざして、まちづくりを進めていきます。

そのため、この計画では、本市が進める「まちづくり」にふさわしい「人づくり」に重点を置いて教育施策を推進するものです。

北広島には、このまちにゆかりのある先人たちの精神や行動の中に、この３つの都市像をよく表す先達の存在を実感できるという、かけがえのない「つよみ」があります。

本市がめざす「希望都市」は、情熱・使命感・専門性を有した「希望を懐く人」が育てます。

市内島松沢で「青年よ　大志をいだけ」の名言を残したW.S.クラーク博士は、情熱・使命感・専門性を有した「希望を懐く（※注1）人」であり、彼が伝えた溢れる情熱、使命感、高い専門性は青年たちの心に、自らの能力を高め、互いに切磋琢磨する気質を培わせ、新たな時代へ飛躍を遂げさせました。彼が持っていた人の心を動かす人間力は、北広島がめざす「希望」のまちづくり・人づくりには不可欠であり、現代においても「大志を懐く」「博愛」の精神は貴重となります。

※（資料１:W.S.クラーク）14頁参照

「懐く」（※注1）

市内島松沢にあるクラーク記念碑（昭和25年(1950年)建立）には、北海道大学５代目総長伊藤誠哉の書で「青年よ、大志を懐け」と刻まれています。この「懐」という文字に対するこだわりには、島松沢でクラークの発した言葉を日本語に訳し書きとめた一期生・大島正健の「考え・感情を抱くこと」という思いが込められており、クラークの思い描いていた使命感を営々と共有する、顕彰するという意味が込められています。

また、「交流都市」は、調和・協調・刻苦勉励の「交流に励む人」が育てます。

道路の整備、田畑の開墾、学校や役場の建設など、開拓期のまちづくりに奔走し、村長など多くの役職を歴任し、たゆまぬ努力でまちと人をリードした和田郁次郎は、調和・協調・刻苦勉励を象徴する「交流に励む人」であり、彼が持っていた広島県人25戸の同胞のリーダーとしての協調の精神や努力は、北広島のめざす「交流」のまちづくり・人づくりには不可欠であり、現代においても「協調」「刻苦勉励」の精神は貴重となります。

※（資料2:和田郁次郎）15頁参照

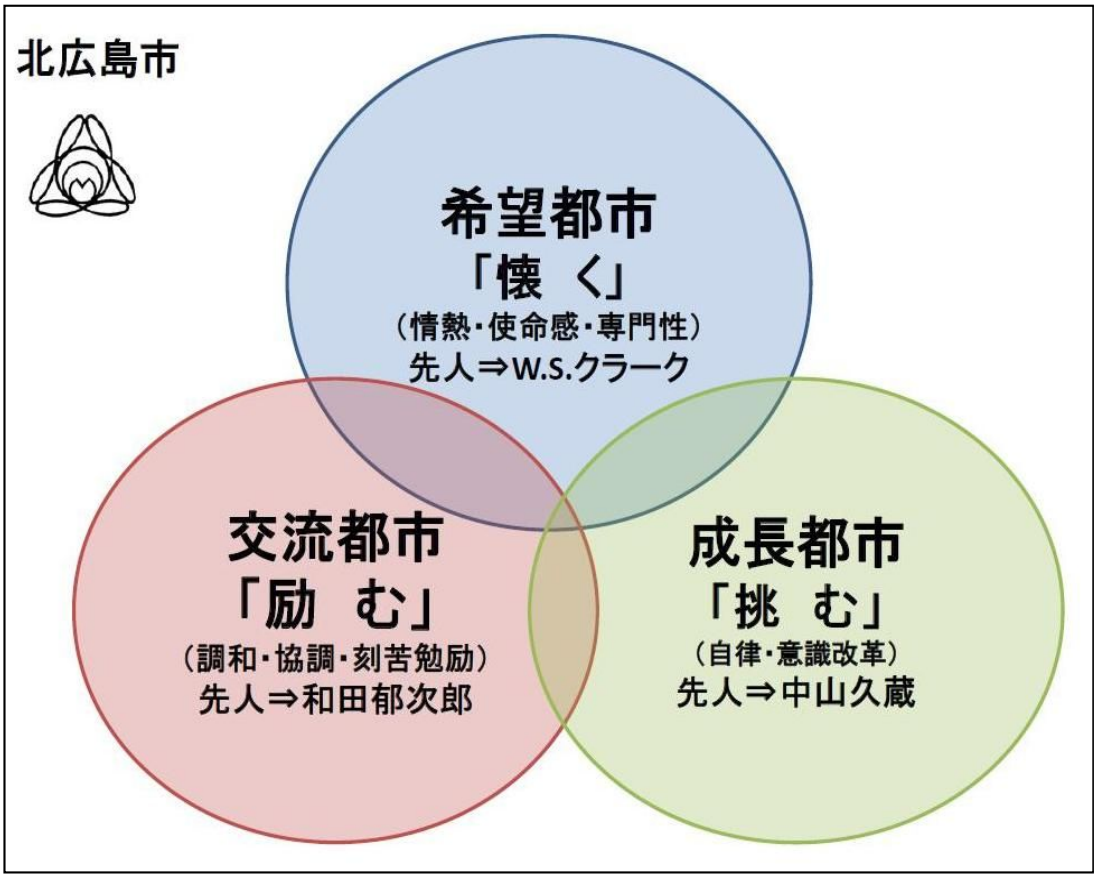
さらに、「成長都市」は、自律・意識改革の「成長に挑む人」が育てます。

市内島松沢に入植し、「赤毛種」という種もみを使い、当時道南以北では不可能と言われていた稲作を成功させ、「寒地稲作の祖」となった中山久蔵は、自律・意識改革・行動の「成長に挑む人」です。彼の改革に挑み続ける人間力が、北広島がめざす「成長」のまちづくり・人づくりには不可欠であり、現代においても「チャレンジ精神」「自己改革」の精神は貴重となります。

※（資料3:中山久蔵）16頁参照

本市の教育は、これら三人の「懐く」・「励む」・「挑む」の精神をこれからの人材育成のキーワードとし、現代の市民一人ひとりの心や行動に「希望を懐く」、「交流に励む」、「成長に挑む」精神が醸成され、自信と誇りを持って今と未来を生きる北広島の人づくりをめざすため、この計画において８つの政策、２４の施策を展開します。

新たな時代を担う都市像・人間像



*資料１*

**希望都市**
**「懐く」**
**（情熱・使命感・専門性）**
**先人⇒W.S.クラーク**

**W.S.クラーク　[1826（文政９）～1886（明治 19）]**

明治 10 年(1877 年)4 月 16 日、札幌農学校（現北海道大学）に初代教頭として着任していたクラーク博士は、退任し帰国する際、当時の島松駅逓所において、見送りにきた学生達に次のような言葉を残しています。

「青年よ　大志懐(いだ)け！…金銭や私利私欲や人が名声と呼ぶはかないものに対してではなく、知識や正義や人々の向上のために、人としてあるべき完成された姿に到達できるよう、青年よ　大志を懐(いだ)け。」

また彼は学生たちに「Be gentleman（紳士であれ）」と教え諭しました。こうした彼の教えに大きな影響を受けた学生には、佐藤昌介、大島正健、新渡戸稲造、宮部金吾、内村鑑三などがおります。

旧島松駅逓所敷地内に建つクラーク記念碑

*資料 2*

**交流都市**
**「励　む」**
**（調和･協調･刻苦勉励）**
**先人⇒和田郁次郎**

**和田郁次郎**　［1847（弘化４）～1928（昭和３）］

広島県人の和田郁次郎は、一村創建をめざし、適地を求めて道内各地を探索し、明治 16 年（1883 年)、現在の東部地区に入植の地を定めました。そして明治 17 年(1884 年)、25 戸からなる広島県人により北広島の開村に向けた歩みが始まりました。

彼は、道路の整備、田畑の開墾、学校や寺院、役場の建設などに尽力するとともに、村長など多くの役職に就きました。さらに明治 32 年（1899 年）には、当時の野幌原始林を隣接する自治体に払い下げるとの決定に対し、北越植民社（江別市）の関矢孫左衛門らとともに直訴団を結成し、上京しようと汽車で移動中だった北海道庁長官の園田安賢を室蘭まで追いかけ、翻意させ、森林の払い下げを回避することに成功しました。

その後、昭和 27 年（1952 年）に、その一部地域が国の特別天然記念物に指定され、今日に至っています。

和田郁次郎邸

特別天然記念物･野幌原始林(西の里)

*資料３*

# 成長都市
## 「挑　む」
（自律・意識改革）
先人⇒中山久蔵

**中山久蔵**　［1828（文政 11）～1919（大正８）］

明治４年（1871 年）、現在の島松沢に入植した中山久蔵は、道南の大野村（現北斗市）で入手した「赤毛種」という種もみを使い、当時は不可能とされていた道南以北での米作りに挑みました。

彼は風呂の湯を沸かし、昼夜、苗代に流し入れ、発芽を促し、また、水田には島松川の水を、暖水路で温めて引き入れました。この努力が実り、明治６年（1873 年）、反当たりに換算して二石三斗の米の収穫を得ることができました。これ以降、久蔵は種もみを開拓民に無償で配布し、全道各地に米作りが広がっていったのです。配布した種もみは 100 俵とも言われています。

昭和 39 年（1964 年）には、旧島松駅逓所横に「寒地稲作発祥の地」の記念碑が建てられ、その努力と功績が称えられています。

寒地稲作記念碑

旧島松駅逓所

## 第３章　大志をいだき学ぶまち
## ～人と文化を育む８つの政策と 24 の施策～

これまでの教育基本計画においては、「たくましく生きる力を持つ人の育成」と「生きがいのある人生を築く学習環境づくり」の２つの基本姿勢により、生涯学習社会の実現を図ってきました。

学校教育の分野においては、それぞれの発達段階に応じて「生きる力」を育てる教育を進め、生涯にわたり自ら学び、自ら考える基礎を定着させるよう努めるとともに、思いやりの心や感動する心など、豊かな人間性を育む「心の教育」や、支援を必要とする子どもたちへの指導体制の充実、教職員の資質向上のための研修機会の確保など学習環境の整備に努めてきました。

また、社会教育の分野においては、多様な学習機会や多くの交流の場を提供することにより、個々の学習意欲の高まりを促し、また、学習の成果が社会の中で生かされ、自己実現や生きがいを見いだすことのできる生涯学習社会の実現をめざしてきたところであります。

さらには、地域の課題等へ主体的に取組めるよう、生涯学習振興会(※注2)などの関係団体への支援をはじめ学習情報の提供や学習支援・相談体制の充実を進めてきました。

このように、この計画においては、これまで展開してきた取組をさらに発展的に推進していくために、「大志をいだき学ぶまち・きたひろしま」をテーマとし、希望を懐き、交流に励み、成長に挑む新たな時代を担う人づくりをめざし、８つの政策と 24 の施策を推進するものです。

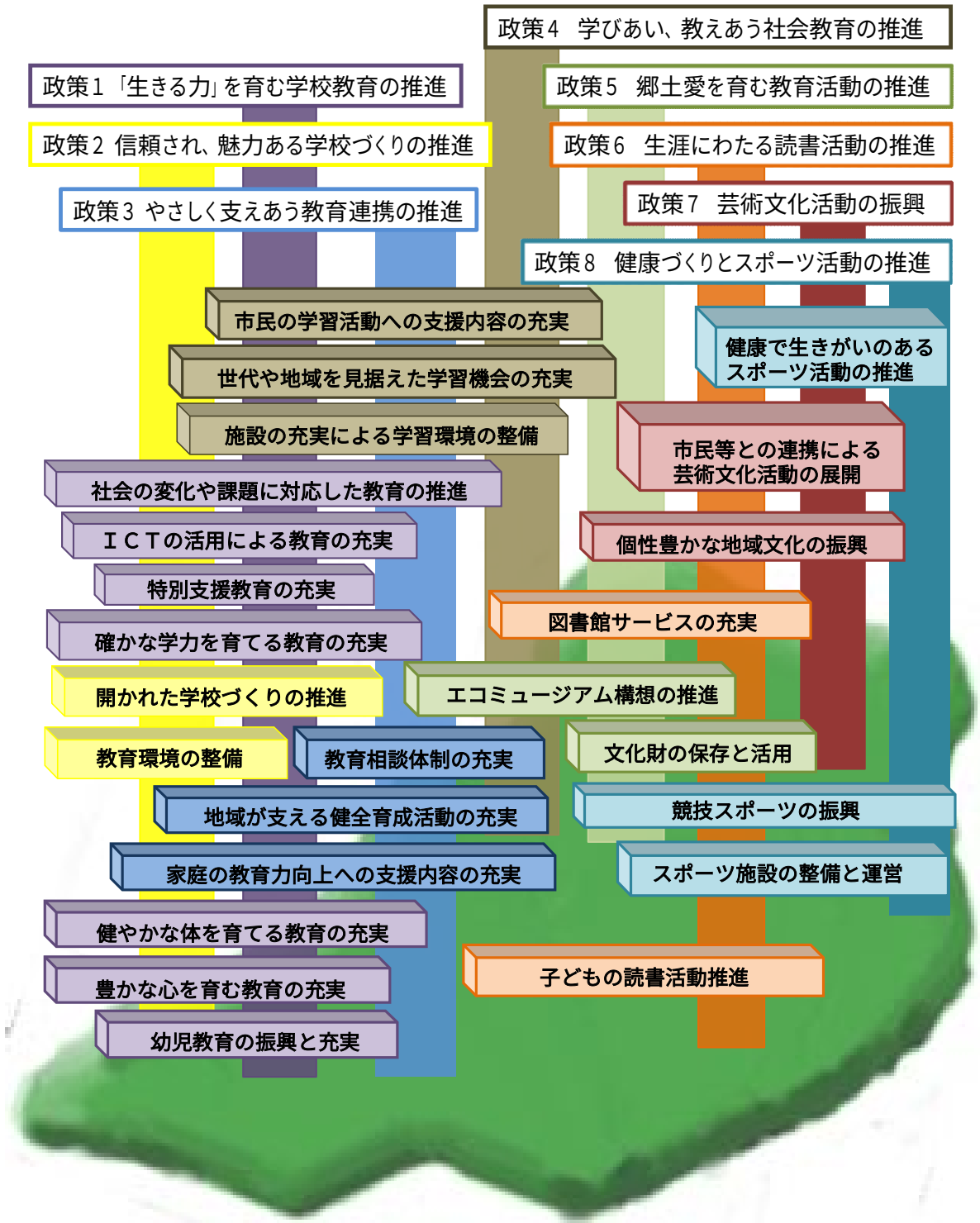
さらに、具体的な施策の実施については、「学校教育の推進方針」並びに「社会教育の推進方針」を策定し、それに基づいて進めていきます。

---

生涯学習振興会(※注 2)

平成 27 年（2015 年）現在、西部・西の里･大曲･東部にある振興会は、地区の学校、社会教育関係団体等で構成するネットワーク団体であり、学習機会の提供・健康づくり・生活文化の向上等、地域コミュニティ活動の要となっている。

# 人と文化を育む８つの政策と 24 の施策




※この図は、８本の学びの樹が 24 の枝を伸ばし、北広島の大地に支えられ、成長している様子をイメージしています。

# 北広島市教育基本計画(2011-2020)の体系

テーマ　「大志をいだき学ぶまち・きたひろしま」

| 新たな時代を担う人間像 | 8つの政策 | 24の施策 |
|---|---|---|
| 希望を懐く人 | 政策1 「生きる力」を育む学校教育の推進 | 1 幼児教育の振興・充実 |
| | | 2 豊かな心を育む教育の充実 |
| | | 3 確かな学力を育てる教育の充実 |
| | | 4 健やかな体を育てる教育の充実 |
| | | 5 ICTの活用による教育の充実 |
| | | 6 特別支援教育の充実 |
| | | 7 社会の変化や課題に対応した教育の推進 |
| | 政策2 信頼され、魅力ある学校づくりの推進 | 8 開かれた学校づくりの推進 |
| | | 9 教育環境の整備 |
| 交流に励む人 | 政策3 やさしく支えあう教育連携の推進 | 10 家庭の教育力向上への支援内容の充実 |
| | | 11 教育相談体制の充実 |
| | | 12 地域が支える健全育成活動の充実 |
| | 政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進 | 13 市民の学習活動への支援の充実 |
| | | 14 地域や世代を見据えた学習機会の充実 |
| | | 15 施設の充実による学習環境の整備 |
| | 政策5 郷土愛を育む教育活動の推進 | 16 エコミュージアム構想の展開 |
| | | 17 文化財の保存と活用 |
| 成長に挑む人 | 政策6 生涯にわたる読書活動の推進 | 18 図書館サービスの充実 |
| | | 19 子どもの読書活動推進 |
| | 政策7 芸術文化活動の振興 | 20 個性豊かな地域文化の振興 |
| | | 21 市民等との連携による芸術文化活動の展開 |
| | 政策8 健康づくりとスポーツ活動の推進 | 22 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進 |
| | | 23 競技スポーツの振興 |
| | | 24 スポーツ施設の整備と運営 |

# 政策１　「生きる力」を育む学校教育の推進

## 現状と課題

変化の激しい社会の中で、北広島市の子ども一人ひとりが創造性豊かに、たくましく生きていくためには、自らを律しつつ、他者とともに協調し、他者を思いやる心などの豊かな人間性、基礎的･基本的な内容を確実に身に付け、よりよく問題を解決する資質や能力、たくましく生きるための健康・体力など、「生きる力」を育むことが求められています。

核家族化や少子高齢化、女性の社会進出、情報化などが進む中、家庭における教育環境が著しく変化していることから、幼児の心身の調和のとれた発達を促し、人格形成の基礎を培う幼児教育の充実が求められています。

児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中で、自他の生命を尊重し、健全な人間関係を築く力、美しいものに感動する感性などを高める道徳教育の充実をはじめ、全教育活動において豊かな心を育むことが求められています。

いじめや不登校、生徒指導上の課題を抱えている児童生徒に対応するため、悩みや課題を解決できるよう教育相談体制を充実するとともに、学校と家庭、地域、関係機関が緊密に連携し、継続的な取組を進める必要があります。

児童生徒が社会の変化に主体的に対応できるようにするため、確かな学力を育み、自ら学び、自ら考える力を育てることが求められています。あわせて、ＩＣＴを活用した効果的な学習や、児童生徒一人ひとりの社会性や職業観･勤労観を育てる「キャリア教育」の充実が求められています。

健やかな体を育む基礎となる学校体育の充実とともに、体力の源である食の正しい知識と望ましい食習慣の育成が求められています。また、関係機関と連携し、性や薬物乱用に関する指導や啓発活動を促進するとともに、地域ぐるみの安全・安心な環境づくりを促進する危機管理体制を確立する必要があります。

「インクルーシブ教育」(※注3)の理念に基づき、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その子の持っている力を高め、学習や生活の困難性の改善や克服をするため、学校全体で適切な指導・支援が行えるよう特別支援教育の推進体制の充実が求められています。

---

「インクルーシブ教育」(※注3)

インクルーシブ教育は、障がいのある子どもを含むすべての子どもに対して、子ども一人ひとりの教育的ニーズにあった適切な教育的支援を行う教育です。

## 基本的方向

1　幼児の調和のとれた心身の発達を促し、「生きる力」の基礎や生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育を充実します。

2　自然や生命を尊重する心や美しいものに感動する感性、正義を重んじる心などの豊かな心を育む教育を充実します。

3　基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用して目標の実現や課題の解決を図ることができる確かな学力を育てる教育を充実します。

4　体力、運動能力の向上を図るとともに、体力の源である食の正しい知識や望ましい食習慣の確立など健やかな体を育てる教育を充実します。

5　一人ひとりの教育的ニーズに応じた、きめ細かな指導や支援を充実します。

6　国際理解、情報、環境、福祉、人権、平和、キャリア発達などのさまざまな課題に対して主体的に解決に取組もうとする態度・能力の育成など、社会の変化や課題に対応できる力を育む教育を充実します。

## 施　策

### 施策１　幼児教育の振興・充実

□多様な体験を重視した特色ある幼児教育を奨励するとともに、障がい児の幼稚園への入園を支援します。
□家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。
□教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動を支援します。

### 施策２　豊かな心を育む教育の充実

□人を思いやる心や人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。
□基本的な倫理観や思いやりの心などを育む教育を推進します。
□いじめ、不登校やさまざまな問題に適切な対応をするとともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。
□豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。

### 施策３　確かな学力を育てる教育の充実

□基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
□総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。
□学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。
□学力検査等の結果を生かした指導方法の工夫改善を進めます。

## 施策４　健やかな体を育てる教育の充実

□健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組を推進します。
□食の正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、家庭や地域と連携した食育を推進します。
□安全で安心な給食を提供するため、施設・設備の整備を促進するとともに、食物アレルギーや異物混入に対する取組を進めます。
□児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。

## 施策５　ＩＣＴの活用による教育の充実

□学びの充実を図るため、積極的にＩＣＴを活用するとともに、指導方法・指導体制の工夫改善を進めます。
□教員のＩＣＴ活用指導力向上のための研修等を充実します。

## 施策６　特別支援教育の充実

□通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。
□特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。
□特別支援学校や関係機関との連携を充実します。

## 施策７　社会の変化や課題に対応した教育の推進

□成長の足跡を確かめ、夢や目標に向かって挑戦する人材育成を目指す「きたひろ夢ノート」の実践（※注 4）を充実させるとともに、望ましい社会性や職業観･勤労観を育成するキャリア教育を推進します。

□国際化に対応するため、英語教育に取り組むとともに、外国語指導助手(ALT)の活用など、コミュニケーション能力の育成を図ります。

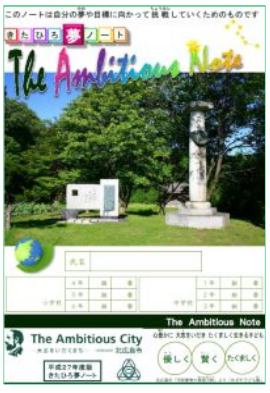
□子どもの権利をはじめとした人権教育や環境、福祉、平和、防災教育を充実・発展させるための取組を推進します。

□姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。

---

### 「きたひろ夢ノート」の実践（※注 4）

北広島市の子どもたちが夢や希望をもち、自分の夢や目標に向かって挑戦していくためのものです。自分の成長を記録し、歩みを振り返り、成長を確かめながら自己有用感を高め、さまざまなことに挑戦する人を育てることをめざし、小学校４年生から中学校３年生までの全児童生徒が継続して活用していきます。



# 政策２　信頼され、魅力ある学校づくりの推進

## 現状と課題

学校が保護者や地域から信頼され、期待に応える教育を実現するためには、子どもを中心に据え、地域の意見や要望を生かした学校経営を進めることが求められています。また、学校からも適時適切な情報提供を行い、学校、家庭、地域が協働して学校改善への取組を進め、地域に開かれた学校づくりが求められています。

家庭や地域の教育的ニーズに対応した教育活動を推進するとともに、学校関係者評価による学校評価の結果や、教育活動の成果を保護者や地域へ周知する広報活動などを充実する必要があります。

地域の方々の教育活動への参加や学校資源を地域へ提供するなど、学校と地域の双方向の連携を推進し、地域とともにある学校づくりを進める必要があります。

学校が、家庭や地域の信頼に応え、公教育としてよりよい魅力のある学校づくりを進めるために、学び続ける教員を支援する仕組みを構築し、課題探求型の学習、協働的な学びなど、新しい学びを展開するための教員の実践的指導力等を向上させる必要があります。

教育施設の老朽化や児童生徒数の増減に対応して、安全・安心な魅力ある施設の整備を進めるとともに、学校規模の適正化を検討する必要があります。

時代の変化に対応して、小中一貫教育などの新しい教育手法の検討や、学校を支援する制度の充実に努める必要があります。

今日の経済状況の中で、勉学に意欲的な生徒や学生が、経済的な理由で就学が困難になっている傾向が見られ、経済的な負担の軽減を図る必要があります。

## 基本的方向

1　学校の教育活動や運営についてのマネジメント・サイクル（※注5）に基づいた継続的な評価や評価結果の公表、保護者や地域住民との双方向の協力、学校関係者からの意見や評価の活用などを通して信頼性の向上と学校改善を図る開かれた学校づくりを推進します。

2　質の高い学びを支える環境づくりや安心して教育活動が行える学校づくり、新しい教育手法による魅力ある教育活動など、社会の変化や実態にあった教育環境の整備を促進します。

---

マネジメント・サイクル（※注5）

ここで言うマネジメント・サイクルとは、「ＲＰＤＣＡサイクル」を通じた学校経営、運営の改善手法を指します。

「調査Ｒ（Research）」＝実態や状況、求められていることなどを適切に把握する⇒「計画Ｐ（Plan）」＝目標を設定して、それを実現するためのプロセスを設計（改訂）する⇒「実行Ｄ（Do）」＝計画を実施し、そのパフォーマンスを測定する⇒「評価　Ｃ（Check）」＝測定結果を評価し、結果を目標と比較するなど分析を行う⇒「改善Ａ（Action）」＝プロセスの継続的改善・向上に必要な措置を実施する等を継続的に繰り返すことで、らせん階段を上るように、より質の高い教育実践をめざす考え方です。

施　策

## 施策８　開かれた学校づくりの推進

□学校経営プログラム（※注 6）による学校経営の推進とマネジメント・サイクルによる学校改善を推進します。
□家庭や地域の教育的ニーズを把握するとともに、学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、情報の共有化を図ります。
□学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）（※注 7）の取組など、地域の方々の教育活動への参加や地域への学校資源の提供により、学校と地域の双方向の連携を推進します。
□子どもたちにとって、より豊かで有意義な土曜日を実現する「土曜授業」を推進します。

---

### 学校経営プログラム（※注 6）

学校経営プログラムは、学校教育目標の具現化の方策として、学期又は月毎の学校の動きに合わせて策定し、ＲＰＤＣＡサイクルに位置づけ、常に目標の達成状況や達成に向けた取組みの適切さを把握しながら、組織的・継続的に学校経営改善を図るために作成するものです。

学校の一カ月から数カ月単位での具体的な動きに合わせて、「学校経営プログラム」を作成し、次につなげる具体的改善施策を教職員が共有していくことで、チームとして動く学校、協働参画意識の高い学校づくりが実現します。さらに、職員会議等、諸会議の効率化との関連に意を配りながら協働して起案し、ＲＰＤＣＡサイクルにのせていくことで、子どもの良き変容や学校の歩みが具体的に見える経営が実現されていきます。

### 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）（※注 7）

学校教育委員会が制定する規則に基づいて指定され、「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。

「学校運営協議会」の委員は、学校や地域の実情を踏まえて選ばれます。委員は構成のバランス等にも配慮しつつ、熱意のある優れた人材を選出します。この学校運営協議会では、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりして、地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

学校運営協議会は、学校の応援団であり、学校にとっての「パートナー」です。委員の皆さんには、「辛口の友人」「人と人をつなぐ」「目標を共有する」存在であることが求められます。また委員には、校長などの教職員も含まれます。

## 施策９　教育環境の整備

□研修機会の充実や適切な教職員評価を通して、教職員の資質の向上を図ります。
□適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。
□老朽化学校施設の長寿命化や耐震化に取り組み、防災施設としての機能の充実を図るとともに、児童生徒数の増減に対応した学校施設の整備を推進します。
□児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。
□小中一貫教育等の新しい教育のあり方について検討を進めます。
□家庭、地域と連携した学校支援地域本部の取組を推進します。
□小・中・高等学校教育等への就学を支援します。

# 政策３　やさしく支えあう教育連携の推進

## 現状と課題

青少年の健全育成の基本である家庭、学校、地域は、少子化や核家族化の進行、教育力の低下、膨大な量の情報等の影響を受けており、とりわけ家庭教育をめぐる課題は複雑さを増しています。

本市では、子どもサポートセンターの相談・支援体制の確立や子どもの体験活動の実施など、家庭、学校、地域との連携による青少年の健全育成を図ってきました。

不登校児童生徒への対応については、指導・訪問体制を充実していく必要があります。小中学校には心の教室相談員を配置して、児童生徒の悩み事などの相談に当たっていますが、さらに学校や中央児童相談所などと連携を強化していく必要があります。

インターネット上で、新しい形のいじめや犯罪被害に巻き込まれるなどのトラブルが全国的に多発しています。このことから、いじめ防止基本方針に基づく対策を効果的に推進していくとともに、子どもに情報モラル向上の指導や保護者への啓発をさらに進めていく必要があります。子どもを狙う不審者の出没や犯罪被害は憂慮される問題となっており、子どもが安全で安心して生活できるよう、地域で子どもを守り育てる活動や機運の醸成が求められています。

## 基本的方向

1　基本的な生活習慣や自立心の育成など、家庭での教育力向上やあたたかな家庭づくりへの支援を進めます。
2　いじめや不登校などの問題を早期に解消するため、関係機関との連携強化と専門的知識を有する人材の活用を進めます。
3　青少年を健やかに育む安全・安心な育成環境を確保するため、家庭、学校、地域との連携を強化し、主体的な健全育成活動を支援します。

## 施　策

### 施策 10 家庭の教育力向上への支援内容の充実

□あたたかな家庭づくりへの支援の充実を図ります。
□ＰＴＡなどとの連携を図り、家庭の教育力向上に向けた支援を充実します。
□家庭・学校・地域が一体となり、子どもたちの生活習慣を見直す取組を進めます。

### 施策 11　教育相談体制の充実

□いじめや不登校の問題を早期に解消するため、スクールカウンセラー、臨床心理士など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。
□不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」（※注 8）において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。

---

「みらい塾」（※注 8）

市内小中学校に在籍する不登校児童生徒の学校復帰を図るため適応指導を行う教室。

□携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒や保護者に対して啓発を図るとともに、インターネット上などでの新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害や生活習慣の乱れを防ぐため、ネットパトロールを実施します。
□いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期解決の取組を強化します。
□青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などとの連携を強化します。

## 施策 12　地域が支える健全育成活動の充実

□子どもサポートセンターの相談・支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。
□各種大会や地域の安全・安心講座などを通じて全市的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。
□児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動ができるよう「放課後子供教室」(※注 9)の充実を図ります。

---

「放課後子供教室」(※注 9)

学校の余裕教室などを活用し、地域住民の方の協力を得て、児童が放課後に学習や体育活動などを行う教室。

# 政策４　学びあい、教えあう社会教育の推進

## 現状と課題

自由時間の増大を背景に、生きがいや心の豊かさを求める時代となり、生涯学習に対する市民の関心が高まり、学習活動に対するニーズは多様化・高度化しています。市民の主体的な学習活動への支援や、学ぶ機会としての社会教育の充実が求められています。

市民の学習ニーズは、これまでの趣味・教養的な自己実現型だけでなく、少子高齢化に対応した福祉・健康・環境・子育て・防犯などの日常生活や、地域の課題解決に向けた学習機会が求められています。

また、必要な情報が適切に提供されるためのシステムづくりが求められてきていることから、市民の学習ニーズを的確に把握し、市民が主体的・意欲的に生涯学習に参加できるよう、多様な学習機会を創出するとともに、学習プログラムを工夫していく必要があります。

高齢者の地域社会への参加が進んでおり、これらの方々が地域での生涯学習や市民活動の担い手として、主体的に学ぶことができ、学習成果をわかちあうことのできる活動を支援していくため、学習環境を整備していく必要があります。また、これらの活動を円滑に進めていくためにも、関係施設・設備などを充実していくことが必要です。

## 基本的方向

1　時代にあった生涯学習の基礎づくりを進めるためにも全市的な取組はもとより、各地区の特色を生かした市民の主体的な生涯学習活動の支援を推進します。
2　国際化の進展や社会の変化に適切に対応していくために、社会の要請や個人の学習ニーズに対応した学習機会の充実を図ります。
3　学習活動を効果的に支援していくために、施設・設備の充実など学習環境の整備を促進します。

## 施　策

### 施策 13　市民の学習活動への支援の充実

□市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通したコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。
□社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実を図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。
□市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。

## 施策 14 地域や世代を見据えた学習機会の充実

□各世代別での学習ニーズに応え、産・学・官・民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。
□社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。
□市民の多様な学習ニーズへの対応や、主体的な学習活動を支援するための情報提供に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。
□市民の主体的な学習をサポートするため、ＩＴ予約システムなどによる社会教育施設や公共施設の利用情報のネットワーク化を図ります。

## 施策 15 施設の充実による学習環境の整備

□生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。
□市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、中央公民館など既存施設の有効活用を図ります。
□学習や研修の機会を提供する施設の計画的な整備を進めます。

# 政策５　郷土愛を育む教育活動の推進

## 現状と課題

国指定の史跡である旧島松駅逓所や特別天然記念物野幌原始林などの貴重な文化・自然遺産、太古の様子を物語る自然化石などを守り、次の世代へ正しく継承していく必要があります。

市民が身近なものとして郷土の歴史や文化に親しみ、正しく理解し、郷土を愛する心を育むことが大切です。

広葉交流センター（いこ～よ）に設置した「エコミュージアムセンター知新の駅」については、エコミュージアムに関する情報の収集と発信、調査研究、展示のほか、郷土に関する学習機会を提供する中心的役割が求められています。

市民自らが、郷土の歴史と文化の理解に努めるとともに、次の世代へ継承するための取組として、地域の遺産をあるがままに保存し、活用する「北広島エコミュージアム構想（まるごときたひろ博物館）」（※注10）を進める必要があります。

---

「北広島エコミュージアム構想（まるごときたひろ博物館）」（※注 10）

エコミュージアムは従来の博物館とは異なり、一定の地域全体を博物館にみたて、歴史遺産や自然遺産、産業遺産、無形文化などを広く地域の遺産として、住民の手で保全・活用していく地域づくりの手法のひとつで、平成 22 年（2010 年）3 月、北広島市においても構想を策定した。

## 基本的方向

1　市民のだれもが北広島を良く知り、誇りに思う心を培うとともに、北広島の自然や歴史的遺産を大切に守り育てることができるよう、学習機会の充実や市民参加による事業を推進します。

2　郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民が身近に郷土文化財などにふれることができる環境の整備を推進します。

## 施　策

### 施策 16　エコミュージアム構想の展開

□文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。

□市民参加による郷土学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。

□エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。

□重要な郷土資料の保全、住民活動の拠点、情報サービスの発信・提供、資料の展示、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。

### 施策 17　文化財の保存と活用

□史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。

□郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集・保存を進めます。また、市文化財の指定を行い保存します。

□郷土文化の伝承に対する支援を進めます。

# 政策６　生涯にわたる読書活動の推進

## 現状と課題

北広島市図書館は、平成10年（1998年）にオープンし、開館後17年で貸出し数が820万冊を超えるなど、市民の読書・生涯学習拠点として大きな役割を果たしてきました。今後も市民が、読書や学習活動を継続することができる資料や情報を提供するとともに、市民との協働による読書環境の充実を図ることが求められています。

現在の図書館や学校図書館は、市民や民間事業者など多くの参加が図られていることから、官民協働を基盤とした生涯学習の拠点として推進していく必要があります。

子どもの豊かな心を育むため、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、自主的に読書活動が行うことができる環境の整備が求められています。

## 基本的方向

１　子どもから高齢者まで、あらゆる世代で読書や学習を続けられるよう、市民との協働により図書館サービスの充実を図ります。
２　子どもの読書活動については、子どもの読書活動推進計画に基づき、家庭・学校・地域が一体となった推進をめざします。

施　策

## 施策 18　図書館サービスの充実

□市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書館及び地区分館での図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。
□地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。
□図書館フィールドネット（※注 11）などの市民との協働により、子どもから高齢者までの生涯を通した読書活動の充実をめざします。

## 施策 19　子どもの読書活動推進

□市民との協働を踏まえながら、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。
□学校図書館における蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園での絵本巡回事業「小豆（あずき）」の利用拡大を図ります。

---

図書館フィールドネット（※注 11）

北広島市図書館及び地区分館を拠点とし、各種の読書ボランティア活動を行っている団体のネットワーク組織で、北広島市における読書普及事業の企画、実施を担っている。おはなしの会、朗読サークル等 10 団体で約 150 名の構成員がいる。

# 政策７　芸術文化活動の振興

## 現状と課題

社会情勢が大きく変化する中、価値観の多様化などに伴い心の豊かさや生活への潤いが求められており、ますます人々の芸術文化への関心が高まっています。

本市では、芸術文化ホール開設以来17年余りが経過し、芸術文化を鑑賞する場や活動する機会の充実が図られてきました。

地域住民との協働により、芸術文化に親しむことができる環境の充実を図ることが必要です。そのため、関係機関との連携や、市民が主体的に取り組む活動を支援する体制の整備、青少年の芸術文化活動への支援をさらに進める必要があります。

## 基本的方向

1　市民の芸術文化活動を振興するとともに、個性豊かな地域文化の創造に努めます。
2　芸術文化振興プランに基づき、芸術文化の創造を担う人材の育成と市民等との協働による芸術文化活動のさらなる振興を図ります。

施　策

## 施策 20　個性豊かな地域文化の振興

□優れた芸術文化活動に対して表彰を行うとともに、市民が主体的に取り組む芸術文化活動を積極的に支援します。
□各種公演や講座、体験教室など、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。
□青少年が芸術文化に触れる機会の充実に向け、学校との積極的な連携を進めます。
□芸術文化活動に主体的に取り組んでいる市民団体やサークルを支援します。
□芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。

## 施策 21　市民等との連携による芸術文化活動の展開

□地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動を行う企業との共催、他の公共ホールなどとの連携を推進します。
□芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。
□市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。

# 政策８　健康づくりとスポーツ活動の推進

## 現状と課題

市民だれもが、健康で生きがいのある生活を築くため、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現が求められています。

健康志向の高まりや、団塊世代の定年等によるライフスタイルの変化に伴い、市民ニーズや利用者層の変化に応じた健康・体力づくりの機会拡充と、アダプテッド・スポーツ（※注12）の視点が求められています。

市民がスポーツ・レクリエーションに親しむことができる機会を提供するため、スポーツ施設の充実や各種スポーツ教室の開催、学校体育施設の開放などに取り組む必要があります。

子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、小中学生の運動不足や体力低下、スポーツ離れなどが課題となっています。スポーツなどを通じて、子どもの心と体の発達を支援することが重要になってきていることから、幼年期を含めたスポーツ活動の底辺拡大を図る必要があります。

---

アダプテッド・スポーツ（※注 12）

ルールや用具を障がいの種類や程度に適合（adapt）することによって、障がいのある人はもちろんのこと、幼児から高齢者、体力の低い人であっても参加することができるスポーツのことです。

## 基本的方向

1　市民だれもが、生涯にわたりスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ活動をはじめ、児童生徒・障がいのある人のスポーツ・レクリエーション活動の支援を推進します。
2　競技スポーツを振興するため、スポーツ選手の育成や支援に努めます。
3　全道大会や全国大会への出場など、大きな目標をもった青少年の夢と希望を実現するスポーツの振興を図ります。
4　多様化する市民ニーズに対応したスポーツ施設の整備と運営を図ります。

## 施　策

### 施策 22　健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進

□市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。
□市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。
□スポーツ推進委員や生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

## 施策 23　競技スポーツの振興

□ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、スポーツアカデミー（※注13）における事業に取り組みます。
□国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。
□市体育協会やスポーツ少年団本部等に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。

## 施策 24　スポーツ施設の整備と運営

□市民が安心して利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。
□日常的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業（全小中学校）をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。
□運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ・レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。

---

スポーツアカデミー（※注 13）

スポーツ関係者と連携して、指導者養成をはじめとするジュニアスポーツの振興を目的とする。ジュニアスポーツ指導者養成講座やジュニアスポーツ底辺拡大事業、選手強化（中学校部活動支援を含む）事業の総称。

## 第４章　８つの政策と 24 の施策を推進する５つの視点

この計画を推進するためには、これまでの学校教育と社会教育の両輪による推進体制からさらに踏み込み、社会の変化により柔軟に対応し、北広島の特性を生かした教育施策が展開できるよう、学校教育と社会教育が互いに乗り入れ結び合う、新しい推進体制を構築していくこととします。

体制の構築においては、幼児期・青少年期・成人期・高齢期などのライフステージにあった学習環境を整備する「縦軸」と、地域における人材や関係機関・団体などの持続的な連携協力を広める「横軸」の充実を図るとともに、それらを密接に結びつける必要があります。

### ①「縦軸」～ライフステージにあった学習環境の整備・充実

新たな時代を担う人材の育成には、学校教育はもとより、生涯を通じて自らを磨き、高めていくことがより一層重要となります。

そのためには、それぞれのライフステージにあった学習環境を整えることと、さらには家庭教育と幼児教育との連携、幼児教育と学校教育との連携、学校教育と成人・高齢者教育との連携を図ることにより、それぞれの学習環境をつなぎ合わせていく取組が必要です。

このように、市民一人ひとりのライフステージにあった学習環境や教育機会の充実を図り、生涯にわたり一貫した教育環境を保っていく取組を「縦軸」とします。

### ②「横軸」～地域の連携協力の充実と拡大

新たな時代を担う人材は、単なる知識の豊富さだけでなく、現代社会を生き抜くための様々な能力を備えていることが求められています。

そのためには、地域で行われている芸術文化活動や郷土の保存伝承活動、読書推進活動なども学校教育に取り入れ、子どもたちの豊かな経験や体験活動を支える体制を整えていく取組が必要です。

このように、学校、家庭及び地域が一体となって、それぞれの役割を自

覚し、地域の連携協力を広めていく取組を「横軸」とします。

この「縦軸」と「横軸」の取組を密接に結び合わせ、支え合うようにするためには、それぞれの関係性を強めてゆくことが不可欠であることから、次の５つの視点により「人と文化を育む８つの政策と 24 の施策」を推進します。

□視点１ 生涯にわたる学習環境の充実

いつでも、どこでも、だれでもが学習することができる学習環境を整備する視点

□視点２ たくましく生きる力をもち、社会に貢献する人材の育成

心身ともに健康で豊かな教養と社会性を有し、郷土を愛し、社会の一員として地域づくりに貢献できる人材を育てる視点

□視点３ 産・学・官・民の「協働社会」の推進

産・学・官・民がそれぞれの機能を十分に発揮し、相互が補完し合いながら、新たな地域づくりを進めていく視点

□視点４ 学校、家庭及び地域住民が一体となった教育力の向上

学校、家庭及び地域が、それぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携協力により地域の教育力の向上を図る視点

□視点５ 総合的な教育施策の推進

学校教育と社会教育はもとより、子育てや経済・労働などの分野と連携し、総合的な教育施策を推進する視点

# 北広島市教育基本計画

## 中間年度見直し版

## (2011 - 2016 - 2020)

平成 28 年（2016 年）3 月

発　行

北広島市教育委員会

〒061-1192　北広島市中央４丁目２番地１

TEL:０１１－３７２－３３１１

**[表紙写真]**

史跡旧島松駅逓所の池に咲く「ハス」

北広島フォトクラブ　松田 光浩 氏　撮影（2008年8月）

**[解　説]**

駅逓所の「ハス」は、中山久蔵が道南の大野町（現在の北斗市）から、水稲「赤毛」の種もみとともにレンコン（蓮根）を食用にと持ち込み、明治６年（1873年）に久蔵宅の池（通称ハス池）で栽培を始めたことに由来する。

「ハス」は越冬が難しく、寒冷地に生息するのは珍しい。

久蔵が栽培したハスも一時的に姿を消したが、平成３年（1991年）にハス根を再び移植し、復元された。例年、８月上旬から咲き始め、鮮やかなピンク色の花が訪れる人の心を和ませている。